単位	平成	27年度	事務事業振	返りシー	· 卜 (3	平成26年度	実施事業0)振返り)		
知事と								In all the	alle del de de de	
数算名 1		名 林業総務	务管理事務事業							
施業名 1		まちづくり								
本学 本の		,-								
数	基本事業名 1 農林漁業経営体	への支援		_			Į.	内線番号	2371	
1	子 会計 一般会計			事業				_		
1	算 							ξ		
辞価的分 無対策 日的 情報 1次 1次 1次 1次 1次 1次 1次 1	日 01 林業総務書			根拠法令・条例	_	州间收足的	数十及(·•	,
(1) 季春季素の最優 具体が5ペキッカ、予順、評価を記念 (福野報告日本に 実施するとした、関内及び各金合 文所における庇持の一部を行うため、臨時職員を催用する事務 (非務業務 勝行のための、課内及び各金合 文所における庇持の一部を行うため、臨時職員を催用する事務 (見込) (見込) (見込) (見込) (見込) (見込) (見込) (見込)		評価対象	1次評価	関連計画	<u> </u>					
(1) 季春季素の最優 具体が5ペキッカ、予順、評価を記念 (福野報告日本に 実施するとした、関内及び各金合 文所における庇持の一部を行うため、臨時職員を催用する事務 (非務業務 勝行のための、課内及び各金合 文所における庇持の一部を行うため、臨時職員を催用する事務 (見込) (見込) (見込) (見込) (見込) (見込) (見込) (見込)	2. 事務事業の概要・目的・指標	<do></do>								
経済業務と円滑に表現すると比に、関内及び各給合文所における出帯で用費用	(1) 事務事業の概要(具体的なや	り方、手順、詳	牟細を記述)							
単位 (実被) (実被) (実被) (見込) (見込) (見込) (見込) (見込) (見込) (見込) (見込	・林務業務を円滑に実施するとともに、 【公用車の燃料費・修繕料・保険料】				を行うた	め、臨時職	員を雇用す	る事務		
公川車の合数 台 5 5 5 5 5 5 5 5 5	① 活動指標 (事務事業の活動量)				単位					
(2) 事務事業の目的 (法、何を対象にしているのか) (本語の対象の大きさを表す指標) (法、何を対象にしているのか) (本語の対象の大きさを表す指標) (本語の対象の大きさを表す指標) (本語の対象の大きさを表す指標) (本語の対象の大きさを表す指標) (本語の対象の大きさを表す指標) (本語の対象の大きさを表す指標) (本語の対象の大きさを表す指標) (本語の対象の大きさを表す指標) (本語の対象の大きさを表す指標) (本語の意図(②対象をどうしたいのか) (本語の意図の造成度を表す指標) (本語) (本語の意図の造成度を表す指標) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語	ア臨時職員の雇用数				件	4	4	4	4	4
(2) 事務事業の目的 (法、何を対象にしているのか) (本語の対象の大きさを表す指標) (法、何を対象にしているのか) (本語の対象の大きさを表す指標) (本語の対象の大きさを表す指標) (本語の対象の大きさを表す指標) (本語の対象の大きさを表す指標) (本語の対象の大きさを表す指標) (本語の対象の大きさを表す指標) (本語の対象の大きさを表す指標) (本語の対象の大きさを表す指標) (本語の対象の大きさを表す指標) (本語の意図(②対象をどうしたいのか) (本語の意図の造成度を表す指標) (本語) (本語の意図の造成度を表す指標) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語	1 公用車の台数					5	5	5	5	-
(2) 事務事業の目的 (法、何を対象にしているのか) (た記の対象の大きさを表す指標) 単位 (集線) (集線) (集線) (集線) (集線) (集線) (集線) (集線)					Н .					
②対象 (能、何を対象にしているのか) (左記②対象の大きさを表す指標) 単位 (実績) (実績) (実績) (実績) (見込) (見込) (見込) (見込) (見込) (見込) (見込) (見込										
(主統) 何を対象にしているのか) (左記②対象の大きさを表す指標) (実績) (実績) (実績) (見込) (見込) (現本) (東南) (東南) (東南) (現本) (大田) (東南) (東南) (東南) (東南) (東南) (東南) (東南) (東南		@ +J.#=	41 13M			04/5/5	0.F. /F. /F.	00/= ==	07/F/F	00/===
7 課内の各種業務 4	9			三十七年)	単位					
● 意図 (②対象をどうしたいのか) (左記④意図の達成度を表す指標) 単位 (実績) (実績) (実績) (目標) (目標) (日標) (日標) (日標) (日標) (日標) (日標) (日標) (日		(年記名	別家の八さでをあ	X 9 1日(示)		(天順)	(天限)	(天順)	(元込)	(元込)
● 意図 (②対象をどうしたいのか) (左記④意図の達成度を表す指標) (左記④意図の達成度を表す指標) (左記④意図の達成度を表す指標) (左記④意図の達成度を表す指標) (左記④意図の達成度を表す指標) (本記④意図の達成度を表す指標) (本記④意図の達成度を表す指標) (本記⑥意図の達成度を表す指標) (本記⑥意図の意成度を表す指標) (本記⑥意図の意図を表す表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表	採内の各種業務									
(②対象をどうしたいのか)	1									
(②対象をどうしたいのか)	<mark>ゥ</mark>									
できたいのか	4 意図	⑤ 成果	指標		14 /L	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(3) 上位の基本事業 (6) 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか) (左記⑥意図の達成度を表す指標) (左記⑥意図の達成度を表す指標) (左記⑥意図の達成度を表す指標) (実績) (実績) (実績) (実績) (実績) (実績) (実績) (実績	(②対象をどうしたいのか)	/ (左記④)	意図の達成度を表	長す指標)	甲世	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
(3) 上位の基本事業 ⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか) ⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標) 単位 (実績) 24年度 (実績) 25年度 (実績) 27年度 (実績) 28年度 (目標) 7 4 中位 (表記で本意を心間を復度がた。所民で混合とからの意思等) (辞記で本意を心間を復度がた。所民で混合とからの意思等) (辞記で本意といいで、特殊可能な 健全計政を確立するため歳出削減に関する政制を決定の意とされ、その中で、高用費や役務費については常にコストを 水道の浪費等を厳計し、維持管理費の縮減に努め、こととされている。 4・事業費 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	ア 円滑に実施される									
(3) 上位の基本事業 ⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか) ⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標) 単位 (実績) 24年度 (実績) 25年度 (実績) 27年度 (実績) 28年度 (目標) 7 4 中位 (表記で本意を心間を復度がた。所民で混合とからの意思等) (辞記で本意を心間を復度がた。所民で混合とからの意思等) (辞記で本意といいで、特殊可能な 健全計政を確立するため歳出削減に関する政制を決定の意とされ、その中で、高用費や役務費については常にコストを 水道の浪費等を厳計し、維持管理費の縮減に努め、こととされている。 4・事業費 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	1									
(3) 上位の基本事業 (6) 基本事業の意図 (左記⑥意図の達成度を表す指標) 単位 (実績) (実績) (実績) (目標) (目標) (目標) (日標) (日標) (日標) (日標) (日標) (日標) (日標) (日										
(きらにどのような成果に結びつくのか) (左記⑥意図の達成度を表す指標) 単位 (実績) (実績) (1 標) (1 標) (1 標) (2 年度 (実績) (実績) (実績) (1 標) (1 標) (1 標) (2 年度 (実績) (実績) (1 標) (1 標) (1 標) (1 標) (2 年度 (実績) (実績) (1 標) (1 样) (1										
本語の意図の達成度を表す指標 本語の意図の達成度を表す指標 本語の意図の達成度を表す指標 本語の意図の達成度を表す指標 本語の意図の達成度を表す指標 本語の意図の達成度を表す指標 本語の意図を表す指標 本語の意図を表すを表現します。 本語の意図を表現します。 本語の意図を表現を表現します。 本語の意図を表現を表現を表現を表現を表現を表現を		@ #±	古巻の代目化	Lane		0.4左连	05年帝	00左曲	07左座	00左曲
7 1 2 3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法文エマサ東を取り巻く環境変化・市民意見等 (法文音のとのでは立ってため院出制施に関する取組を全庁的に推進する必要があるとされ、その中で、需用費や役務費については常にコストを 意識し、不要不急なか助品の購入や電気・電話・水道の浪費等を厳に慎むこことで節減に努め、また、ランニングコスト縮減に質する機器の導入等を検討し、維持管理費の縮減に努めることとされている。 4. 事業費の推移 単位 (24年度 (決算) (決算) (決算) (計画) (計画) (計画) (計画) (計画) (計画) (計画) (計画	<u> </u>	_			単位					
1 1 2 2 2 2 2 2 2 2		(1,100)		人 / 1日 (示 /	_	(天/)與/	(天順)	(天/)	(11/57)	(11/5)
3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取りを保境変化・市民意見等 (法改正や事業を取りを保境変化・市民意見等 (法改正や事業を取りを保境変化・市民意見等 (法改正や事業を取りを保険変化・市民意見等 (法文正や事業を取りを保険変化・市民意見等 (法文正や事業を取りを保険変化・市民意見等 (法文正や事業を取りを保険変化・市民意見等 (法文正や事業を取りを保険変化・市民意見等 (法文正や事業を取りを保険変化・市民意見等 (法文正や事業を取りを保険変化・市民意見等 (法学) (法学) (法学) (法学) (法学) (法学) (計画) (計画) (計画) (計画) (計画) (計画) (計画) (計画										
3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民を見名とからの意見等) 霧島市経営健全化推進計画(第2次/改定版) (平成26 年12 月策定)において、持続可能な 健全財政を確立するため歳出削減に関する取組を全庁的に推進する必要があるとされ、その中で、需用費や役務費については常にコストを意識し、不要不急な物品の購入や電気・電話・	1									
# 位 (決算) (決算) (決算) (計画) (計画) (計画) (計画) (計画) (計画) (計画) (計画	<mark>ㅎ</mark>									
# 位 (決算) (決算) (決算) (計画) (計画) (計画) (計画) (計画) (計画) (計画) (計画	3. 事務事業の環境変化・市民意	見等				24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(平成26 年12 月策定)において、持続可能な 健全財政を確立するため歳出削減に関する取 根を全庁的に推進する必要があるとされ、その中で、需用費や役務費については常にコストを 意識し、不要不急な物品の購入や電気・電話・ 水道し、不要不急な物品の購入や電気・電話・ 水道し、不要不急な物品の購入や電気・電話・ 大道し、不要不急な物品の購入や電気・電話・ 大道に、ランニングコスト縮減に資する機器の導入等を検討し、維持管理費の縮減に努めることとされている。 事業費 千円 0 0 2,451 2,829 2,829 れている。		4	. 事業費の推移	3	単位					
(健全財政を確立するため歳出削減に関する取 組を全庁的に推進する必要があるとされ、その 中で、需用費や役務費については常にコストを 意識し、不要不急な物品の購入や電気・電話・水道の浪費等を厳に慎むこことで節減に努め、 表た、ランニングコスト縮減に資する機器の導入等を検討し、維持管理費の縮減に努めることとされている。	霧島市経営健全化推進計画(第2次/	(改定版)	国庫	支出金	千円			0	0	C
思誠し、不安不思な物品の解入で電気・電話・ 水道の浪費等を厳に慎むこことで節減に努め、 また、ランニングコスト縮減に資する機器の導入 等を検討し、維持管理費の縮減に努めることとされている。 1	健全財政を確立するため歳出削減に	関する取 📗	事財県支	出金	千円			0	0	C
思誠し、不安不思な物品の解入で電気・電話・ 水道の浪費等を厳に慎むこことで節減に努め、 また、ランニングコスト縮減に資する機器の導入 等を検討し、維持管理費の縮減に努めることとされている。 1	組を全庁的に推進する必要があるとさ 中で、霊用費や役務費については常し	れ、その こコストを	業内地					0	0	C
また、ランニングコスト縮減に資する機器の導入 等を検討し、維持管理費の縮減に努めることとさ れている。	意識し、不要不急な物品の購入や電気	₹·電話•						0	0	
	また、ランニングコスト縮減に資する機	器の導入 入	7 - 般	財源				,		
	【等を検討し、維持管理費の縮減に努め 【れている。	ることとさ	事業費		十円	0	0	2,451	2,829	2,829
5. 平成28年度の実績及び成果										
5. 平成26年度の実績及び成果										
5. 平成26年度の実績及び成果										
	5 平成26年度の宝練及び成用									

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

[臨時職員雇用事務] 事務補佐員雇用 5,300円×16日×4月×1人=339,200円 事務補佐員雇用 5,300円×15日×5月×3人=1,192,500円 期末加給 50,000円×1人=50,000円 [公用車の燃料費・修繕料・保険料] ・燃料費 81,118円 ・修繕料 272,886円 ・保険料 118,812円

【臨時職員雇用事務】
・事務補佐員雇用を4名雇用し、事務の補佐に取り組んでもらうことで、 林務水産を円滑に遂行することができ、もって課内及び各総合支所の他 の業務も円滑に進めることができた。 【公用車の燃料費・修繕料・保険料】 ・現場確認や各種会合への参加に必要不可欠として活用できた。

	事務事業コード		20100020101	事務事業名	林業	総務管理	事務事業	担当部担当課		水産部 水産課
6.	振り返り	<see></see>	<u> </u>					理由	l	
	① この	事務事業の	の目的は、基本	事業の意図に終	昔びついています	ナか?				
		結びつ	いている							
台		間接的	りに結びついてに	いる						
A目的妥当性		結びつ	いていない							
当性	② ·この ② · 新会	事業をな	ぜ市が行わない て達成する目的	ければならないの	のですか?					
_	171.32	妥当で		J C 9 70 · :		_				
_				\	w 0					
	以来》		る余地(可能性)		N ?					
			る余地はかなり							
			る余地はある私							
		向上す	る余地はほとん	しどない	_					
물	④ 廃止	・休止の景	ド響はありませ <i>A</i>	んか?						
B有効性		影響が	ぶある							
土		影響が	ドほとんどない							
			対象・意図) 又は けんか?(市以外		啓発等)を持つ他 8ものを含む。)	の事務	類似事業がある場 合の事務事業名等			
			事業はない							
		類似の	事業はあるが、	統合又は連携	できない					
		類似σ	事業があり、紡	合又は連携で	 きる					
	6 ·事務	事業の手段	役(やり方)を工夫 付先に働きかけて	することで、事業費	貴を削減できません。 減できませんか?	か? 国	庫補助金等に一部	『振り分けて、市	の負担軽減を実	施している
	[Grill]		きない	、1100英位飞行》	% CE& E7077 .					
С		削減で								
C 効率				することで、人件費	貴(延べ業務時間)	を削減				
率性	⑦ できま・ ・職員	せんか? 以外の対応	芯や委託により人	件費を削減できま	せんか?					
	•	削減で	きない							
		削減で	きる							
D			容が一部の受益 負担の公平性が							
D公平性		_	公正である	AE PROTECTION	., .					
性		見直す	 ⁻ 必要がある							
,	1 次輕価金	き里 く	PLAN>(組制	(中央						
	1 SCHT IM P	A			【参考】前	年度の改革で	は善の方向性≪		- 41	>
	事務事業 等の方向性		継続 	やり方改善	コスト拡充	コスト縮	小連携	統合	休止	廃止
	3 42 73 1-31-		0		\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	2146 1-2 -4 2	.) II. M. Hai with [7]	1411 11 11 11 11 11	h = -	
草草)平成27年 改善の内容 り組むべき	}	多様化する行う 広域な霧島市の	以要請や、職員 の現場や連絡調	臧等で事務量が 調整に公用車を削	ュョア かられる かられる かられる かられる かられる かられる かられる かられる	さり、非常勤職員の 。		安である。	
(3) 向性)平成28年 生·取組目	度の方 標			減等で事務量が 調整に公用車を済		おり、非常勤職員の 。	補佐は今後も必	要である。	
8. :	2次評価統	吉果 (担	当部長評価)							
		の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮	小連携	統合	休止	廃止
(1)	事務事業		和本市冗	トラカ城市		1				
)事務事業 善方向性	の以手	种本形式	トラカ以音						

事務事業 0106020100020101	事 務	林業総務管理事務事業	担当部	農林水産部
コード	事業名	外未 応伤官理争伤争未	担当課	林務水産課

9. =	コストの推移			
	(単位:千円)	平成26年度 (決算)	平成27年度 (当初予算)	平成28年度(計画)
1	報酬			
2	給 料			
3	職員手当等			
4	共 済 費			
5	災害補償費			
7	賃 金	1,666	2,080	2,080
8	報 償 費			
9	旅費	111		
10	交際費	470	F.40	F40
11	需 用 費	478	542	542
	消耗品費 燃料費	98	100	100
	燃料費 食糧費	81	100	100
	印刷製本費			
	光熱水費			
	修繕料	299	342	342
	期 材 料 費	299	342	342
	飼料費			
	医薬材料費			
12		147	181	181
'-	通信運搬費		131	101
	広告料			
	手 数 料		0	
	保険料	147	181	181
13	委 託 料			
14	使用料及び賃借料			
15	工事請負費			
16	原材料費			
17	公有財産購入費			
18	備品購入費		0	
19	負担金補助及び交付金	0		
20	扶 助 費			
21	貸付金			
22	補償補填及び賠償金			
23	償還金利子及び割引料			
24	投資及び出資金			
25	積 立 金			
26	寄附金			
27	公 課 費	49	26	26
28	繰 出 金	0.451	0.000	0.000
	計画度主山名	2,451	2,829	2,829
	特 宗 東 支 出 金		0	
財	特 県 支 出 金 が そ の の の の の の の の の の の の の	0	0	
財源内訳	源 <mark>地 万 恒</mark> そ の 他	0	0	
訳	一般財源	2,451	2,829	2,829
	計	2,451	2,829	2,829
	I I	2,401	2,029	2,029
*	浦助率 県			
力击	助基本額			
Tff	,少坐个识			

平成26年度補正•流用状況

当初予算	3,555
補正予算	2,700
補正第7号	2,700
流用・充用	272
予算合計	6,527

平成26年度特定財源内訳

区分	名称	金額
国庫支出金	地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)	2,650
	合 計	2,650

				3	平成2	7年度	3	事務	事	業振:	返りシ	/ —	~ (3	平成26	年度	実施事	業0)振返り)		
	本情報																	+□ \/ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	曲业人交	-17
	務事業 一ド	010603010	00020101	事務	事業名	3 水産	業総	務領	9理	事務事	業							担当部 担当課	農林水産部	
	 策名	3	活力	ある産	業のま	ちづくり											_	グループ	林務水産	
	策名				美費の排												_	電話番号	0995-45-5	111
	事業名			漁業組	圣営体~	への支援								24 F	± 0.1		Į.	内線番号	2371	
予	会計款			水産業	と 書						事期	業	1	単年		⊁ 氢(開始	全压 压	F	不明)
予算科目	項	-		業費	N.A.						期	間				数年度		_	~)
目	目			業総務							根拠法令	·条例等								
	区分		簡易			価対象		13	次評	価	関連	計画								
	務事業					<do></do>														
	事務事										m +4	曲のて								
水座϶	έ振興のオ	و د ۷۷ ده	小安:	敢似似	の争務	資を執行	J-9 6	5。	末七百	1賀11十	一円、旅	實2十	.円							
① =	動指標	(事殺	玄重学	の活動	計量)							i	単位	24호		25年	度	26年度	27年度	28年度
U /	1 30 1 17%	(子)次	フザオ	2071日 到	卯里/								+ 12	(実	績)	(実績	責)	(実績)	(見込)	(見込)
ア事	務用品	の購え	入費										円		11		11	6	11	11
1																				
ゥ																				
		*																		
(2) ②求	<u>事務事</u>	美の日	一			③ 🌣	1-65-1							24호	F ##	25年	庫	26年度	27年度	28年度
_	駅 何を対象	きにして	こいろ	(でかる)		_				きさを表	ます指標	三) .	単位		F 及 :績)	(実統		(実績)	(見込)	(見込)
	面漁業			, , , ,		(===)					· / / / / / / / / / / / / / / / / / / /				,,,,,	() ()	~	(5 0,50)	()a.c.)	()3,2)
	Р Ш I Ж				-															
1																				
ウ					- 1															
4 1	図					⑤ 成	果	指標					—— 単位	24호	F度	25年	度	26年度	27年度	28年度
(2)	対象をどう	したい	のか	<i>'</i>)		(左記	24意	意図0	り達り	成度を表	長す指標	票)	甲亚	(実	績)	(実績	責)	(実績)	(目標)	(目標)
ア多	心して流	魚業活	5動を	と行う	- 1															
1																				
					-															
ウ			- 414																	
	上位の				_	<u> </u>		de dik	·	P = 16.4	=			0.45	- ==	05/=	rde .	00左连	07左曲	00左座
	本事業 にどのよう		-	びつくの	のかり					以果指 构 成度を表		更) .	単位	24年	F 及 :績)	25年 (実		26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
	業者の			0 2 (*	213)	(/ нс	300 10	V 1551 +	- XE)	N/X C 3	< / J 10 IV				./15-(/	()()	×,	()	(H-DA)	(11/20)
	X 74 V	性百岁	X //_																	
1																				
ウ					- 1															
3. 事	務事業	の環境	意変	化•市	民意見	等		24,	and the	- 14.7		Ŧ.	· · · · ·	24호	F度	25年	度	26年度	27年度	28年度
	や事業を取り						4.	事:	某 損	の推移	5	_	単位		算)	(決算		(決算)	(計画)	(計画)
漁業	者の高齢	化や液	魚業	者の減	少で、ア	水産業				国庫	支出:	金	千円					0	0	0
者が多	巻く環境に	業活動	動が~	できるよ	うに市	が管理		事	財源	県支			千円					0	0	0
する馮 る。	港の必要	とな消れ	純品 等	等の購	人の要	望があ		事業費	財源内訳			-	千円					0		0
							投		訳	-			千円					0		0
							投入量			一 般	財		千円 千円		0		0	6		46
							量	-	=	木貝			ı []		U		U	6	13	46
									_											
5. 平	成26年	度の写	民績	及び成	果															
	F成26年					取組内容を	数値等	等により	り具体	的に記載	> (2	:)平/	戊26 年	F度の	成果		<左記	の実績(取組)	による成果を記	祓>
市が管	き理する 漁					事務用品	1等の	の購え	人の	執行を行						行われ	た。			
った。																				

	事務事コート	*		30100020101	事務事業名	水産業	終務管理 事	事務事業	担当部担当課		水産部 水産課
6.	振り返	Z U <	(SEE>						理由	1	
	1	この事	務事業の	の目的は、基本	事業の意図に終	吉びついています	たか?				
			結びつ	いている							
A 目			間接的	に結びついてに	いる						
的妥			結びつ	いていない							
A目的妥当性	2	·この事 · 税会2	事業をな	ぜ市が行わない て達成する目的	ナればならない <i>の</i> りですか?	のですか?					
			妥当で		, , , ,						
				 ⁻ 必要がある							
	(3)	成果が	向上す	る余地(可能性) はありませんか)\?					
				る余地はかなり			_				
				る余地はある私							
				る余地はほとん							
	<u>(4)</u>			/響はありません							
B有効性		жш-1 П	影響が								
性				`ぬる ヾほとんどない							
		 類似の	目的(対			 啓発等)を持つ他	の事務 類	類似事業がある場 の事務事業名等			
		事業は	ありませ	んか?(市以外	の主体が実施する		台	の事務事業名等			
				事業はない	体入りけ 事件	できたい					
					. 統合又は連携 						
	6	-事務事	業の手段	设(やり方)を工夫:	することで、事業費	貴を削減できません	<mark>か?</mark> 必要	兵小限の事務費	のためこれ以上	 :の削減はできた	ない。
	6	·補助金 	など、交	付先に働きかけて	、市の負担を削減	或できませんか?					
_			削減で								
C 効 寒		事務事	削減で		することで 1 44 章	貴(延べ業務時間)	を削減し長小	限の人員で行っ	ているためこれ。	以上の削減はで	きない.
率性	(7) 7	できませ	んか?		件費を削減できま		CHINA		> •		
		-	削減で	きない							
			削減で	きる							
D					益者に偏っている 確保されていま						
D公平性				公正である							
性			見直す	- - - 必要がある							
7.	1次割	価結	果 <f< td=""><th>PLAN>(組制</th><td>微決定)</td><td>Fath afte Table</td><td></td><td>0+44/</td><td></td><td></td><td>»</td></f<>	PLAN>(組制	微決定)	Fath afte Table		0+44/			»
				継続		1	年度の改革改善		4± ^	休止	廃止
	事務		の改革		やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	71.22	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
				日本常に少ない。	 予算のなかで改	革改善は難しい	<u> </u>				
革改	と 善の)内容	度の改課題)			. , ,					
(3) 向性) 平成: 生•取統	28年月 組目視	度の方					費等の事務費が て予算措置する		で用で対応してい	る状況。今
8.	2次評	価結	果 (担	当部長評価)							
			の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
汉君	善方向	竹生									
					•						

事務事業コード	0106030100020101	事 務事業名		水産業績	<u></u> 総務管理事務事業	-	担当部 担当部		水産部 水産課
9. コストの	推移								
	(単位:千円)	平成26年	丰度 (決	央算)	平成27年度	(当初予算)		平成28年度(計画)
1 報									
2 給	料								
	手当等								
4 共	<u>済 費</u> 寄補 償 費						-		
5 災害7 賃	金 金								
8 報	賞 費								
9 旅	費			0			2		35
10 交 11 需	<u>際 費</u> 用 費			6			11		11
				6			11		11
燃									
食									
光	l刷製本費 ; 熱 水 費								
修									
賭	材料費								
館									
12 役	薬材料費務費			0			0		0
_	這信運搬費								
広									
手 保									
1 1	<u>) 険料</u> 託 料								
	料及び賃借料								
	請負費								
	材 料 費 財産購入費						-		
	<u>別 産 購 入 貴</u> 品 購 入 費								
	補助及び交付金								
20 扶	助費								
21 貸 22 補償補	付 金 構填及び賠償金								
	利子及び割引料								
	及び出資金								
25 積	立 金								
26 寄 27 公	附 金 課 費								
28 繰	出金								
計				6			13		46
特區	庫支出金			0			0		
特定財源内				0			0		
財源内訳を対象を				0			0		
	般 財源			6			13		46
	計			6			13		46
補助率	国県								
補助	基本額								
	€補正•流用∜	況			度特定財源内訳				
	カラ算 マスタ		13		区分	:	名称		金額
補工	E予算		0						
			-						
油 流田	・充用								
	拿合計		13		1	合 計			0

			亚式	97年度	事務事業振	液 いシー	. L G	ではなる年度	宇佐車業	の作品(1)		
1 基2	大情報		T //X	,21 干汉	于初于木城	<u> </u>	1. (-	十灰20千茂	天心尹未	77派送9)		
事務			古 70 古 **	+ 4 ++ ** +=		中米				担当部	農林水産部	ß
	-ド	010602020	● 予務事業	外亲版	興総務管理事務	争 亲				担当課	林務水産課	Ę
政策			活力ある産業の							グループ 電話番号	森林整備G,	林務水産G
施第			農林水産業費の	** ** *					45-5111			
基本事	会計	1 一般 4	農林漁業経営体	下への文援				単年度のみ	_	内線番号	2363	
予算	去訂款	,	表面 農林水産業費			事業		単年度のの単年度繰過		÷	不明)	1
科目	項		林業費			期間		期間限定物		×	~)
目	Î	_	林業振興費			根拠法令·条例等		777127212				
評価	区分	育	育易評価	評価対象	1次評価	関連計画	<u> </u>					
2. 事	多事業(の概要	-目的-指標	<do></do>								
			要(具体的なや	り方、手順、	詳細を記述)							
【積算シ	/ステムリ	ース契	約及び保守契約	約事務】) oll = tn46 = 15	×/□ - - - - - - - - - - - - - - - - -		7hr				
1		った。	この設計額を積り	昇するシステ.	ムのリース契約及び	1休寸契約	ピイ丁フ事	務				
【先進地 •林業		お笠を	学ぶ研修									
1117	/L/E1/X/	11 11 5	1 30 101 10									
① 注 1	動指揮	(車級	事業の活動量)				単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
U /A:	*// 1017	(3-17)	ず米(7日勁里)				+12	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア積質	システム	リース	契約による積算シス	ステムの利用回	数		□			200	200	200
イ 先進	生地への 荷	开修回数	数				口			1	1	1
ゥ												
(2) 3	下務事 第	集の目	的									
② 対:	象			③ 対針	東指標			24年度	25年度	26年度	27年度	
(誰、亻	可を対象	にして	(いるのか)	/ (左記						20十尺		28年度
ア課内	の久種学				②対象の大きさを表	長す指標)	単位	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	28年度 (見込)
	107-ロリ玉>	美務			②対象の大きさを表	長す指標)	単位 ———	(実績)	(実績)			
1	10万円1里3	美務			②対象の大きさを表 	長す指標)	単位	(実績)	(実績)			
イ ウ	1071日1里月	養務			②対象の大きさを表	長す指標)	単位	(実績)	(実績)			
		美務		⑤ 成!		長す指標)		(実績)	(実績)			
ゥ ④ 意 l			のか)				単位単位			(実績)	(見込)	(見込)
ウ ④ 意 (2対	Z	したい	のか)		果指標			24年度	25年度	(実績)	(見込)	(見込)
ウ ④ 意 (2対	図 象をどう	したい	のか)		果指標			24年度	25年度	(実績)	(見込)	(見込)

上位の基本事業

7) エロの本件手末							
_	基本事業の意図 らにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年 度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	効率的に作業できる基盤が整う							
1								
ゥ								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

霧島市経営健全化推進計画(第2次/改定版) (平成26年12月策定)において、持続可能な 健全財政を確立するため歳出削減に関する取 組を全庁的に推進する必要があるとされ、その 中で、需用費や役務費については常にコストを 意識し、不要不急な物品の購入や電気・電話・ 水道の浪費等を厳に慎むこことで節減に努め、 また、ランニングコスト縮減に資する機器の導入 等を検討し、維持管理費の縮減に努めることとさ れている。

4.	事訓	美費	の‡	隹移			単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度	28年度
			玉	庫3	を出	金	千円			0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円			0	0	0
	事業費	財源内訳	地	ブ	5	債	千円			0	0	0
	費	訳	そ	0)	他	千円			0	0	0
投 入量			ı	般	財	源	千円			1,050	1,069	1,069
量		事	業	費			千円	0	0	1,050	1,069	1,069

5. 平成26年度の実績及び成果

<取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果 (1)平成26年度の実績(取組)

【積算システムリース契約及び保守契約事務】 ・リース契約 1件 使用料及び賃借料 630千円 ・保守契約 1件 委託料 401千円

【先進地研修】 ・岡山県 旅費 20千円

【積算システムリース契約及び保守契約事務】 ・積算システムのリース・保守契約により、設計額の積算が円滑に行われた。

【先進地研修】

↑/休業先進地への研修を行い、林業事業者の育成に反映することができた。

H.	事務事		01060	20200020101	事 務 事業名	林業振り	興総務管	理事務事	業	担当担当	部課		水産部 水産課
6.	振り	返り~	<see></see>	•						理	由		
	1	この事	務事業の	の目的は、基本	事業の意図に終	詰びついています	トか?						
			<u></u> 結びつ	いている									
A]に結びついてし	 \る								
りい				いていない									
A目的妥当性	2			ぜ市が行わなけ		 のですか?							
1生				て達成する目的]ですか?		_						
			妥当で	:める ⁻ 必要がある			-						
⊢													
	(3)	成果が	「同上す	る余地(可能性) 	はありませんた)\? 							
			向上す	る余地はかなり	Jある 								
			向上す	る余地はある程	程度ある 								
			向上す	でる余地はほとん	どない	_							
물	4	廃止•	休止の景	ジ響はありません	しか?								
B有効性			影響が	ぶる									
112			影響が	「ほとんどない									
	5			対象・意図)又は ∵んか?(市以外の		啓発等)を <mark>持つ他</mark> の るものを含む。)	の事務	類似事業か 合の事務事	がある場				
			類似の	事業はない									
			類似の	事業はあるが、	統合又は連携	できない							
			類似σ	事業があり、統	合又は連携で	きる							
	6	·事務等	事業の手段	殳(やり方)を工夫で付先に働きかけて	することで、事業費、 市の負担を削減	費を削減できません 或できませんか?	か? !	死に最小限6	の事務量	となっており	、これ以_	上削減は	困難である。
		-		きない									
C 効			削減で	:====================================									
率	7	・事務事	事業の手具	役(やり方)を工夫で	することで、人件費	貴(延べ業務時間)	を削減	死に最小限6	の事務量	となっており	、これ以_	上削減は	困難である。
性	7	·職員!	以外の対応	なや委託により人	牛費を削減できま	せんか?							
			削減で	きない									
			削減で						_		_		
밌	8	事務事また、	事業の内 受益者負	容が一部の受益 負担の公平性が	番者に偏っている 確保されていま	ませんか? :すか?							
D公平性			公平•	公正である									
İΞ			見直す	必要がある									
7.	1次	評価結	果 <	PLAN>(組織	(決定)	【参考】前	年度の改革	数善の方向性ぐ	«				>
(1)	事 系	を 車 業 /	の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト約	a小 :	連携	統合		休止	廃止
		方向性		0									
				・適切な積算シ	ステムのリース	契約及び保守契	約を行う。	4-2-1-+ 1. EL	+ <i>>4</i> 6 (1)	TT 16-2 />			
(2)	平点	₺27年1	きの改	・霧島市の林業	を 合かすことの	できる事業、施	設、技術等	学を持った先	正進地へ0)研修を行り	0		
革	女善(の内容											
(-12	7.11		IN NEED										
				適切な積算シ	ステムのリース	契約及び保守契	約を行う。						
		n		・霧島市の林業	をへ活かすことσ)できる事業、施	設、技術等	い かんりょう いっぱん いっぱい いっぱい いっぱい かんりょう いっぱい かんりょう かんしょう かんしょう かんしょ しゅう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう はんしょう しゅう かんしょう かんしょう しゅうしょう しゅうしょう はんしょう はんしょう はんしょう しゅうしょう しゅうしゃ しゃく しゅうしゃ しゃく しゅうしゃ しゃく しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゃく しゃく しゃく しゃく しゃく しゃく しゃく しゃく しゃく し	正進地へ0)研修を行う	0		
(3) 向性	半月生・取	双组目标	度の方 票										
8.	2次	評価結	果(担	当部長評価)									
(1)	事務	8事業(の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト約	a小 ;	 連携	統合		休止	廃止
改割	善方门	向性											
						<u> </u>	1	l		1	<u> </u>		'
(2)	総	評											
				l									

事剂	多事業ード	0106020200020101	事 務 事業名		林業振り	興総務管理事務 事	工業			農林水産部 林務水産課
	コストの	推移						1		小である。
		(単位:千円)	平成26年	F 使 ()	中質)	平成27年度	(当初予算)		亚成28年	度(計画)
	#D	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	十7,020-	一反(ル	八开 /	十成四十段			十八204	(日四)
2	 給									
3										
4	共	済 費								
5		F 補 償 費								
7	<u>賃</u>	<u>金</u> 償 費				-				
9	報 旅				20			53		53
10										
11	需_	用 費			(0		0		0
		耗品費								
	燃					-				
	食 FI	糧 費 刷製本費				+				
		熱水費								
	修	繕 料								
		材料費								
	飼									
12	医 役	薬材料費 務 費				0		0		0
12		信運搬費			<u>'</u>					
	広									
	手	数料								
	保									
13	_ 委	託 料			400			401		401
14 15		科及び賃借料 事請 負 費			630)		615		615
16		, 				+				
17		財産購入費								
18	備品	品購 入 費								
19		補助及び交付金								
20 21	扶	助 費 付 金				+				
22		 対算及び賠償金				+				
23		利子及び割引料								
24	投資	及び出資金								
25	積	立 金								
26 27	寄	附 金 課 費				1				
28	<u>公</u> 繰	砵 出 金								
ت	計				1,050)	1	,069		1,069
		庫支出金				0		0		
財	定県	支出金				0		0		
財源内訳	特定財源	方				0		0		
訳	_	<u>の</u> 般財源			1,050		1	,069		1,069
		計			1,050			,069		1,069
,	補助率	国								
		県								
		基本額								
平成		₹補正·流用 む		100	平成264	年度特定財源内 記	7	b) II-		
	当 利 和 和]予算 予算	1	,102		区分		名称		金額
	L#H TT	- 1 71								
				\dashv						
			1							

流用・充用 予算合計

1. 基本	情報									
事務事	業	01060201	車 35	主業夕	名	月水施設管理事業			担当部	農林水産部
<u>П</u>	ド	01000201	91010201 李 7为	# 木 口	以木田刀	7.7.旭以日生尹未			担当課	林務水産課
政策:	名	01	快適で魅力	あるまち・	づくり				グループ	森林整備グループ
施策	名	01	生活基盤の	充実					電話番号	45-5111
基本事	業名	02	安全で良質	な水の多	定供給	7			内線番号	2361
予	会計	一般	会計				± ₩	□ 単年度のみ		
算	款	06	農林水産業	費			事業 期間	■ 単年度繰返 (開始年	F度 S	40 年代~)
予 算 科 目	項	02	林業費				初申	□ 期間限定複数年度(~)
Ħ	目	01	林業総務費				根拠法令·条例等	霧島市飲雑用水施設設置	置管理規定	
評価区	分	1	簡易評価	評価	対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島市内には60数箇所の飲雑用水施設があり、地元水道組合等が適正な管理を行い、各家庭へ安定した水を供給している。 国分地区の飲雑用水施設においては、市で施設の整備を行い、それぞれの地区の水道組合と管理委託契約を締結した施設が20箇所ある。施 設が個人敷地に設置されているため分筆登記を行い、霧島市所有地にすることで今後も適正な管理ができる。 朴木地区水道組合水源地への道が無いため組合員は管理に苦慮している。飲雑用水管理道を整備することで、安心・安定な水供給と安全な維

a) 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	/ / 日 刻 1 日 休 (+12	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア	分筆実施施設数		箇所	6	0	0	2	2
1	管理道整備延長		m	0	0	83	80	80
ゥ								
(2	2) 事務事業の目的							
_) 対象 誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	飲雑用水施設							
1	飲雑用水管理道							
ゥ								
_) 意図 ②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度
ア	分筆登記							
1	整備される							
ゥ								
(3	3) 上位の基本事業							
_	基本事業の意図	⑦ 基本事業の成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	さらにどのような成果に結びつくのか)	(左記⑥意図の達成度を表す指標)		(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア	安全で良質な水を安定して供給できる							
1	安全で良質な水を安定して供給できる							
ゥ								

事務事業の環境変化・市民意見等

地域住民の生活向上のため、飲雑用水施設の整備は不可欠であり、安心安全な水を供給することが目的である。 施設が個人敷地に設置してある箇所を分筆し、霧島市所有にすることで、適正な管理が可能となる。管理道の整備を行うことで安心安全な水供給が可能となる。 今後は施設の老朽化が進んでいるため、耐久性の調査や再造も検討していかなければならない

1	1	nt d) 建	ω±	推移			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
ı	ŧ	777	R IR	,V) 1	进刊罗			中世	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
l				玉	庫3	と出	睁	千円	0	0	0	0	0
l		事	財	地方値その他		金	千円	0	0	0	0	0	
l		事業費	財源内訳			債	千円	0	0	0	0	0	
l		費	訳	そ	0)	他	千円	0	0	0	0	0
l	投			_	般	財	源	千円	0	2,684	15,235	1,881	59,300
l	入量		哥	一 般 財 源 事業費			千円	0	2,684	15,235	1,881	59,300	
l													
l													
l													
ĺ	l												

5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

(2)平成26年度の成果

<左記の実績(取組)による成果を記載>

- ·朴木地区飲雑用水施設管理道関連事業 (管理道開設·分筆測量委託)
- ·木場深迫地区飲雜用水施設仮設送水関連事業 (送水管材·代用井戸調査·漏水調査·漏水修繕・
- (反)送水設計委託· 仮設送水管設置工事) · 木場深迫地区飲雜用水施設水源電気探查業務 · 上之段地区飲雜用水施設電気設備調查業務
- (電気調査·掘削調査)
- 1,728,000円 10,356,282円

2,376,000円 774,360円

- ・朴木地区飲雑用水施設管理道の一部が完成した。 ・木場深迫地区の水源井戸枯渇に対し、仮設送水管が設置でき水の供給が確保された。また、電気探査調査により地区に必要な水量の可能性が見い出された。 ・上之段地区の埋設電気設備の不良箇所を特定・修繕でき、安心安全な
- 水の供給ができた。

Iuli		8事業 ード	01060	20101010201	事 務 事業名	飲雑	用水施	設管理	事業	担 当 部 担 当 課		水産部 水産課
6.	振	り返り 🏻	<see></see>							理由	l	
	1)この事	務事業の	の目的は、基本	事業の意図に終	吉びついています	か?					
		_	結びつ	いている								
■ 結びついている												
的	All 的妥当性											
女当出			事業をな	 ぜ市が行わなけ		 のですか?						
狸]ですか? 								
	H											
						_	_					
	3) 成果か 	バ向上す.	る余地(可能性) 	はありませんた 	۱٬ ?						
			向上す	る余地はかなり	ある 							
		-	向上す	る余地はある程	i 							
			向上す	る余地はほとん	どない							
且	4	廃止•	休止の影	/響はありません	か?							
物		-	影響が	ぶある								
111			影響が	「ほとんどない								
	5	類似の事業は)目的(対	対象・意図) 又は たんか?(市以外の	形態(イベントや)の主体が実施する	啓発等)を持つ他 3ものを含む。)	の事務	類似合の	事業がある場 事務事業名等			
			類似の)事業はない								
			類似の	事業はあるが、	統合又は連携	できない						
			類似の	事業があり、統	合又は連携で	 きる						
	6	・事務等	事業の手具	设(やり方)を工夫で 付先に働きかけて	することで、事業費	貴を削減できません 載できませんか?	か?	必要	な箇所での工法	:決定しており、	事業費削減の	余地は無い。
	_				(1)	2 (2 0 2 0 0 1						
ç	_											
率		•事務	事業の手具	殳(やり方)を工夫で	することで、人件費	貴(延べ業務時間)	を削減		最小限の職員と	:事務量であり、	これ以上事務	を効率化できな
性	Q) できませ ・職員!	きんか? 以外の対応	むや委託により人作	件費を削減できま	せんか?		V '0				
			削減で	きない								
D	8	事務事また、	事業の内 受益者負	容が一部の受益 負担の公平性が	と者に偏っている 確保されていま	ませんか? :すか?						
公平			_									
性			見直す	必要がある								
7.	1岁	火評価結	果 <	PLAN>(組績	进决定)	Fabric Tab	在中央社	****		継続		»
				継続							休止	廃止
					やり万改善	コスト拡充	コスト	·稲小	連携	統合	PLIE	
					い維持管理は	地元水道組合で	が行って	いろが	施設の老板化	が進んでおり修	· 維• 軍 新 弗 田 /	バタナレかり 組
	_	. b -		合での対応がつ	できず市への依	頼が増加する傾	向である	る。この。	ようななか、 林毅	水産課職員は	水道の専門的	知識が乏しいた
革	文 シ き	きの内容		いて、主管課変	更等の検討が	必要だと思われ	る。 る。	,,,,,,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	7702 300	1 X - 3 (1 P / 1 / 1 / 1	WEBX 1. XC1 = -
〔取	!り#	組むべき	課題)	・施設土地の相	続等、分筆登	記の可能性を調	査する。					
				16-20 or +4-17-11	. L. 1440 11 1m 1m 1m	+ + 1.2 / /F =	±67+77 -	, wan -1- 2	e etable 1. vr			
				施設の老杓化	2対東か把握で	さるよう、台帳の	整偏及	び調査を	ど実施する。			
(3)	平	成28年	度の方									
P] ([Ξ.	取租日 私	祟									
8	2 ¥	ア証価組	里 (生	当我是誕徒)								
											休止	廃止
			の改革	和土村代	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	統合	水工	用工
(2))総	評										

	事業 ード	0106020101010201	事 務 事業名		飲雑用	水施設管理事	業	担当担当		林水産部 務水産課
9. =	ストの	推移								
		(単位:千円)	平成26年	E度(決	(質)	平成27年[度 (当初予算)		平成28年度	(計画)
1	報	·····································	1 /2020		·9F/	1 75027 1 7	X (=10) 3 4 7/		1 /2/20 1 /2	(нгш/
2	 給	料								
3	職員	員 手 当 等								
4	共	済費								
5 7	<u>災</u> 責	子補 償 費 金								
8	 報	<u></u>								
9	旅	費								
10	交	際費								
11	需	用 費 i 耗 品 費			994			0		0
	燃燃									
	食									
		刷製本費								
	光				00.1					
	修賄				994			-		
	飼									
	医	薬材料費								
12	役	務費			0			0		0
	通広	i信運搬費 法 告 料								
	手									
	保									
13	委	託 料			7,179			581		500
14		料及び賃借料 事 請 負 費			6.750		1	200		E0 000
15 16		<u>● 調 貝 貸</u> 材 料 費			6,750 312		1	,300		58,800
17		財産購入費			0			0		
18		品購入費								
19		補助及び交付金								
20 21	<u>扶</u> 貸	助 費 付 金								
22		<u>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</u>								
23		利子及び割引料								
24		及び出資金								
25 26	<u>積</u> 寄	<u>立</u> 金 附 金								
27	公	課費								
28	繰	出 金								
	計	1 庄 士 山 ろ			15,235		1	,881		59,300
	特世	庫支出金: 支出金			0			0		
財源内訳	財地	方 債			0			0		
内訳	_	の他			0			0		
- II/	_	般財源			15,235			,881		59,300
		計国			15,235			,881		59,300
補	亅	県						\top		
補	助	基本額								
平成		達補正・流用 物				度特定財源内				
		カラ算 マスタ		000		区分		名称		金額
		E予算 E第3号		<mark>655</mark> 755						
		正第7号 正第7号		100						
				-						
			1	-						

流用・充用 予算合計

22,242

			平	成27年度	事	務事	業振	返りシ-	- -	· (<u>:</u>	平成26年度	実施事業の	の振返り)		
1. 基本	情報														
事務事		0106020	401040201 事務事	業名 治山	事業								担当部	農林水産部	
コー		0.1			<i>T</i> /K								担当課	林務水産調	
政策 施策		01	快適で魅力を防災対策の打	あるまちづくり #~#									グループ 電話番号	森林整備ク	ルーフ
		02	災害危険箇所	-									电品留写 内線番号	45-5111 2362	
	会計			川 Vノ正 川						П	単年度のみ		71水田 万	2302	
予 算 科	款	06	農林水産業	 費				事業期間			単年度繰返		₹ S	37 年度	~)
科	項	02	林業費					别旧	۱ ا		期間限定複	夏数年度(~)
目	目	04	治山事業費					根拠法令·条		森林	法•地方自治	台法			
評価▷	☑分		簡易評価	評価対象	1	l次評	価	関連計	画						
2. 事務	事業(の概	要•目的•指	票	•										
			概要 (具体的/												
人家等 ②県営県	2戸以 【単治L	上の作 山事業	造物・掘削・植 後(事業主体・下 呆護・その他(」 終(事業主体・リ をを 重要なため池 ア	県補助70%、↑ 県)1箇所の事	生民分担 業費が8	旦10% 30万円	。) 引以上8	00万円以	下で	あって	て、次に該当	するもの。			
① 活動	指標	(事	8事業の活動:	量)					単	单位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
-	6-6 NV								Ani	A	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア施工	箇所数								筐	所	5	7	3	5	6
1															
ウ															
	The rate of	-							<u> </u>						
(2)事		長の	日的	@ ÷	14611161						0.4左连	05年亩	00年度	07左曲	00左座
② 対象		a) - 1 ·	ているのか)	_	対象指標		・キャナニ	長す指標)	单	单位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
			路・河川・建物)		記②刈 ※	※ Vノ八	CGC4	区 9 1日1示/			(天順)	(天祖)	(天順)	(元心)	(兄込)
地・た	め池・	(家・)	山林	/IX											
1															
_															
ウ					h — !!- !										
4 意图					 大果指根		Dombo A	i. A flatour	単	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(②対象			<u> </u>		2(4) 意図	の達用	成度を記	長す指標)			(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア機能	明壊地の の回復る	か早期を図る。	復旧により、公益	正 的											
1															
ウ															
(3) 上															
⑥ 基本	業事	の意	図		本事				H	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(さらにと	どのよう	な成り	果に結びつくの	か) / (左言	2⑥意図	の達用	成度を表	長す指標)		- 1-2	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア安全	性が確し	呆され	る。												
1															
1															
ウ															
			境変化・市民 意変化、市民や議会		4. 事	業費	の推和	3	単	单位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度	28年度
			用しない荒廃り				国庫	支出金	=	-円	(八异)	(次昇)		(計画)	(計画)
び荒廃の)恐れの	りある	山地の予防工	事を行うため	 	財			_	- 円	16,016	5,250	5,600	5,600	5,600
、昭和37 始された	(年7月 。 市日	1日 (民の治	こ要綱を制定し 計山事業への理	ス事業が開 理解や関心が	事業	[源		方債	_	- 円	10,010	0,230	3,000	0,000	5,600
高まり、市	民から	っの要	当山事業への理	にある。森	業費	内記	卫子	の他	_	- F田	2 288	750		800	800

林所有者や市民から治山事業の推進要望がある。

1	1000 100	生曲	ω±	推移			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
Ė	412	K A	, U) Ţ	比19			丰四	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫ま	と出	睁	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	16,016	5,250	5,600	5,600	5,600
	事業費	財源内訳	地	J	ל	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	0)	他	千円	2,288	750	800	800	800
投入量			_	般	財	源	千円	10,147	10,324	4,301	5,100	5,100
量		哥	業	費			千円	28,451	16,324	10,701	11,500	11,500

5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果

<左記の実績(取組)による成果を記載>

県単補助治山事業1箇所(横川町柴建地区) 県営県単治山事業2箇所(横川町迫田地区・国分白鳥地区) (繰越)県単補助治山事業1箇所(牧園中福良地区)

事業実施により山地崩壊に不安を抱えている人家や、多くの人が利用する公共施設等の安全性が向上された。

Į.		务事業 ード	01060	20401040201	事 務 事業名		治山	事業				水産部 水産課
6.	振	り返り・	<see></see>	>						理	由	
	1)この事	務事業の	の目的は、基本	事業の意図に終	詰びついています	か?					
			結びつ	いている								
A				りに結びついてし	 \る							
的	Н			いていない								
当 当	6. A目的妥当性 B有効性 C効率性 D公平性 7. (1改 (2革収 3)性 で 1) 事の 平きり で 1) 事の 平きり で 1) 事の 1)	<u>・この</u> ‡	事業をな	ぜ市が行わなけ	 ければならないの	 のですか?						
1111		171.312		て達成する目的]ですか?							
			妥当で	:める -必要がある								
	6											
	(3	別 成果が	「同上す	る余地(可能性) 	はありませんた)\? 						
			向上す	る余地はかなり	Jある 							
				る余地はある程								
	_		向上す	る余地はほとん	どない	_						
물	4	原止・	休止の影	ド響はありませ <i>ん</i>	しか?							
効料			影響か	ぶある								
II.			影響カ	ヾほとんどない								
	(5	類似の 事業は	D目的(対 ありませ	対象・意図) 又は けんか?(市以外)	形態(イベントや) の主体が実施する	啓発等)を持つ他(るものを含む。)	の事務	類似合の	事業がある場 事務事業名等			
			類似の	事業はない								
			類似σ	事業はあるが、	統合又は連携	できない						
			類似の	事業があり、統	合又は連携で	きる						
	(6	・事務	事業の手段	没(やり方)を工夫で付先に働きかけて	することで、事業費、 、市の負担を削減	費を削減できません 或できませんか?	か?		業については、 削減する余地に		よる工法及び整	備が原則となっ
	Г	•		きない								
င္ည			削減で	::===================================								
率	G		事業の手具	没(やり方)を工夫	することで、人件費	貴(延べ業務時間)を	を削減				事業推進員とし 負担金の兼合い	
1生	V	-職員	以外の対応	むや委託により人	牛費を削減できま	せんか?		理につ	いては職員で対	が応している	ため、削減余地に	はない。
			削減で	きない								
			削減で		トギーに てい	+11740						
밌	8	事務制また、	章業の内 受益者負	容が一部の受益 負担の公平性が	全者に偏っている 確保されていま	ませんか? きすか?						
華			公平・	公正である								
<u> </u>			見直す	必要がある								
7.	12	欠評価紀	果 <	PLAN>(組織	快定)	[参考]前:	年度の改	革改善のプ	方向性≪	継	読	»
(1)	事	務事業	の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	·縮小	連携	統合	休止	廃止
		の方向性		0								
					1 豪雨により治山 9	 要望箇所が変動 [~]	するが、	基本的	な部分は市民の)生命財産を	守ることであり、	- 必要不可欠であ
(2)	平(成27年	度の改	る。								
		善の内容 組むべき										
				その年度での	豪雨により治山	要望箇所が変動	するが、	基本的	な部分は市民の	生命財産を	守ることであり、	必要不可欠であ
(0)			* o +	ు								
(3)) 半 生•	取組目標	度の方票									
8.	2 %	欠評価紀	果(推	当部長評価)								
(1)	事	務事業	の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	統合	休止	廃止
改善	善力	方向性										
(2)) 総	? 評										
				I								

事務事業 010602	20401040201									林水産部 務水産課	
9. コストの推移	;										
(単位	位:千円)	平成26年	■度 (決	·····································		平成27年度	(当初予算)		平	成28年度	(計画)
1 報	州										
2 給	料										
3 職員手											
4 共 済											
	償 費金										
8 報 償											
9 旅	費										
10 交 際	費										
11 需 用				0				0			0
消耗											
燃料											
印刷象											
光熱											
修制											
	料費										
飼 医薬木											
12 役 務				0				0			0
通信道											
広 崔											
手数											
保 随				204				CEO			C.E.O.
13 委 託 14 使用料及び				324				650			650
				8,927			8	,850			8,850
	料費			•							
17 公有財産				0				300			300
18 備品購				1 450			-	600			1.000
20 扶 助				1,450			1	,600			1,600
21 貸 付											
22 補償補填及で	び賠償金			0				100			100
23 償還金利子及											
24 投資及び											
25 積 立 26 寄 附											
27 公 課											
28 繰 出											
計				10,701			11	,500			11,500
特 国 庫 3	支出金			0 F 600				600			F 600
特定財源内	出 金 方 債			5,600				,600 0			5,600
財源は大学を表現である。	の他	1		800				800			800
一 般	財源			4,301			5	,100			5,100
計				10,701			11	,500			11,500
補助率	国県			7/10				7/10			7/10
補助基	本額			7/10				7/10			1/10
平成26年度補正		记		平成26年	度多	持定財源内訳					
当初予算			000		区分			名称			金額
補正予算		_,	0	県支出金		県	·単治山事業	費			5,600
			_	その他		県	·単治山事業	分担金	金		800
			\dashv			-					
			\dashv								

6,400

流用・充用 予算合計

	平成:	27年度	耳	事務	事	業振	返り	シー)	平成26年	度 実施	事業の	の振返り)		
1. 基本情報													Im at the	allo de la desta	
事務事業コード	11030101040701 事務事業	<mark>名</mark> 現年公	、共	施記	9災	害復旧	事業						担当部 担当課	農林水産部	
		まちづくり											<u>担ヨ昧</u> グループ	林務水産の	
	04 防災対策の推進											_	電話番号	45-5111	<u> </u>
)7 災害復旧対策の	推進											内線番号	2371	
子 会計 一	般会計						事	業		単年度の		/ / г п	te	7, nH	\
<u> </u>	1 災害復旧費 03 その他公共施設	小田協設	災宝	(省)	口弗		其	朋間			繰返 (開始 定複数年)		芝	不明])
	01 公共施設災害復		<u>Д</u>	1/21	н д		根拠法	令·条例等		1 2411b1167	CIXXT	X \			
評価区分	簡易評価	平価対象		1	欠 評	価	関連	計画	ij.						
	概要•目的•指標	<do></do>	2016	em 2	≈	.\									
(1) 事務事果(【水産施設の災害	<mark>の概要</mark> (具体的なや 海田】	り力、手順、	評消	神を	記述)									
水産施設等が	天然現象などにより被	8災した場合	災害	手復	旧を	行う。									
災害復旧の流 被害発生→二	れ 次被害発生の防止-	→調査・設計	·事	業費	量の海	央定→カ	を工→	完成							
① 活動指標 ②	事務事業の活動量)								単位	24年月			26年度	27年度	28年度
										(実績) (実	債)	(実績)	(見込)	(見込)
ア災害復旧箇所数	数 								箇所				1	1	1
1															
ゥ															
(2) 事務事業(の目的														
② 対象	- р д н з	③ 対	象指	旨標					34 IT	24年月	复 25年	- 度	26年度	27年度	28年度
(誰、何を対象に	こしているのか)	/ (左記	<u>1</u> 2x	付象	の大	きさをま	長す指	標)	単位	(実績) (実	績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア水産施設															
1															
ウ															
④ 意図 (の対象なびる)・	たいのか)	⑤ 成 :				北帝なヨ	巨小地	+亜)	単位	24年月 (実績			26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
(②対象をどうした ア 原形復旧される		(左記)	生息	,凶(ノ廷ル	戊度を表	区 9 1日	保力	_	(夫領) (天	限丿	(夫限)	(日保)	(日保)
ア原形復旧される)														
1															
<mark>ゥ</mark>															
(3) 上位の基	本事業														
⑥ 基本事業の	·-·-	⑦基:	本事	業	の月	戊果指	標		単位	24年月	度 25年	度	26年度	27年度	28年度
(さらにどのような)	成果に結びつくのか)	(左記(6意	図0	り達り	戊度を 表	長す指	標)		(実績)(実	績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア被災箇所が復旧	目される														
1															
р															
	磨烧赤儿 士日安									0.4/5	5 OF 6	- #	00年度	07年帝	00左座
	環境変化・市民意 環境変化、市民や議会などか		4.	事	業費	の推和	多		単位	24年月 (決算			(決算)	27年度 (計画)	(計画)
水産施設が天然	現象等により被災し	た場合、				国庫	支 出	金	千円	(1)(3)	/ (00) [/	0	0	(11 (1)
▋単独業施設災害犯	复旧事業にて復旧すん ることから、日ごろより	る。迅速 📗		車	l }	県 支			千円				0	0	(
状況把握に努める).	/ MERC * /		事業費	源内	地	方	債	千円				0	0	(
				賀	内訳		の	他	千円				0	0	(
			投入		Щ		財	源	千円				215	1,000	1,000
			量			業費			千円		0	0	215	1,000	1,000
5. 平成26年度	の実績及び成里														
(1)平成26年度		<取組内容を数	女値等	ミによ	り具体	的に記載	> (2)平	成26年	手度の 成	果	<左訴	己の実績(取組)	こよる成果を記載	成>
	使用料及び賃借料												行が支障な		
							1+	-							

		•		30101040701	事 務事業名	現年公	共施設	災害復	旧事業	担担	当	部課		k産部 k産課
6.	振り	返り <	SEE>	•							理	由		
	1	この事			事業の意図に終	昔びついています	ナか?							
A				いている										
目的				りに結びついてし	vる 									
A目的妥当性				いていない	1 1- 1 184- > 4-1 - 4	n-+ /: 0								
性	2	・この ⁴ ・税金る	を投入し	ぜ市が行わなけ て達成する目的	「ればならない。 」ですか?	ひですか?								
			妥当で											
			見直す	び要がある	_	_			_				_	
	3	成果が	向上す	る余地(可能性)	はありませんか)\?								
			向上す	る余地はかなり)ある 									
			向上す	る余地はある程	星度ある									
			向上す	る余地はほとん	どない									
B	4	廃止∙値	休止の景	/響はありません	か?									
B有効性			影響が	ずある										
1=				ヾほとんどない										
	5	類似の 事業は	目的(対 ありませ	対象・意図) 又は けんか?(市以外の	形態(イベントや) の主体が実施する	啓発等)を持つ他 6ものを含む。)	の事務	類似る合の	事業がある場 事務事業名等					
			類似σ	事業はない										
			類似σ	事業はあるが、	統合又は連携	できない								
			類似の	事業があり、統	合又は連携で	きる								
	6	·事務事 ·補助金	業の手段 など、交	役(やり方)を工夫で 付先に働きかけて	することで、事業費、市の負担を削減	費を削減できません 或できませんか?		仕様やはない。		階で事	事業費	の削	減を図っており)、削減の余地
			削減で	きない										
C 勃			削減で	きる										
C効率性	(7)	できませ	んか?			費(延べ業務時間)	を削減	必要最。	小限の職員と	事務量	であり)、これ	ル以上事務を多	効率化できない
-				なや委託により人	件費を削減できま	せんか?								
			削減で	きない										
-	8	事務事	業の内	容が一部の受益										
D公平性		また、		負担の公平性が 公正である	確保されていま	すか?								
性				☆正である ⁻ 必要がある										
_	4 184				A SE MES									
7.	1次	評価結	果 <	PLAN>(組織	(决定)	【参考】前	年度の改革	改善の方	向性≪					>
		多事業の 方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携		統合	4	休止 —————	廃止
以音	<u></u>	/J IPJ IX		0										
革司	女善(成27年月 の内容 むべき		災害が発生した	に時は、迅速な	対応で早期に機	能回復を	がか。						
					・ 性け 汩油かっ	対応で早期に機	能同復 *	·行ら						
(3) 向性	平 _瓦 生•取	成28年月 双組目標	度の方 票	灰舌が発生した	○時(よ、迅速/よ)	内心で早期に懐	配凹復名	:117。						
8.	2次	評価結	果 <u>(</u> 担	当部長評価)										
		多事業の	の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携		統合		休止	廃止
		向性												
(2)	総	評								1				'

事務	事業 ード	0111030101040701	事 務 事業名		現年公	共施:	投災害復旧事	業		3 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3		木水産部
9. =	ストの	推移										
		(単位:千円)	平成26年	度 (決	と 算)		平成27年度	(当初予算))	平	成28年度	(計画)
1	報		1774==	~ ~~	4317		1 774- 1 72				7 1.2	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\
2	給					+						
3		(手 当 等										
4	共 #	済費										
5 7		補 償 費金				-						
8	 報	<u></u>				+						
9	旅	費										
10	<u>交</u>	際費				_						
11	需響	用 費 耗 品 費				0			0			0
	燃燃					+						
	食											
		刷製本費										
	_	熱水費				+						
	修賄	# 料 材 料 費				+						
	飼	料費				+						
L_		薬材料費										
12	役	務費				0			0			0
		信運搬費				-						
	広手	<u></u> 告 料 数 料				-						
	保					+						
13	委	託 料										
14		4及び賃借料			21	5]	,000			1,000
15		請負費				_						
16 17		材 料 費 財産購入費				+						
18		,購入費				+						
19		補助及び交付金										
20	扶	助費										
21		付 金 填及び賠償金				+						
22		現及び 利子及び割引料				+						
24		 及び出資金										
25	積	立 金										
26	寄	<u>附金</u>				\perp						
27 28	<u>公</u> 繰	課 費 出 金				+						
20	計	14 N			21	5			,000			1,000
		庫支出金				0			0			
財	虎県	庫支出金支出金方債の他				0			0			
財源内訳	別を見る。	万債の一個				0			0			
訳					21	_		1	,000			1,000
		計			21	_			,000			1,000
ż	甫助率	国										
		県 サ サ 毎										
		基本額	4:0		₩ = 1 00	te de f	法中卧游击					
十八		補正∙流用 ∜ 〕予算		000	十八26	中度 区分	特定財源内 訂	X.	名称			金額
	補正	万万年 予算	1,	0					H 177			
				\dashv			-					
				\dashv							\dashv	
				_							_	

流用・充用

予算合計

			31/	^፲ 成27年度	事務事業振	でいきノート	• (3	亚式26年度	宝佐恵娄/	ひ作がし		
1. 基本	槽報			一队27千段	于初于未派。	佐ツノ 1	• (-	干风20年及	夫旭争未0	り振返り)		
事務事										担当部	農林水産部	-K
T107		01110102	101040701 事務	事業名 補助	林業施設災害復旧	事業				担当課	林務水産調	
政策	名	01	快適で魅力	あるまちづくり						<u>リー・・・</u> グループ	森林整備ク	
施策	名	04	防災対策の	推進					1	電話番号	45-5111	
基本事	業名	07	災害復旧対	策の推進						内線番号	2361	
予	会計	一般	会計			事業		単年度のみ	+			
算	款	11	災害復旧費			期間	ı	単年度繰過		₹ S	25 年度	~)
科目	項	01	7F 4 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	設災害復旧費	,			期間限定物	夏数年度(· 学 存/	~ 用助の智定指) हाहा (। फ़ा व
	且	02	林業施設災		4 1/1 - 575 / 775	根拠法令・条例等	スナ:	往	.火口及10 3	- 木貝呂牟	1970 11 7011	1 E (C X)
評価区			簡易評価	評価対象	. 1次評価	関連計画						
2. 事務	事業(の概要	要·目的·指	標 <do></do>	•							
					<mark>頁、詳細を記述)</mark> を下記に掲げる。次に							
●林道災 被害発	経害復Ⅱ 生→被	日事業 害報	の流れ 告(60日以内	に復旧事業費	ф確定)→災害査定(事	耳業費決定)-	→施工	→完成				
① 任動	h埃煙	(事系	務事業の活動	1畳)		È	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
U //L 3	ארוונט	(74)	がず木・ハロツ	」里/		_	- 1-2	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア災害	復旧箇月	听数				í	箇所	1	0	0	2	2
1												
											 	
ウ												
(2)事	務事業	集の	目的									
② 対象	Ż			3 🕏	対象指標	i	单位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(誰、何	を対象	とにして	ているのか)	/ (左	記②対象の大きさを表	長す指標)	+ 177	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア林業	用施設											
_												
1												
ウ												
4 意图	₹			⑤ A	 成果指標	,	¥ /⊥	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(②対象	- 東をどう	したい	いのか)	(左言	2④意図の達成度を表	長す指標)	単位	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア原形	復旧され	る										
1												
ウ												
(3) 上	位のま	基本 3	事業									
@ # #				(A) 1	大古巻の出田七	ias I		0.4年度	05年亩	26年度	07年度	20年度

-) エロの本件手末							
_	基本事業の意図 らにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年 度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	被災箇所が復旧される							
1								
ゥ								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等

市が管理する林道が豪雨等により被災した場合、事業採択要件を満たせば補助林業施設災害復旧事業にて復旧する。災害査定にて林道の維持管理状況が重視されているため、日ごろより林道のパトロールを強化・管理する。

А	nter el	業費の堆 移		費の推移		費の推移		単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
4.	* **	R IR	,V) 1	生物			中世	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)	
			玉	庫3	支出	睁	千円	0	0	0	0	0	
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	4,925	4,925	
	事業費	財源内訳	地	7	5	債	千円	0	0	0	3,900	3,900	
	費	訳	そ	0	D	他	千円	0	0	0	0	0	
投入量			_	般	財	源	千円	0	0	0	1,175	1,175	
量		哥	業	費			千円	0	0	0	10,000	10,000	
Γ													
l													

5 37	ませつら!	年度の	主緒で	りょくばいり

(1)平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果

2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

26年度は補助林業施設災害復旧事業は該当なし

災害復旧事業に該当する被災はない。

	事務事業 コード	01110	10201040701	事 務 事業名	補助林訓	業施設災害 復	夏旧事業	担 当 部 担 当 課		水産部 水産課
6. ‡	振り返り ・	<see></see>	•					理 由		
	 この事 	事務事業(の目的は、基本	事業の意図に終	詰びついています	か?				
		<u></u> 結びつ	いている			_				
A 目 的		間接的	かに結びついてに	い る						
的型		結びつ	いていない							
妥当性	② :500	事業をな	ぜ市が行わない て達成する目的	ければならないの	のですか?					
_	— · /元亚	妥当で		9 6 9 70 :		_				
			 - 必要がある							
	③ 成里#	が向トす	る余地(可能性)) はありませんか	11.2					
			る余地はかなり		, ,	_				
			る る余地はある種							
			る余地はほとん							
			/響はありません							
B有効性				0.5. :		_				
勿 生		影響が	`ぬる ヾほとんどない							
ŀ	_ *百小/ 0			形態(イベントや)	 啓発等)を持つ他(の事務 類似	以事業がある場			
	⑤ 事業は	はありませ	んか?(市以外	の主体が実施する	らものを含む。)	合の	以事業がある場)事務事業名等			
)事業はない	(± A = , 1 > ± 14	made to a					
			事業はあるが、							
-	□ ·事務I)事業があり、紡 			かっ 災害者	f定にて必要最	小限の事業費が	確定するため	事業費の削
	6 補助			、市の負担を削減	貴を削減できません 或できませんか?	はでき				
			きない							
C 初		削減で		+7-1 <i>-</i> 1 /4 =	₽ / 7 T . S +₩ 7/C n+ BB \ -#	· w 生 《 生 年	訂旧は任産に上	発生化粉が相	貴才スが 佐物	が小がかか~
率性	(7) できまt	せんか?	な(やり方)を工夫 なや委託により人		費(延べ業務時間)を せんか?	・国との	の直接協議のた)発生件数が相談 め人件費削減に	まできない。	ル・シ 奴ハ・ >
ŀ			きない							
ŀ		削減で								
D	8 事務事	事業の内	容が一部の受益 負担の公平性が	益者に偏っている 確保されていま	ませんか?					
公平性			公正である	性体で行うでする	. 9 10 :	_				
生		見直す	 ⁻ 必要がある							
, ,	1次評価紀	! 早 <	PLAN>(組制	(決定)				مام شده		
			継続			年度の改革改善の		継続	休止	廃止
	事務事業 の方向性			やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	blyan	光正
			○ 災害が発生した	 - 時は 迅速な	 対応で早期に機能	能回復を行う。				
0)	ᄑᆣᇬᆂ	曲のる	707 7010	C-116(\(\frac{1}{2}\)\(\frac{1}{2}\)\(\frac{1}{2}\)	N176 C 1 791(=150)	JULI 18 C 11 70				
哲革	平成27年									
収	り組むべき									
			災宝が発生1 が	・時け 迅速か	対応で早期に機能	出回復を行う				
			人口 为工口	C-116(\(\frac{1}{2}\)\(\frac{1}{2}\)\(\frac{1}{2}\)	N176 C 1 791(=150)	JUDI (X C 11 7)				
3)	平成28年 上・取組目	度の方 雲								
3. 2	2次評価絹	果(推	当部長評価)							
1)	事務事業	の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	方向性					गाव व	1/3	H		
				1	<u> </u>		I	I		<u> </u>
2)	総評									

事務事業コード	0111010201040701	事 務事業名		補助林業	施設災害復旧	 事業	担当部担当課		木水産部 務水産課
9. コスト	 の推移								
	(単位:千円)	平成26年	三度 (決算	章)	平成27年	度 (当初予算)		平成28年度	(計画)
1 報									
2 給	料								
	員手当等								
4 共 5 災	済 費 害 補 償 費								
7 賃	金								
8 報	償 費								
9 旅	費			0			46		46
10 交 11 需	<u>際 費</u> 用 費			0			101		101
	消耗品費			0			61		61
. ⊢	燃料費			0			40		40
. ⊢	食 糧 費								
	印刷製本費								
. ⊢	光 熱 水 費 修 繕 料								
. ⊢	<u>肾 情 村</u> 賄 材 料 費								
	飼料費								
	医薬材料費								
12 役	務費			0			3		3
	通信運搬費 広 告 料			0			3		3
	手数料								
	保 険 料								
13 委	託 料								
	用料及び賃借料			0			050		0.050
15 工 16 原	事 請 負 費 材 料 費			0		9	,850		9,850
	品購入費								
	金補助及び交付金								
20 扶	助費								
	付 金								
	金利子及び割引料								
	資及び出資金								
25 積	立 金								
26 寄	附金								
27 公 28 繰	課 費 出 金								
計	H 3E			0		10	,000		10,000
	国庫支出金			0			0		
特定財源	県支出金			0			,925		4,925
財源内訳	地方債その他			0		3	,900		3,900
訳	その他 般財源			0		1	,175		1,175
	計			0			,000		10,000
補助單	玉								
							1/2		1/2
補助									
	度補正・流用状				度特定財源内		夕秋		
	i初予算 i正予算	20,	000		区分		名称		金額
			_] [
			_						
			$\dashv \mid \mid$			 			

流用・充用 予算合計

平成	27年度	事系	务事業振:	返りシー	- - (平成26年度	実施事業0)振返り)		
1. 基本情報										
事務事業 0111010201040702 事務事業	名 単独市	木業施言	設災害復旧	事業				担当部	農林水産部	
7								<u>担当課</u> グループ	林務水産調森林整備ク	
政策名 01 快適で魅力ある 施策名 04 防災対策の推進								ブループ 電話番号	未外登闸ク 45-5111	<i>n</i> -)
基本事業名 07 災害復旧対策の								为線番号	2363	
A=1 An A ⇒1	, 1hrv=			1		単年度のみ		1小小田・7	2000	
予 会計 算 款 11 災害復旧費 科 項 01 農林水産施設災害				事業期間		単年度繰返	(開始年度	Ę –	不明))
4 項 01 農林水産施設第	(害復旧費			州间		期間限定複	要数年度(~)
日 02				根拠法令・条例						
	評価対象	1	次評価	関連計画	画					
2. 事務事業の概要・目的・指標	<do></do>	51/ /m 1								
(1) 事務事業の概要(具体的なや ●市が管理している林道・作業道・作				た担合に	巛 宝 須 🏻	また行う				
◆林道災害復旧事業の流れ 被害発生→二次被害発生の防止→	調査・設計・	事業費	の決定→施	工→完成						
① 活動指標 (事務事業の活動量)					単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 災害復旧箇所数					箇所	76	34	55	60	60
1										
<mark>ゥ</mark>										
(2) 事務事業の目的										
② 対象	_	象指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(誰、何を対象にしているのか)	/ (左記	2②対象	の大きさを表	長す指標)	+14	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア 林業用施設										
1										
<mark>ウ</mark>										
④ 意図		果指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(②対象をどうしたいのか)	/ (左記)	4) 意図(の達成度を表	長す指標)		(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア原形復旧される										
1										
o										
(3)上位の基本事業	(A) #	十古半	の中田七	Law I		0.4左连	05左曲	00左座	07左车	00左座
(6) 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)			の成果指 権 の達成度を表		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度
	(/_ pL		7月上八尺です	X 9 1日1示/		(大順)	(大順)	(大順)	(口/示/	(口1示/
ア被災箇所が復旧される										
1										
<mark>ウ</mark>										
	E Arte					0.45	05 ft ft	20/5/5	07/5	20/5/5
3. 事務事業の環境変化・市民意 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会など		4. 事	業費の推利	5	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
市が管理する林道が降雨等により被			国庫	支出金	千円	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
合、単独業施設災害復旧事業にて復	旧する。	l I.	B+ IB +	と 出 金	千円			0	0	(
迅速な復旧が求められることから、日こ 道のパトロールを強化・管理する。	ごろより林	事業	源地	. 山 亚 方 債	千円			200	5,600	5,600
20. 1. // 2.3.1. 12.7.0.		業費	内	の他	千円			0	0,000	5,600
		投		対源	千円			24,712	4,400	4,400
		I∖ ⊢	事業費	、 別 //示	千円	0	0	24,712	10,000	10,000
		量	尹未其		117	0	- 0	24,912	10,000	10,000
		I ⊢								
		<u> </u>								
5. 平成26年度の実績及び成果				(-)	- B			A Color		
(1)平成26年度の実績(取組)	<取組内容を数	数値等によ	り具体的に記載			F度の成果			による成果を記載	X >
林道等の災害復旧箇所数 55箇所 点検を行った路線数 93路線				杯道の)週切な	復旧ができ、	利用者の多	て全か守られ	ン/こ。	

		事務事	ド		10201040702	事務事業名	単独林	業施設災 ———	经害復旧事業 ————————————————————————————————————	担当課		水産部 水産課
	6.	振り	返り <	(SEE>						理由	l	
□ 開席的に結びついている		1	この事	務事業の	り目的は、基本	事業の意図に終	昔びついています	「か?				
□ 見直す必要がある □ 見直す必要がある □ 見直す必要がある □ 見上する余地はかなりある □ 向上する余地ははたんどない □ 向上する余地はほとんどない □ 新聞の事故はは □ 影響がほとんどない □ 新聞の事業はあるが、統合又は連携できない □ 類似の事業はかし □ 野似の事業はかし □ 野似の事業があり、統合又は連携できない □ 所成できない □ 別域とがの対応や表れていますか7 □ 公平公正である □ 見直す必要がある 7. 文幹部第全の内容を表れらなの表れを表の方的は ○ 公平公正のある □ 見直す必要がある ○ (1) 事務事金の改革 ② 平成27年度の改革 ② 中央公正のある □ 見直す必要がある ○ (2) 平成27年度の改革 ② 中央公正のある □ 見直す必要がある ○ (3) 平成28年度の方向性・取組目標 ○ (4世部元評価) ○ 公共の公司は、迅速な対応で早期に機能回復を行う。 ○ (3) 平成28年度の方向性・取組目標 ○ (4世部元評価) ○ (3) 平成28年度の方向性・取組目標 ○ (4世部元評価) ○ (3) 平成28年度の方向性・取組目標 ○ (4世部元評価) ○ (3) 平成37年度の改革 ○ (4世部元評価) ○ (3) 平成37年度の改革 ○ (4世部元評価) ○ (4世部元記録価) ○ (4世紀元記録価) ○ (4				結びつ	いている							
□ 見直す必要がある □ 見直す必要がある □ 見直す必要がある □ 見上する余地はかなりある □ 向上する余地ははたんどない □ 向上する余地はほとんどない □ 新聞の事故はは □ 影響がほとんどない □ 新聞の事業はあるが、統合又は連携できない □ 類似の事業はかし □ 野似の事業はかし □ 野似の事業があり、統合又は連携できない □ 所成できない □ 別域とがの対応や表れていますか7 □ 公平公正である □ 見直す必要がある 7. 文幹部第全の内容を表れらなの表れを表の方的は ○ 公平公正のある □ 見直す必要がある ○ (1) 事務事金の改革 ② 平成27年度の改革 ② 中央公正のある □ 見直す必要がある ○ (2) 平成27年度の改革 ② 中央公正のある □ 見直す必要がある ○ (3) 平成28年度の方向性・取組目標 ○ (4世部元評価) ○ 公共の公司は、迅速な対応で早期に機能回復を行う。 ○ (3) 平成28年度の方向性・取組目標 ○ (4世部元評価) ○ (3) 平成28年度の方向性・取組目標 ○ (4世部元評価) ○ (3) 平成28年度の方向性・取組目標 ○ (4世部元評価) ○ (3) 平成37年度の改革 ○ (4世部元評価) ○ (3) 平成37年度の改革 ○ (4世部元評価) ○ (4世部元記録価) ○ (4世紀元記録価) ○ (4	A 目			間接的	に結びついてに	いる						
□ 見直す必要がある □ 見直す必要がある □ 見直す必要がある □ 見上する余地はかなりある □ 向上する余地ははたんどない □ 向上する余地はほとんどない □ 新聞の事故はは □ 影響がほとんどない □ 新聞の事業はあるが、統合又は連携できない □ 類似の事業はかし □ 野似の事業はかし □ 野似の事業があり、統合又は連携できない □ 所成できない □ 別域とがの対応や表れていますか7 □ 公平公正である □ 見直す必要がある 7. 文幹部第全の内容を表れらなの表れを表の方的は ○ 公平公正のある □ 見直す必要がある ○ (1) 事務事金の改革 ② 平成27年度の改革 ② 中央公正のある □ 見直す必要がある ○ (2) 平成27年度の改革 ② 中央公正のある □ 見直す必要がある ○ (3) 平成28年度の方向性・取組目標 ○ (4世部元評価) ○ 公共の公司は、迅速な対応で早期に機能回復を行う。 ○ (3) 平成28年度の方向性・取組目標 ○ (4世部元評価) ○ (3) 平成28年度の方向性・取組目標 ○ (4世部元評価) ○ (3) 平成28年度の方向性・取組目標 ○ (4世部元評価) ○ (3) 平成37年度の改革 ○ (4世部元評価) ○ (3) 平成37年度の改革 ○ (4世部元評価) ○ (4世部元記録価) ○ (4世紀元記録価) ○ (4	的妥			結びつ	いていない							
□ 見直す必要がある □ 見直す必要がある □ 見直す必要がある □ 見しする余地はかなりある □ 向上する余地はある程度ある □ 向上する余地はほとんどない □ 原土・休止の影響はありませんか? □ 影響がほとんどない □ 影響がほとんどない □ 影響のほとからで「他の事業」を持つ他の事務 □ 野郷の事業はから、統合又は連携できない □ 弱級の事業はから、統合又は連携できない □ 開放できない □ 削減できる □ 門式できない □ 削減できる □ 門式できない □ 削減できる □ 門式できない □ 削減できる □ 門式できない □ 削減できる □ アラギルシット件更を削減できませんか? □ 削減できる □ アラギルシット件更を削減できまなんか。 □ 削減できる □ 東西東カラ南族やリカ)をエますることで、人件責(他べ業権特別を削減でまなかか) □ 削減できる □ 東西東カラ南族やリカ)をエますることで、人件責(他べ業権特別を削減できないかっ) □ 削減できる □ 東西東カラ南族やリカ)を工ますることで、人件責(他べ業権特別を削減できませんかっ) □ 削減できる □ 東西東カラ南族・リカード・東京・東京・東京・東京・東京・東京・東京・東京・東京・東京・東京・東京・東京・	当性	2	·この事 · 税全2	事業をなせ を投入し	ぜ市が行わなけ て達成する日か	ナればならない <i>の</i>	つですか?					
□ 見直す必要がある ③ 成果が向上する余地に対応せばかなりある □ 向上する余地に対応も収集ある □ 向上する余地に対応とせない □ の上する余地に対応とせない ② 使止・休止の影響はありませんか? □ 影響がある □ 影響がある □ 影響がある □ 影響がある □ 影響がある □ 影響があるが、統合又は連携できない □ 類似の事業があるが、統合又は連携できない □ 対似の事業があるが、統合又は連携できない □ 別以の事業があるが、統合とは連携できない □ 別以の事業があるが、統合とは連携できない □ 別以の事業があるが、統合とは連携できない □ 別以できない □ 削減できない □ 削減ではない □												
□ 向上する余地はある程度ある □ 向上する余地はおる程度ある □ 向上する余地はおる程度ある □ 向上する余地はおる程度ある □ 向上する余地はおるがはまとしたない ② 復止・休止の影響はありませんか? □ 影響がある □ 影響がある □ 影響がある □ 影響がある □ 影響がある □ 影響がある □ 影響があるかけ、前点の音楽は変数するものを含む。) □ 類似の事業はか。 □ 類似の事業はか。 □ 類似の事業があり、被合又は連携できない □ 類似の事業があり、被合又は連携できない □ 所式できない □ 門式できない □ 別式できない □ 別式できない □ 別式できない □ 門式できない □ 別式できない □ 門式できない □ 別式できない □ 別は見いかきが高級でき場に減っていませんか? □ 公本・受害者質別の対でき場に減らな呼吸が高級でき場がある □ 見直す必要がある □ 見直す必要がある □ と変析の発生した時は、迅速な対応で早期に機能回復を行う。 建文をの内容 「似り組む・べき課題」 ※ 次音が発生した時は、迅速な対応で早期に機能回復を行う。 第次をの内容 「似り組む・べき課題」 ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※												
□ 向上する余地はある程度ある □ 向上する余地はおる程度ある □ 向上する余地はおる程度ある □ 向上する余地はおる程度ある □ 向上する余地はおるがはまとしたない ② 復止・休止の影響はありませんか? □ 影響がある □ 影響がある □ 影響がある □ 影響がある □ 影響がある □ 影響がある □ 影響があるかけ、前点の音楽は変数するものを含む。) □ 類似の事業はか。 □ 類似の事業はか。 □ 類似の事業があり、被合又は連携できない □ 類似の事業があり、被合又は連携できない □ 所式できない □ 門式できない □ 別式できない □ 別式できない □ 別式できない □ 門式できない □ 別式できない □ 門式できない □ 別式できない □ 別は見いかきが高級でき場に減っていませんか? □ 公本・受害者質別の対でき場に減らな呼吸が高級でき場がある □ 見直す必要がある □ 見直す必要がある □ と変析の発生した時は、迅速な対応で早期に機能回復を行う。 建文をの内容 「似り組む・べき課題」 ※ 次音が発生した時は、迅速な対応で早期に機能回復を行う。 第次をの内容 「似り組む・べき課題」 ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※		(3)	成果が	向上する	5余地(可能性)) はありませんか	١?					
□ 向上する余地はあら程度ある □ 向上する余地はほとんどない □ 発展の事業はありませんか? □ 彩響がある □ 影響がほとんとない □ 影響の事業はない □ 類似の事業はない □ 類似の事業はない □ 所以の事業はない □ 所以の事業はない □ 所以できない □ 所以できない □ 削減できる □ 本務事業の手類(やり力)を工夫することで、事業費を削減できませんか? □ 削減できる □ 本務事業のから(やり力)を工夫することで、人件員(選べ書務時間)を削減 □ 削減できる □ 本務事業のが多い(から)を少表により人件費を削減できませんか? □ 削減できる □ 本務事業のが多いの方をや表記により人件費を削減できませんか? □ 削減できる □ 本務事業のの方をや表記により人件費を削減できませんか? □ 削減できる □ 本務事業のの方をや表記により人件費を削減できませんか? □ 削減できる □ 大田 がありたや表記により人件費を削減できませんか? □ 削減できる □ 大田 がまた。		Ĭ										
□ 向上する余地はほとんどない ② 廃止・休止の影響はありませんか? □ 影響がある □ 影響がある □ 影響がある □ 影響があるが、統合又は連携できるの事務 □ 紫星の事業はあるが、統合又は連携できる □ 紫星の事業はあるが、統合又は連携できる □ 紫星の事業はあるが、統合又は連携できる □ 紫星の事業はあるが、統合又は連携できる □ 明誠できない □ 野星の事業はあるが、統合又は連携できる □ 明誠できない □ 財産できない □ 別域できない □ 別域できながある □ 記録を必要がある □ 見直す必要がある □ 見直す必要がある □ 見直す必要がある □ 見直す必要がある □ 見直す必要がある □ 見直す必要がある □ スト版介 選携 数合 □ スト版介 連携 などのからにはないがある。 □ スト版介 単純 数点の表の表の表の表の表面の表面の表面の表面を表面の表面を表面の表面を表面を表面の表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表												
(3) 単成と、大上の影響はありませんか?												
影響がほとんどない 影響がほとんどない 影響の目的(対象・裏図)又は影響(ペーントで思え思うを持つ他の事務 影響の目的(対象・裏図)又は影響(ペーントで思え思うを含む。) 野似の事業はない 景似の事業はない 景似の事業はない 景似の事業はあるが、統合又は連携できない 景似の事業があり、統合又は連携できませんか? 日 削減できる 事務事業の手段(やり)かを工夫することで、人件責(過べ業権時間)を削減 と事務金とと、文付まに出まかけて、市の自患を削減できませんか? 剛減できる 事務事業の予度(やり力)を工夫することで、人件責(過べ業権時間)を削減 と事務金とと、文付よに出まり人件費を削減できませんか? 別域できる 事務事業の内容が 部の受益者に偏っていませんか? 別域できない 削減できる 事務事業の内容が 部の受益者に保っていませんか? 別域できる 事務事業の内容が 部の受益者に保っていませんか? 公本の公正の表記により人件費を削減できませんか? 公本の公正の表記 別域できる 東海事業の内容が 部の受益者に保っていませんか? 京に、安益者自認の公平性が確保されていますか? 公平の公正である 現すが要素をした時は、迅速な対応で早期に機能回復を行う。 2月まず必要がある 21年のの改革改革の内容が 次書が発生した時は、迅速な対応で早期に機能回復を行う。 次書が発生した時は、迅速な対応で早期に機能回復を行う。 次書が発生した時は、迅速な対応で早期に機能回復を行う。 次書が発生した時は、迅速な対応で早期に機能回復を行う。 2月を発生を使の方 1日を発生を使の方 1日を発生を使の方 1日を発生を使の方 1日を発生を使の方 1日を発生を使の方 1日を発生を使い方を発生を対応で早期に機能回復を行う。 2次字確結果 (担当部長評価) 2月が発生した時は、迅速な対応で早期に機能回復を行う。 2月が発生を使い方は、1日を表する 1日を表する 1日												
□ 影響が見らい信念・適別と比較にイベントの要象等と持つ他の事務	日有が											
(2) 平成27年度の改革により、活達な対応で早期に機能回復を行う。 (2) 平成27年度の改革により、 (3) 平成28年度の方向性・取組目標 (4) 中の方向性 (4) 中の方向性 (5) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	刈性											
● 東京はありませんか? (情以外の主体が実施するものを含む。) 白の事務事業名等 日報(の事業はない) 日報(の事業があり、統合又は連携できない) 日報(の事業があり、統合又は連携できる(かっ) 情別をとし、文行外に聞きかけて、帯の貨態を解放できませんか?						形態(イベントや)	啓発等)を持つ他	の事務	類似事業がある場			
□ 類似の事業はあるが、統合又は連携できない □ 類似の事業があり、統合又は連携できる ⑥ ・			事業は	ありませ	んか?(市以外				合の事務事業名等			
□ 類似の事業があり、統合又は連携できる ⑥ ・						4± A = 1 L = 1"						
(6) 事務事業の手段(やリカ)を工夫することで、事業者を削減できませんか? 仕様や工法決定の段階で事業費の削減を図っており、削減の分に作品をない 削減できる 事務事業の再段(やリカ)を工ますることで、人件度(延べ業務時間)を削減												
(2) ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか?								100 A	 土様や工法決定のE		 削減を図ってお	
□ 削減できる		(6)	·補助金	など、交付	付先に働きかけて	、市の負担を削減	式できませんか?					
**		<u> </u>										
できませんか?	効果					+7-1 100+	E / 7.1 -> + 75 - 1 - 0	+ 441 ×+	/ 亜島小畑の酔号	・重務長でなり、	カリト車数か	効率ルでき
■ 削減できない □ 削減できる ③ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか? また、受益者負担の公平性が確保されていますか? □ 公平・公正である □ 見直す必要がある 7. 1次評価結果 < PLAN> (組織決定) (多制資年夏の改革改善の方向性≪	性	7	できませ	んか?				空門/ 0	コ・メルスコヤスマノ州収具(- 〒7万里 (8)ソ、こ	-4 いんエザかで)	<i>∞</i> 1 → 1 Γ
□ 削減できる ③ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか? また、受益者負担の公平性が確保されていますか? □ 公平・公正である □ 見直す必要がある 7. 1次評価結果 〈PLAN〉(組織決定)												
3												
□ 公平・公正である □ 見直す必要がある 7. 1次評価結果 〈PLAN〉(組織決定) (************************************	D											
7. 1次評価結果 〈PLAN〉(組織決定) (多)前年度の改革改善の方向性《	公公亚		_			足体されていま	7 N. ?					
7. 1次評価結果	性											
(1) 事務事業の改革	7	1 1/7				**************************************						
(2) 平成27年度の改革 改善が発生した時は、迅速な対応で早期に機能回復を行う。 (2) 平成27年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題) (3) 平成28年度の方向性・取組目標 (3) 平成28年度の方向性・取組目標 (1) 事務事業の改革 継続 やり方改善 コスト拡充 コスト縮小 連携 統合 休止 廃止 改善方向性			平価結	果くほ	PLAN>(組織							
(2) 平成27年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題) 災害が発生した時は、迅速な対応で早期に機能回復を行う。 (3) 平成28年度の方向性・取組目標 災害が発生した時は、迅速な対応で早期に機能回復を行う。 (3) 平成28年度の方向性・取組目標 (1) 事務事業の改革投稿 (1) 事務事業の改革投稿 総統 やり方改善コスト拡充 コスト縮小 連携 統合 体止 廃止 投善方向性										1	/ *	
(2) 平成27年度の改 革改善の内容 (取り組むべき課題) (3) 平成28年度の方 向性・取組目標 8. 2次評価結果 (担当部長評価) (1) 事務事業の改革 改善方向性 総続 やり方改善 コスト拡充 コスト縮小 連携 統合 休止 廃止)事務	る事業の	の改革	継続					統合	休止	
(3) 平成28年度の方 向性・取組目標 8. 2次評価結果 (担当部長評価) (1) 事務事業の改革 改善方向性 総続 やり方改善コスト拡充 コスト縮小 連携 統合 休止 廃止)事務	る事業の	の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト級	宿小 連携	統合	休止	
向性・取組目標 B. 2次評価結果 (担当部長評価) (1) 事務事業の改革 世継続 やり方改善 コスト拡充 コスト縮小 連携 統合 休止 廃止 改善方向性	改善 (2) 革d)事務 善のフ)平成) 平成	多事業の 方向性 な27年度 の内容	の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト級	宿小 連携	統合	休止	
(1)事務事業の改革 継続 やり方改善 コスト拡充 コスト縮小 連携 統合 休止 廃止 改善方向性	改善 (2) 革d)事務 善のフ)平成) 平成	多事業の 方向性 な27年度 の内容	の改革したの改まり、	継続 〇 災害が発生した	やり方改善と時は、迅速な対	コスト拡充	能回復を	宿 小 連携 行う。	統合	休止	
(1)事務事業の改革 継続 やり方改善 コスト拡充 コスト縮小 連携 統合 休止 廃止 改善方向性	改善(2) (2) (取 ————————————————————————————————————)事務プリンス (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	多事業6 方向性 227年原 の内容さ	の改革 () () () () () () () () () (継続 〇 災害が発生した	やり方改善と時は、迅速な対	コスト拡充	能回復を	宿 小 連携 行う。	統合	休止	
大学 大	改善(2)革取 (3)向性)事務プ)) 平成り 組 ジ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	系事向 対27年 の内で 対28年 様28年 様28年 様28年	の改革したの改まり、	継続 〇 災害が発生した	やり方改善 と時は、迅速な対	コスト拡充	能回復を	宿 小 連携 行う。	統合	休止	
(2)総評	改善(2)革取 (3))事務プリン平成り)平成り組ま)平成り 単生・取	発生 な27年 のか な28年 月 で な28年 月 で は28年 月 で は28年 月 で は28年 月 で は38年 月 で は38年 月 の は38年 月 の は38年 月 の は38年 月 の は38年 月 の は38年 月 の は38年 月 の は38年 月 の は38年 月 の は38年 月 の は38年 月 の は38年 月 の は38年 月 の は38年 月 の は38年 月 の は38年 月 の は38年 月 の は38年 月 の は38年 月 の は の の は の の は の の に の の に の に の に の に の に の の に に に の に に に の に に に の に に に の に に に の に の に の に の に の に に に の に 。 に の に 。 に 。 に 。 に に 。 に 。 に に に 。 に に に 。 に に に に に に に に に に に に に	の改革の改善を課題の方	継続 ○ 災害が発生した 災害が発生した	やり方改善 と時は、迅速なが	コスト拡充 対応で早期に機	能回復を能回復を	宿小 連携 行う。			廃止
(2)総評	改善(2)革取 (3)物 (3))事のファット は 1 は 1 は 1 は 1 は 1 は 1 は 1 は 1 は 1 は	等 事向 な27内で な28年目標 では な28年間標準 では では では では では では では では では では	の改革の改善を課題の方	継続 ○ 災害が発生した 災害が発生した	やり方改善 と時は、迅速なが	コスト拡充 対応で早期に機	能回復を能回復を	宿小 連携 行う。			廃止
	改 (2) (2) (3) (1) (1))事のファット は 1 は 1 は 1 は 1 は 1 は 1 は 1 は 1 は 1 は	等 事向 な27内で な28年目標 では な28年間標準 では では では では では では では では では では	の改革の改善を課題の方	継続 ○ 災害が発生した 災害が発生した	やり方改善 と時は、迅速なが	コスト拡充 対応で早期に機	能回復を能回復を	宿小 連携 行う。			廃止
	改 (2) 革取 (3) (1) 書 (1) 書)善のファット (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	等 事 方 た 27内 で 28年目標 で 18年 18年 18年 18年 18年 18年 18年 18年	の改革の改善を課題の方	継続 ○ 災害が発生した 災害が発生した	やり方改善 と時は、迅速なが	コスト拡充 対応で早期に機	能回復を能回復を	宿小 連携 行う。			廃止

事務事業	0111010201040702	事 務 事業名	当	——————————— 施設災害復旧事業	担当部	農林水産部
コード	0111010201040702	事業名		尼 政火 占 後 山 于 木	担当課	林務水産課
9. コストの	推移					
	(単位:千円)	平成26年	丰度(決算)	平成27年度 (当初予算)		平成28年度 (計画)
1 報	西州					
2 給	料					
	手 当 等					
4 共	済 費					
	子補 償 費					
7 賃	金					
8 報	償 費					
9 旅	費					
10 交	際費		2.050		000	
11 需	用費		6,972	ე	,020	5,02
	耗品費				20	0
燃食			0		20	2
光						
修			6,972		,000	5,00
賄			0,312	<u></u>	,000	5,00
飼						
	薬材料費					
	務費		0		0	
	信運搬費					
広						
手						
保						
13 委	託 料		0	1	,000	1,00
14 使用料	料及び賃借料		11,940	3	,700	3,70
15 工事	事請 負 費		6,000			
	材 料 費		0		280	28
	財産購入費					
18 備 品	品購 入 費					
	補助及び交付金					
20 扶	助費					
21 貸	付金					
	博及び賠償金					
	利子及び割引料					
	及び出資金					
25 積	立 金 附 金					
26 寄 27 公	附 金 課 費					
27 公 28 繰	課 貨 出 金					
28 計	山 並		24,912	10	,000	10,00
E	庫支出金		0	10	0	10,00
			0		0	
特定財源日本			200		,600	5,60
財源内部である。	の他		0	J	0	5,00
訳	般財源		24.712	1	.400	4,40

補助基本額 平成26年度補正·流用状況

補助率

玉

当初予算	10,310
補正予算	10,000
補正第3号	10,000
流用・充用	
予算合計	20,310

平成26年度特定財源内訳

24,912

1 /2/20 1 /2/19 /2/// //	m 1	
区分	名称	金額
地方債	農林水産業施設災害復旧事業債	200
	合 計	200

10,000

1. 基本	情報										
事務事	業	01060302	00010100	主致主	学夕 水产	多面的機能	北欧伊州	华 東		担当部	農林水産部
⊐-1	,,	01060302	02010102	尹扬尹之	未	多囲門機能	北光1年入1	水 尹未		担当課	林務水産課
政策名 02 自然にやさしいまちづくり										グループ	林務水産グループ
施策名 01 自然環境の保全										電話番号	45-5111
基本事業	業名	01	公共用	水域の	水質保全					内線番号	2371
予	会計	一般	会計					± **	□ 単年度のみ		
予算 会計 一板会計 算								事業 期間	■ 単年度繰返 (開始年	F度 H	22 年度~)
科	項	03	水産業	費				79] [F]	□ 期間限定複数年度((~)
目	目	02	水産業	振興費				根拠法令·条例等	霧島市補助金等の種類及	び補助率に関	引する要綱
評価区	分	7	票準評値	T	評価対象	1次	評価	関連計画			

<Do> 2. 事務事業の概要・目的・指標

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

藻場・干潟は水産資源の保護・培養に重要な役割と水質浄化等の公益的機能があり、漁業者等がその機能の維持・回復に資する保全活動を国と 地方自治体がそれぞれの役割に応じて支援する対策。 【実施主体】錦江・福山町漁協・漁業者 【なせ事】250

|交付率||25%

【文刊学123/6 【事業内容】藻場の保全活動のためにアマモの移植、干潟の保全活動に稚貝の放流等 藻場・干潟の保全・回復と水質浄化を図る。 交付金事業で国・県・市が地域協議会へ負担金を支出し、協議会から事業主体へ交付を行う事業である。 この事業は、平成25年度から水産多面的機能発揮対策事業に名称変更されて引き継がれる。

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
アマモの移植		□	2	2	2	2	2
イ 稚貝の放流・沈着促進		口	2	2	7	2	2
ウ 清掃活動		口	0	4	2	0	2
(2) 事務事業の目的						,	
② 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 藻場・干潟	アマモの移植及び播種面積	m²	200	200	200	400	400
1	稚貝の放流・沈着促進面積	m²	18,000	18,000	18,000	0	18,000
o							
④ 意図(②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア回復を図る	自然環境に寄与する人工薬場の面積/人工 造成計画面積	%	4	4	4	4	4
1							
<mark>ੈਂ</mark>							
(3) 上位の基本事業							
⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア・資源の増加・水質の保全がなされる	錦江湾の環境基準点第2地点のCOD	mg/ℓ	2	2	2	2	2
1							
<mark>ゥ</mark>							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

平成21年調査の水質悪化を改善するために取り組んだ。 藻場が確実に減少している。

4.	4. 事業費の推移						単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度	28年度 (計画)
			国	庫す	を出	金	千円	0	0	0	0	0
	事	財源内 大田 金 世			金	千円	100	125	125	125	125	
	事業費				千円	0	0	0	0	0		
	費	訳その他		そ の 他		千円	0	0	0	0	0	
投入量			_	般	財	源	千円	1,295	1,125	1,126	1,126	1,126
量		事	業	費			千円	1,395	1,250	1,251	1,251	1,251

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2) 平成26年度の成果

きりしま薬場守り隊

第30保 第40保全 ①海藻の種苗投入 ②アマモの移植及び播種(2*4m17枚設置) ③モニタリング(事業実施後の調査) 20人参加

③モニタリンク(事業美施後の制 王潟の保全 ①稚貝の沈着促進 ②機能発揮のための生物移植 ③モニタリング

129人参加 72人参加 50人参加

地域で藻場や干潟の保全活動を続けることで、きりしま地域(隼人町小浜や国分広瀬、敷根、福山地区)の藻場、干潟の保全が図られた。特に、干潟のアサリ試験養殖については、初めての試みであったが、稚貝が順調に育ち、漁業者の漁業意識が高まったことは成果である。また、今後、漁業権を取得し、地元産として販売する計画まであがっている。

틕	■務事 コード		01060	30202010102	事務事業名	水産多面	的機能	と発揮す	丁策事業	担当担当			K 産部 K 産課
6.	振り返	y <	SEE>	•							里 由	11 323	1 */ HPI*
	① 3	の事	務事業の	の目的は、基本	事業の意図に網	昔びついています	├か?	アマモのつながり	の移植・稚貝の の、資源の増加)放流等す や水域の	つることに	は、藻場・干潟 保全になされ	の保全回復に ることに結びつ
		-	結びつ	いている				<.					
A 目			間接的	た結びついてに	いる								
A目的妥当性			結びつ	いていない									
当性	②:	この事	業をな	ぜ市が行わなけ て達成する目的	ればならないの ですか?	つですか?		藻場・∃ る	- 潟の保全・回	復は湾奥	の浄化	につながること	から妥当であ
			妥当で	きある	· · ·								
			見直す	 必要がある									
	3 F	戊果が	向上す	る余地(可能性)	はありませんか	٧.		事業のない。	成果にも限界7	があるのて	ぶ、事業	目的以上の成	果向上余地は
			向上す	る余地はかなり	ある								
			向上す		建度ある			1					
			向上す	る余地はほとん	どない								
В	4	を止・ク	上の景		ンか?			4年間の	継続事業であ	り廃止で	きない。		
B有効性		-	影響が	、 、ある									
性			影響が	· ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・									
				対象・意図) 又は けんか?(市以外の		客発等)を持つ他	の事務	類似	事業がある場 事務事業名等				
	7	■		事業はない	7工件70天旭,6	000/2 [10:0]			F127 X L (
			類似の	事業はあるが、	統合又は連携	できない							
			類似の)事業があり、統	合又は連携で	<u>き</u> る							
	6:	事務事 補助金	業の手具など、交	役(やり方)を工夫で 付先に働きかけて	することで、事業費、市の負担を削減	を削減できません ばできませんか?	か?	事業費	が確定している	るので削減	域余地に	はない。	
			削減で										
C 効			削減で	きる									
率性		事務事		役(やり方)を工夫で	することで、人件費	貴(延べ業務時間)	を削減	【参考: 人件費	昨年度の内容 は予算執行事	】 務のみで	あり, 削	減余地がない	١,
11		職員以	外の対応	なや委託により人作	井費を削減できま	せんか?							
			削減で	きない									
	(C)			さる <mark>容が一部の受益</mark>	者に偏っている	ませんか?					ための事	事業であり、受	益者は漁業者
D 公		た、受	登益者負	担の公平性が				のみでに	はなく一般市員	民となる。			
公平性				公正である ⁻ 必要がある									
_	a alm See				6 N. P. P. N.								
/.	次評	個精:	来 < I	PLAN>(組織	(决定)	【参考】前	年度の改	革改善の方	向性≪		継続		>
	事務等		改革	継続 	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	統領	^	休止 ————	廃止
- X	= 07/]	1111111		0		A (6.) (0) (1)					3000		No. No.
				藻場の保全活成果が出ている	活動については るので、27年度に	、今後も継続して こは、地元産アサ	けりとして	むことがた	大切である。干 るために漁業権	・潟の保全 雀の取得だ	活動は	、26年度でアー である。	サリの養殖に
革司	平成2 対善の	内容											
(取	り組む	べき	課題)										
				工海の保全海	F動の一つでな	るアサリの養殖に	こつして	1十 26年	唐で出思が	・がってお	·N Ζσ	成果を他の事	地にも 広げる
						こアサリ販売を開			及 C 成未がユ	-W7 C40	19,100	/从木で匝り垣	残にも立いる
	平成2 生•取約												
	,,,,,												
8.	2次評	価結.	果(担	当部長評価)									
(1)	事務	事業σ)改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	統領	<u> </u>	休止	廃止
	手方向												
					1	1				1			
	• • •												
(2)	総評	4											
				1									

	務事業 一ド	0106030202010102	事務事業名	:	水産多面的		事業	担当部担当課		林水産部
9. =	コストの	 推移	7 111 [2]					1= 11	111	初水产环
			- Baa 6 -	- (>-	frets \	-	· / • ! • ! = =			(=1)
		(単位:千円)	平成26年度	き (決	算)	平成27年度	(当初予算)		平成28年度	(計画)
1	報	栖								
2	給	料工业等								
4	概 貝 	. 手 当 等 済 費								
5										
7		金			85			88		88
8	報	償 費								
9	旅	費								
10		際費			41			0.0		90
11	需	用 費 耗 品 費			41			38		38
	燃燃	*** 			41			30		30
	食									
	印	刷製本費								
	光	熱水費								
	修	繕 料								
	賄									
	飼	料費								
12	<u>运</u> 役	条 M 科 負			0			0		0
'-		信運搬費								
	広	告 料								
	手	数料								
	保	険 料								
13		託 料								
14		及び賃借料								
15 16		請 負 費 材 料 費								
17		<u>" ₹</u> 財産購入費								
18		購入費								
19		補助及び交付金			1,125		1	,125		1,125
20	扶	助費								
21	貸	付金								
22		填及び賠償金 利子及び割引料								
24		NT X O 割 S 科 及び出資金								
25	積	立金								
26	寄	 附 金								
27	公	課費								
28	繰	出 金								
	計	庄士 山			1,251		1	,251		1,251
	特児	庫支出金 支出金			0 125			125		125
財源	特定財源 単足				0			0		120
財源内訳	源を	の他			0			0		
訳		般 財源			1,126		1	,126		1,126
		計			1,251			,251		1,251
*	甫助率	国								
		県 * 毎			10/10		1	0/10		10/10
補		基本額	h ve				-			
平成		補正・流用も		1		度特定財源内記		D Hr		本 病
]予算 [予算	1,25	0	県支出金	区分	水産多面的機	名称 能発揮対策	京事業費	金額 125
	THI III	. J' JT			小人山亚	/	小土夕 四円//	ロロフロコギノリク	、尹本貝	140
]						· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
				-						
1			i	1	i				1	

当初予算	1,251
補正予算	0
流用・充用	
予算合計	1,251

区分	名称	金額
県支出金	水産多面的機能発揮対策事業費	125
	合 計	125

											1	
ı	1. 基本	情報										
	事務事	業	01000000	202010201 事系	女車 学々	センノい	山际岭東紫				担当部	農林水産部
	<u>コード</u>										担当課	林務水産課
	政策	名	02	自然にや	さしいまち・	づくり					グループ	森林整備グループ
	施策名 01 自然環境の保全										電話番号	45-5111
	基本事	業名	02	森林の保	全		内線番号	2362				
	予	会計	一般	会計					± **	□ 単年度のみ		
	算	款	06	農林水産	業費				事業 期間	■ 単年度繰返 (開始 ⁴		S52 年度~)
	予 算 科 目	項	02	林業費					79][F]	□ 期間限定複数年度	(~)
	目	目	02	林業振興	費				根拠法令·条例等	森林病害虫等防除法		
	評価区	分		標準評価	評価	対象	1次評価		関連計画			

<Do> 2. 事務事業の概要・目的・指標

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島市内景勝地のレクリェーションの場に欠かすことのできない公益的機能の高い松林について、対象木593本に対し計画的に数年に分け冬期間に健康な松の樹幹に小孔をあけて予め薬剤を注入し、松くい虫被害を防止する。また、霧島地区(神話の里公園付近)においては松くい虫による被害木を伐倒・玉切りして枝条まで集積してビニールで被覆くん蒸することで、被害の拡大を防止する。 ※委託業者:森林組合(指名入札5社) ※薬剤残留検査:(目的:薬剤の効果確認,手法:枝等を検査機関へ持ち込み,金額:無料)

			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア 景勝松林樹幹注入本数		本	127	153	162	104	104
イ 伐倒・くん蒸		m³	199	304	292	350	350
<mark>ੈ</mark>							
(2) 事務事業の目的							
② 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 景勝松林	景勝松対象松	本	592	592	592	592	592
1							
<mark>ウ</mark>							
(② 意図(②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア 病害虫から守る	樹幹注入本数/景勝松対象松	%	21	26	27	18	18
1							
o							
(3) 上位の基本事業							
⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度
ア 景勝松林が保全され市民などの癒しの 場にもつながる。	植林された森林面積	ha	22	30	32	30	30
1							
'							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

移入虫であるマツノダラカミキリ虫が媒介するマツノザイセンチュウで松が枯死するため、昭和52年度から森林の荒廃を防ぐために開始した。10年周期くらいで被害量は増えたり減ったりを繰り返している。

4	4. 事業費の推移						単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
т.	402		.001	שנים			+12	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫3	を出	睁	千円	0	0	0	0	0
	事	財源内集支出金地方債その他			千円	4,598	6,593	6,929	6,985	6,985		
	事業費				千円	0	0	0	0	0		
	費	訳その他		千円	211	228	390	416	416			
投入量			_	般	財	源	千円	554	549	2,842	1,374	1,374
量		事	業	費			千円	5,363	7,370	10,161	8,775	8,775

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

(2)平成26年度の成果

景勝林樹幹注入事業

国分海浜公園(58本)、霧島神宮参道(89本)、国民休養地(15本) 伐倒・〈人蒸事業

霧島神話の里公園周辺(292㎡)

松くい虫被害を未然に防止できた。霧島神宮参道については寿命等で枯れ松が数本見受けられるので、路上等に倒れて事故が起こる前に伐倒し植替えを行うことができた。 また、伐倒・くん蒸を行っている神話の里公付近については、枯損木を撤去し、樹種転換を図った。

į	事務事業 0100			20202010201	01 事務 松くい虫				ŧ	担担	当当	部課		水産部 水産課
6.	振	り返り	<see></see>	•							理	_		
	1) この [‡]	事務事業の	の目的は、基本	事業の意図に終	きびついています	か?		公林を病害虫が 場にもつながる		ること	で、景	勝松林が保全	とされ市民等の
	H		結びつ	いている				,, <u>c.</u> ,	w. 0 5 w					
A	H			に結びついてい	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~									
目的妥当性	H		結びつ	いていない										
当	2	·= \(\sigma_{0} \)	事業をな	ぜ市が行わなけ	ればならないの	Dですか?			すや市民の訪ね					全を図ることを
111		- 1九五	愛を投入し 妥当で	<mark>て達成する目的</mark>	ですか?			日むてい	ているので公	大) 关	ナリムち	r∃ Ca	める。	
	H	_		. <i>w</i> る 										
H	(3			る余地(可能性)	はありませんだ	١٠?		話の里名	公園周辺の松	林は毎	手年初	を害がは	あり、伐倒・くん	るが、霧島神 ん蒸事業と病害
	r	-	向上す	っ る余地はかなり	ある			虫に強い	ハ黒松等に樹	種転換	色を図	る必要	ぎがある	
	r		向上す	 る余地はある程	 !度ある									
	Γ		向上す	る余地はほとん	どない									
В	4	〕 廃止	・休止の景	/響はありません	か?			松くい観光地	虫による松枯	れ被害も悪く	手が拉 なる。	大する	5.	
B有効性	H	-	影響が	 「ある										
性	H		影響が	*ほとんどない										
	(5	類似	の目的(対	対象・意図)又は	形態(イベントや)	啓発等)を持つ他の	の事務	類似	事業がある場事務事業名等					
		●乗□		<mark>たんか?(市以外の</mark>)事業はない	り土体が美施する	ものを含む。)		一日の	P/SP未石守 -					
	┝) 事業はあるが、	統合又は連携	できない								
	H			事業があり、統										
	6					きを削減できません; 或できませんか?	か?	事業費	骨の削減は事業	業量(月	成果)	の縮小	、に繋がる。	
	H	THI -9.	削減で		、中の見近で門	, CE & E 7013 · .								
ç			削減で	きる										
C効率性			事業の手具	殳(やり方)を工夫す	することで、人件費	貴(延べ業務時間)を	削減	委託で	で事業を行うた	め人作	牛費に	には影響	響しない。	
性	(/	7) できま ・職員	せんか? 以外の対応	芯や委託により人作	‡費を削減できま	せんか?								
	L		削減で	きない										
	L		削減で					ASSE NO. 24		.L.→ /□	1 \	7-11	L #2+01	
밌	(8	事務また、	事業の内 、受益者負	容が一部の受益 負担の公平性がる	活者に偏っている 確保されていま	ませんか? すか?			はいいである。	外を保	(王)	ること	ま、広く市民に	こ有益であるの
D公平性			公平・	公正である										
1±			見直す	必要がある										
7.	12	欠評価網	結果 <i< th=""><th>PLAN>(組織</th><th>決定)</th><th>【参考】前4</th><th>手度の改革</th><th>改善の方</th><th>向性≪</th><th></th><th>i</th><th>继続</th><th></th><th>*</th></i<>	PLAN>(組織	決定)	【参考】前4	手度の改革	改善の方	向性≪		i	继続		*
(1) 車	孫宝堂	の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携		統合		休止	廃止
		の方向性		0										
				樹幹注入事業は	こついて、薬剤	 の残留検査等を行	行ってい	<i>ن</i> <.						
(2) 平	· 成27年	度の改											
革	改書	善の内容組むべる	\$											
(10		,												
				県への補助事業	業を要望し、継続	続的に松等の保全	全に努め	うる。						
	٠.	b - -												
(3) 半 性•	4成28年 取組目	度の方 標											
<u>_</u>				<u> </u>										
8.	23	欠評価網	吉果 (担	当部長評価)										
			の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携		統合		休止	廃止
改善	善力	方向性												
						· '				•				
, -		\ = -												
(2) 総	\$ 評												

事務	主業		車			担当部	- 農丸	*水産部
事伤		0106020202010201	事 務 事業名	松く	い虫防除事業	担当部		·····································
9. ⊐.	ストの	 推移						
		(単位:千円)	平成26	年度 (決算)	平成27年度 (当初予算)		平成28年度	(計画)
1	報	酬						
	給	料						
3		手 当 等						
4	共	済 費						
		補 償 費						
7 8	<u>賃</u> 報	<u>金</u> 償 費						
9	旅	_{[見}] 費						
10	<u></u> 交							
11	需	用費		0		0		0
		耗品費						
	燃	料 費						
	食	糧 費						
		刷製本費						
	光							
	修賄							
	飼	料費						
								
12	<u></u>	務費		0		0		0
	通	信運搬費						
	広	告 料						
	手	数料						
	保	険 料						
	委	託料		10,161	8	,775		8,775
14 15		料及び賃借料 						
16		材料費						
17		财産購入費 財産購入費						
18		購入費						
19		補助及び交付金						
20	扶	助 費						
21	貸	付 金						
		填及び賠償金						
		利子及び割引料						
		及び出資金 立 金				_		
25 26	<u>積</u> 寄	<u>立</u> 金 附 金						
27	公	課費						
	 繰	出金						
	計			10,161	8	,775		8,775
,	特 国	庫支出金		0		0		
財	特定財源	支 出 金		6,929	6	,985		6,985
財源内訳	財地源	方 債		0		0		
訳	_	の他		390		416		416
	<u> </u>	般 計		2,842		,374		1,374
		国		10,161	8	,775		8,775
補	助率	県		10/10, 1/2	10/10、	1/2		10/10,1/2
拙	助	基本額		10, 10(1/ 2	10/10(., =		/ 10 1/2

平成26年度補正•流用状況

当初予算	8,994
補正予算	1,259
補正第5号	2,607
補正第7号	-1,348
流用・充用	
予算合計	10,253

平成26年度特定財源内訳

一次20十支时足别师!	300	
区分	名称	金額
県支出金	松くい虫被害対策事業費	5,626
県支出金	地域振興推進事業費	1,303
その他	雑入(松くい虫防除霧島神宮補償)	390
	合 計	7,319

1. 基本	情報												
事務事	業	0106020	503010301	車	坐夕 众	と茶ァ	の協働の森づくり	車業			担当部	農林	水産部
	ド	0100020	02010201	尹 孙尹:	**1	ヒ未こ	v / lbb 関 v / 木木 ノ \ ソ	ず 未			担当課	林務	水産課
政策:	名	02	自然	にやさしい	はちづ	くり					グループ	森林	整備グループ
施策	名	01	自然	環境の保	全						電話番号	45-5	111
基本事	業名	02	森林	の保全							内線番号	2372	
予	会計	一般	会計					+ *		単年度のみ			
算	款	06	農林	水産業費				事業期間		単年度繰返 (開始	年度	19	年度~)
予算科目	項	02	林業	費				初申		期間限定複数年度	(~)
目	目	05	森林	整備事業	費			根拠法令·条例等	なし				
評価区	☑分		標準評	平価	評価対	付象	1次評価	関連計画					

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

企業と「森づくり事業」の協定を結び、寄付金により市有林の整備を行うものである。

平成19年度から、トヨタ車体㈱と㈱トヨタ車体研究所より寄付金100万円を寄付いただき森林整備を実施。1期(19年度より23年度)では牧園地区の 5箇所約14haで間伐・植林を実施。2期(24年度より28年度)を実施中である。森林整備を行った森林は、「トヨタ車体グループの森」と呼び、環境啓発イベント等を開催し、森林の持つ公益的機能や二酸化炭素吸収源としての森林の重要性を市民の皆さんと考える場として活用している。

1	活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	「企業と協働の森」の除間伐実施面積		ha	2	2	2	2	
1	企業からの寄付金額		千円	1,000	1,000	1,000	1,000	
ゥ								
(2	2)事務事業の目的							
	対象 誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	市有林	市有林面積	ha	2,531	2,531	2,531	2,531	
1								
ゥ								
	意図 ②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度 (目標)
ア	適正に管理する。	施業実施面積	ha	2	2	2	2	
1								
ゥ								
(3	B)上位の基本事業							
	基本事業の意図 ぶらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	森林が保全される。	施業実施面積	ha	490	476	457	476	
1								
ゥ								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等) 森林は森林資源の造成という機能だけでなく、 災害防止や、二酸化炭素の吸収源としても期待 されている。

4.	事詞	类	o į	隹移			単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度	28年度 (計画)
						金	千円	0	0	0	0	0
	事	酒				金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	源内	地	ブ	5	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	0)	他	千円	0	990	988	1,000	1,000
投			_	般	財	源	千円	0	0	0	0	0
投入量		事	業	費			千円	0	990	988	1,000	1,000
_												

5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載と

国分川内にある鍋迫市有林2.01haにおいて、除間伐を実施した。

| 国ガルアルのショルルディアと、び川はによる ・国分川内字鍋迫1081-1 季託先: 姶良東部森林組合 施工地案内看板作成委託 表示看板購入ほか 除間伐実施により健全な市有林に整備できたことは勿論、山林に「トヨタ 車体グループの森」の看板を設置し広く市民ヘアピールが出来た。

哥	事務 コー	事業 ード	01060	20502010201	事 務 事業名	企業との	つ協働の	の森づく	り事業	担担	<u>当</u> 部 当 課		水産部 水産課				
6.	振り	返り <	SEE>	>							理由	1132	373 47 <u>-</u> 12 H214				
	_				事業の意図に終	古びついています	か?	客附全	に上り市有林	が適正	お施業が	ぶ行われること	で、森林整備が				
	_	_	4生7パー	いている					るので政策を				て、林小玉畑か				
A		_		りに結びついてい													
日的				いていない													
A目的妥当性	<u></u>			ぜ市が行わなけ	ればならないの	 Dですか?											
性	(2)	•税金	を投入し	で達成する目的	ですか?			により実	施している。ま				め、全額寄付金 管理を行わなけ				
			妥当て					ればなら	ない。								
			見直す	がある													
	3	成果が	「向上す	る余地(可能性)	はありませんか), <u>S</u>							方有林の森林整				
			向上す	る余地はかなり	ある			加加が促	生され、周辺雰	≅境の	可上か期?	侍できる。					
			向上す	る余地はある程	≧度ある												
			向上す		どない			1									
Ь	4)	廃止・	休止の暑	影響はありません	か?			へ 类 し	のパートナー	ブセウ	ルサベノ	車类でなり さ					
B有効性	•								とはできない。		に基づく	尹耒 じめり、	1//1一万时に廃				
畑			影響カ					-									
	_	※お小の		ばまとんどない	形能 (ノベヽ) よわ	啓発等)を持つ他	の車数	米石小川三	事業がある場								
	5			けんか?(市以外の			のプライカ	合の事	務事業名等	森林	維持管理	事業					
			類似σ	事業はない				寄附金り	こよる事業のだ	とめ、他	1の事業と	:は統合できな	<i>:۱</i> ۷%				
			類似σ	事業はあるが、	統合又は連携	できない											
			類似σ)事業があり、統	合又は連携で	きる											
	6	·事務事 ·補助金	■業の手具 会など、交	役(やり方)を工夫で付先に働きかけて	することで、事業費 、市の負担を削減	費を削減できません 載できませんか?	か?	財源が智	寄付金のみの	事業の	ため削減	はできない。					
		-		きない				1									
Ç			削減で	 :きる													
C効率性			業の手具	段(やり方)を工夫で	することで、人件費	貴(延べ業務時間)	を削減	た米ュ	ヘイチショ ア	Lan Hill	: 早の <i>版</i> #	- 作用けり亜	目 J. 四-本とフ				
性	(7)	できませ・職員じ		芯や委託により人作	井費を削減できま	せんか?		作業は全て委託しており、職員の作業時間は必要最小限である。									
			削減で	きない													
			削減で	きる													
D	8			容が一部の受益 負担の公平性が				市有林の	の委託発注に	ついて	け基本	的に入札形式	で採用している				
公平性		<i>⇔1</i> _, ;		公正である	唯体で10でいる	. 9 73. :		ため、一	部の受益者に	こ偏るこ	とはない	0	CENOUS CV D				
性				必要がある													
_	4.0				h Silveria												
7.	1次	評価結	果 <	PLAN>(組稿	(决定)	【参考】前	年度の改	革改善の方	向性≪		継続		>				
		務事業(継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	á	統合	休止	廃止				
改書	틀の	方向性		0													
						うくり事業』パート 土、株式会社トヨ											
(2)	平月	成27年月	度の改	「トヨタ車体グル	ープの森」づく	りを行うものであ 、市有林の除間	る。			<u>k</u> (100)	7111.50	C(CIII.H 4No)					
		の内容		十八八十八八八	本事未を伯用し	、川 汨 州 川 州	人工口口	anne- X /	ω y ⊘ ₀								
\-\ \	7 112	10 .	W ()														
				『企業と協働の	森づくり事業ル	ペートナーズ協定	に基づ	き トヨタ	車体株式会 社	上 株式	:会社トヨイ	タ車体研究所	より頂いた寄付				
				金をもとに市有			.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	C(1-)			A 11.1 - /	IT-91 / L//	CC 715K1 1/5 H1 1.1				
		成28年月															
[P]]3	土 " 月.	仅組目標	₹														
0	0.26	Su brakk	HH _ / L	1 3k 対 医 5g (g)													
Ο.		評価結	未 (拉	当部長評価)													
		務事業の 向性	の改革	継続 	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	ń	統合	休止	廃止				
以習	引刀	刊注															
(2)	総	評															
				į.													

事務	§事業 ロード	010602050201020	事務事業名		企業を	上の†	温働の森づくり	事業		担当部 担当課		木水産部 務水産課
9. =	コストの	推移									·	
		(単位:千円)	平成26年	F度(決算)		平成27年月	度 (当初予	第)	2	· 成28年度	(計画)
1	報	州画										
2	給	料										
3		手当等										
5	共巛	済 費				\dashv						
7	_ 賃	金										
8	報	償 費										
9	旅	費										
10	<u>交</u> 需	際 費 用 費				0			0			0
''												
	燃	料費										
	食											
	光	刷製本費										
	修											
	賄											
	館	引 料 費										
10		薬材料費										
12	役 译	務 費				0			0			0
	広											
	手	数 料										
	保工											
13	委	託 料 料及び賃借料			!	988			1,000			1,000
15		事請負費										
16		材 料 費										
17		財産購入費										
18		引購入費 補助及び交付金				_						
20	扶	助費										
21		付 金										
22		博真及び賠償金										
23		利子及び割引料 及び出資金										
24 25		立 金										
26	<u> </u>	 附 金										
27	公	課費										
28	繰	出 金				000			1 000			1.000
	計	庫支出金	,			9 <mark>88</mark>			1,000			1,000
日十	特 -	· 支 出 金				0			0			
財源内訳	財地	方 債	t			0			0			
内		** IL	!		!	988			1,000	1		1,000
		般 財 源 計				0 988			1,000			1,000
_	***	国							1,000			1,000
	補助率	県										
補												
平成		E補正•流用:	_	000	平成2		度特定財源内	訳	カル			
		刃予算 E予算	1,	000,	その作		区分	指定寄附金	名 称	1		金額 988
	, 111 -11	_ , ,,			2->			-B/E B/11/3				
				\dashv								
				-								

988

流用・充用 予算合計

1	. 基本	青報												
	事務事	業	0106020	502010202	主	坐夕 ス	木林丝	<u></u> 挂持管理事業				担当部	農林水産	部
	그ㅡ١	*	0100020	302010202	学 加サ:	***	沐小小	的日生尹禾				担当課	林務水産	課
	政策	各	02	自然	にやさしい	はちづ	らくり					グループ	森林整備	情グループ
	施策律	各	01	自然	環境の保	全						電話番号	45-5111	
2	基本事業	業名	02	森林	の保全							内線番号	2372	•
	予	会計	一般	会計					# #		単年度のみ			
	算	款	06	農林	水産業費				事業 期間		単年度繰返 (開始	年度 -	- 不	玥)
	予 算 科 目	項	02	林業	費				MILI		期間限定複数年度	Ę(~)
	目	目	05	森林	整備事業	費			根拠法令·条例等	なし				
	評価区	分		標準部	平価	評価対	対象	1次評価	関連計画					
=														

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

市有林を適正に管理するための整備や市有林監視人の設置、森林国営保険への加入などを行う。 除間伐及び下刈等の森林整備については森林組合等の認定林業事業体に委託して行っている。 森林国営保険は市有林の人工林を対象にしている。また、掛金については費用対効果を考慮し、適正な付保率となるよう努めている。

1	活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	市有林の施業実施面積		ha	43	45	26	27	30
1	森林国営保険加入面積		ha	196	211	348	236	200
ゥ	間伐、主伐により市有林から搬出された	材積	m³	1,737	1,247	2,096	4,619	4,600
(2	2) 事務事業の目的							
_	対象 惟、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	市有林	市有林面積	ha	2,531	2,531	2,531	2,531	2,531
1								
ゥ								
_	意図 ②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア	適正に管理する。	施業実施面積	ha	43	45	26	27	30
1								
ゥ								
(3	B)上位の基本事業							
_	基本事業の意図 ぶらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	森林が保全される	植林された森林面積	ha	23	30	32	30	30
,								
1								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

市が所有する山林を適切に維持管理するために開始した。木の林齢が高齢化していくため、今後、補助対象外の山林が増加する。そのため、市単独の除間伐事業等をする必要性が増した。環境保全の観点からも市有林の適切な整備を進めていくよう市民から要望がある。

4.	事業	生物	の‡	推移			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
								(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
		国庫支出金					千円	0	0	0	0	0
	事	財 原 支 出 金 方 債 そ の 他				金	千円	0	0	15,181	15,090	15,090
	事業費	源内	地	ブ	5	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	0)	他	千円	0	499	0	0	0
投入量			_	般	財	源	千円	374,978	27,241	33,083	59,077	59,077
量		哥	業	費			千円	374,978	27,740	48,264	74,167	74,167

5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果

<左記の実績(取組)による成果を記載>

①下刈 19.67ha 霧島市牧園町高千穂字柳ヶ平3242-5 ほか ②除間伐 25.95ha(補助25.95ha) 霧島市国分川内字鍋迫1081-1 ほか ③森林国営保険加入 347.93ha ④市有林監視人による巡視活動 16人

適正な市有林の維持管理が図られた。

튁	事務: コー	事業 -ド	01060	20502010202	事務事業名	森	林維持	管理事業	Ę	担担	<u>当</u> 当	課		水 <u>産部</u> 水産課		
6 :			SEE>							7브	_ 理		<u> </u>	小连袜		
<u> </u>	_				事業の音図に終	古びついています	たか つ	+	- 1	de (m) -				- +4.33/B A		
	•				ず来の心西に	10.20.60.8	, ,,, .	市の所有されるの	する川林を順で政策体系に	遺切に	-維持で	宮埋する。	ることによっ	て、森林が保全		
Α				いている	. 7			1								
目的妥当性				に結びついてし	<u>'</u> ৯			-								
妥当		0 =		いていない <mark>ぜ市が行わなけ</mark>	h か バナンこ ナン	Dですかっ										
性	2	·税金	を投入し	て達成する目的	ですか?	<i>D</i> C 9 <i>D</i> · :		市有林の	ため、市が省	管理を	行わな	ければ	ばならない。			
			妥当で	ある												
			見直す	必要がある												
	3	成果が	「向上す	る余地(可能性)	はありませんか), S		市有林の	施業(下刈、	除間	伐等)る	を適切り	こ実施するこ	ことで、成果目		
		-	向上す	る余地はかなり	Jある			標の向上	が期待できる	5.						
			向上す	る余地はある程	 星度ある											
			向上す	ーーーー る余地はほとん	 どない			1								
	(1)		休止の暑	/響はありません	tv 2			-ttt		^m -≥	Z= 1 k.		* L > L			
B有効性	•				0/3* :			市有杯(/	ため、市が管	学理を	行わな	いけれい	(ならない。			
効性			影響が					-								
		#5/N C		ほとんどない	πく台ビノノバン Ι ΙΔ Ι	啓発等)を持つ他	の事数	*** /n/ *	# IST 718							
	5	事業は	ありませ	んか?(市以外の	か悲(イベントへ)の主体が実施する	音光寺)を持った ものを含む。)	の事務		業がある場 務事業名等							
			類似の	事業はない												
			類似の	事業はあるが、	統合又は連携	できない										
			類似の	事業があり、統	合又は連携で	きる										
	6	·事務事 ·補助金	業の手段など、交	设(やり方)を工夫で付先に働きかけて	することで、事業費 、市の負担を削減	費を削減できません 載できませんか?	か?							業を導入して		
		-		きない				いるので	事業費を削減	載する	ことは	困難で	ある。			
ç			削減で	 きる												
C効率性				攺(やり方)を工夫で	することで、人件費	貴(延べ業務時間)	を削減	ヨ ケ 士	左せの歩業と	· 木 + +	- VO 🛆 A	立つ 到	字扑茶車茶	仕 に未記(1		
性	(7)	できませ・職員じ		なや委託により人	牛費を削減できま	せんか?		現在、市有林の施業は森林組合等の認定林業事業体に委託(入札形式)しているため、人件費の削減も困難である。								
			削減で	きない												
			削減で	きる												
D	8			容が一部の受益 担の公平性が				市有林の	委託発注に	ついて	には、暑	基本的に	こ入札形式	を採用している		
公平性				公正である	REPRESENTATION OF	, , , ,		ため、、-	一部の受益者	に偏る	ることに	はない。				
性			見直す	必要がある				1								
7	1 1/0	○ (本 4 ±	II /I	PLAN>(組織	(本中)											
/.		計一川東口	* \		(大足)	[参考]前	年度の改	革改善の方向	□性≪		継	続		>		
		多事業(継続 	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携		統合		休止	廃止		
以 型	5 0),	方向性		0												
						できるだけ高率の										
		戈27年 月		ら引き続き適正 また、今後、f	♥期を迎える市	有林の森林資源	活用や	、県平均よ	り低い再造材	木率向	」上や、	主伐、	再造林の一	-貫作業による		
		の内容むべき		低コスト省力化	の実践、定着を	図るため、平成	27年度	より皆伐、	再造林の一覧	責作業	を 経野	貴を新規	見に予算化り	」、皆伐~再造		
				市有林の適コ	Eな維持管理、i	適切な森林施業	(除間付	は等)を行う	0							
(O)		+ 00 /- 5	# 0 +													
		艾28年月 7組目標														
8. :	2次	評価結	果(担	当部長評価)												
(1)	主系	8事業の	おおり	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	~縮小	連携		統合		休止	廃止		
		向性	7以平		. ,,,,,	11 11476	7731	THE P	~= 175		,,, H					
					l .		<u> </u>			1				L		
(2)	総	評														

事務事業 0106020502010202	事 務 事業名	森林維持管理事業	担当部	農林水産部
コード 0106020502010202			担当課	林務水産課

9. =	ストの推	移			
	(単位:千円)	平成26年度 (決算)	平成27年度 (当初予算)	平成28年度(計画)
1	報	西州			
2	給	料			
3		手 当 等			
4		済 費			
5		補償費			
7	賃	金		990	990
8		償費	849	939	939
9	旅	費			
10		際 費	99	99	99
11		用費	23	23	23
		耗 品 費 料 費	23	23	23
	燃食	<u>料 費</u> 糧 費			
		熱水費			
	修	<u>然 </u>			
	飼	料費			
12		務費	11,322	15,493	15,493
	通信	重搬費			
	広	告 料			
	手	数料	4,077	10,512	10,512
	保	険 料	7,245	4,981	4,981
13		託 料	30,521	45,395	45,395
14		及び賃借料	4,445	11,268	11,268
15		請負費			
16	原材				
17		産購入費	1,044		
18		購入費			
19		助及び交付金 助 費	60	59	59
21		<u>助</u> 付 金			
22		<u>い 业</u> [及び賠償金			
23		子及び割引料			
24	投資及	び出資金			
25		立 金			
26	寄	附 金			
27		課費			
28		出 金			
	計		48,264	74,167	74,167
	特国原	支出金	0	0	
財	定県	支出金	15,181	15,090	15,090
財源内訳	特定財源 老	方 債	0	0	
訳	_	の他	0	0	E0.0EE
	一 般		33,083	59,077	59,077
		計画	48,264	74,167	74,167
*	甫助率	国県	10/10、6.8/10、7/10	10/10、6.8/10、7/10	10/10、6.8/10、7/10
補	助基		10/10, 0.0/10, 1/10	10/ 10, 0.8/ 10, 1/ 10	10/ 10, 0.0/ 10, 1/ 10
1 #	り 刃 左	4 祖			

平成26年度補正•流用状況

当初予算	49,472
補正予算	3,202
補正第3号	3,951
補正第7号	-749
流用・充用	290
予算合計	52,964

平成26年度特定財源内訳

一次20十支付足别源内部					
区分	名称	金額			
県支出金	森林環境税関係事業費	2,157			
県支出金	森林環境保全直接支援事業費	11,524			
県支出金	地域森林環境づくり促進事業費	1,500			
	· 合計	15,181			

1. 基本	情報											
事務事	業	01060205	02010202	主	坐夕 杰	林瑨	境税事業				担当部	農林水産部
	,	01000203	02010203	争协争	木口林	7个5年	说说事未				担当課	林務水産課
政策	名	02	自然	にやさしい	いまちづく	り					グループ	森林整備グループ
施策	を									電話番号	45-5111	
基本事	業名	02	森林	の保全							内線番号	2372
予	A=L én.								± **	□ 単年度のみ		
算	款	06	農林水産業費						事業 期間	■ 単年度繰返 (開始 ^年	F 度	H17 年度~)
予算 款 項日		02	林業費						7列申	□ 期間限定複数年度	(~)
目	目	05	森林	整備事業	費				根拠法令·条例等	霧島市補助金等の種類及	なび補助率に関	引する要綱
1 評価区	· 分	,	運淮 部	¥価	評価 執	·象	1次評	価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

市で委嘱した森林づくり推進員活動を利用し、間伐未実施林分の把握、森林所有者への間伐の督励、選木、伐採の指導及び現地調査を行い、 森林の一体的かつ効率的な整備、森林の多目的な機能の維持、増進を図る。また、林業事業体へ間伐作業に必要な作業路等開設に係る経費を 助成することにより、森林所有者の施業意欲が向上し、健全な森林を育み、森林の持つ公益的機能の維持を図る。

1	活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	森林づくり推進員活動		Ħ	265	265	265	265	
1	森林健全化整備(森林の除間伐・再造	妹)	ha	42	65	49	45	
ゥ	森林づくり基盤整備(作業道・作業路・身	長材路の路網整備)	m	12,450	9,540	40,000	28,000	
(2	:) 事務事業の目的							
_	対象 推、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	森林施業計画の対象となる森林	森林施業計画面積	ha	14,605	9,832	21,964	11,000	
1	民有林	林業作業従事者数	人	101	111	116	111	
ゥ								
4	意図 ②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア	計画的な森林整備が促進される	施業実施面積/森林施業計画面積	%	5	4	2	6	
1								
ゥ								
(3	り上位の基本事業							
6	基本事業の意図 らにどのような成果に結びつくのか)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	
ア	森林が保全される	ha	23	30	32	24		
1							_	
ゥ								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

平成17年度から森林環境税を財源とする事業が始まり、森林づくり推進員活動補助がスタートした。また、高齢級除間伐と作業路等の森林基盤整備に対する上乗せ補助を開始した。木材価格の低下による森林施業意欲が低下している。森林所有者から、森林を適正に保全するためさらに支援の拡充の要望がある。

4.	事	类	の持	隹移			単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度	28年度
			玉	庫3	き 出	金	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	795	795	795	795	795
	事業費	財源内訳	地	7	5	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	0)	他	千円	0	0	0	0	0
投入量			_	般	財	源	千円	5,361	3,648	5,128	5,247	5,247
量		事業費				千円	6,156	4,443	5,923	6,042	6,042	

5. 平成26年度の実績及び成果

<取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果 (1)平成26年度の実績(取組)

<左記の実績(取組)による成果を記載>

①森林づくり推進員活動 ②森林づくり間伐事業 ③森林づくり基盤整備 ④再造林等 1,590,000円 235,870円 265 H 31.00ha 9,540m 23.84ha 1,495,800円 1,121,185円

森林づくり推進員の活動等により、除間伐の促進が図られた。 また本事業により集材路の開設を行い、搬出コストの低減が図られた。 また再造林への助成により再造林の促進が図られた。

틕		事業 ード	01060	20502010203	事 務 事業名	森	林環境	脱事業		担担	<u>当</u> 当	部課		ᡮ水産部 務水産課	
6.	_		SEE>	>	7-76-1					15	理	由	14143	办小生成	
	_		務事業の	の目的は、基本	事業の意図に絹	告びついています:	か?	当事業に	より森林施業	が進	み、森	林敷	備が図られ	その結	里森林
		_	結びつ	いている			7	が保全され	いるため施策	体系	に結て	どうと	でいる。	C *> /\u03b4	ACAMO FT
A			間接的	りに結びついてい	 \る										
的亞			結びつ	いていない											
A目的妥当性	(2)			ぜ市が行わなけ		つですか?	Ā	集林・林業 本せ及で	基本法第プ ド林業に関し	条に	「地方	公共	団体は、基	本理念に	のっとり
ı	_	* 祝玉:	妥当で	<mark>て達成する目的</mark> なる	109707			ケ公共団	体の区域のび実施する	自然的]経済	的社	会的諸条件	に応じた	施策を
				 					割であること				7967CC40C	40) (/////	1.42 PK
	3			る余地(可能性)	けなりませんか	\ 2			の低迷による						
	<u> </u>					, t	7	有林)が-	が得られず道	、森林	づくり	推進	員の活動日	数を増や	
				る余地はかなり				」/よ事業	说明を行うこ	2162	り分分	その月	上余地かめ	ら。	
				「る余地はある程 「る余地はほとん											
	0						Б	作年度は	消費税増税	前の自	宝宅の	駆け	入み需要で	一時的に	木材価
B 有	4)	廃止・	木止の影	ど響はありません	<i>ν</i> か?			各が持ちī ル施業系	直したが、4 / を 書の 負 担 地	月以降 曽となる	木材 5. 盛	価格を	が低迷しては	おり、補助 有者の章]金がな 欲が減
B有効性			影響カ				j	垦し、施業 らい。	面積が減少	する。	恐れか	ぶあり、	森林保全	こ与える影	影響が大
_		DIFT (III -		「ほとんどない	T . 115		7h			ı					
	5			対象・意図)又は とんか?(市以外の		啓発等)を持つ他の ものを含む。)	り事務	類似事 合の事	業がある場 条事業名等						
			類似σ	事業はない											
			類似σ	事業はあるが、	統合又は連携	できない									
			類似σ)事業があり、統	合又は連携でき	きる									
	6	·事務事 ·補助金	業の手段など、交	役(やり方)を工夫で付先に働きかけて	することで、事業費、市の負担を削減	gを削減できませんが ずできませんか?	か?		の低迷により が重く、補助					英経費に き	対する
		-	削減で	きない											
C 항			削減で	きる											
C効率性	(7)		業の手段	没(やり方)を工夫で	することで、人件費	貴(延べ業務時間)を	削減	甫助金申 寺間削減	清、実績報告 は難しい。	告作成	、補助	力金支	払い事務等	∳これ以_	上の業務
1	•	・職員以		なや委託により人作	井費を削減できま	せんか?									
				きない 											
	_	車級車	削減で	:さる <mark>容が一部の受益</mark>	*孝に佢っている	t++ 4. tv 2	>	の事業に	は森林組合を	を通じ	て山木	k所有	老への補用	か行う事	業であ
D 公	8			担の公平性が				公平であ		2.42.0	,,,,	1 /21 13	L .> III.>>	321171	7(0)
D公平性				公正である											
			見直す	一必要がある											
7.	1次	評価結	果 <	PLAN>(組箱	決定)	【参考】前年	F度の改革	改善の方向	性 ≪		総	続		>	
(1)	事	務事業の	の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト約		連携	-	統合		休止	B	廃止
改割	きの	方向性		0											
				森林所有者が備のみならずる	いら森林整備に 森林保全の重要	関しての同意が得 性の啓発を行い、	られず、 森林整	放置され備を積極	た森林も多的に進める	く、森を	林づく 事業σ	り推定	進員の活動 性が高まる	を通じて	森林整
(2)	型	成27年	度の改	WIII - 7 0-2 7 7		m - 11/201/1 · (. ////	W C 1X 12		,	. ,,,	1377	1,40.0	ū	
		の内容													
				森林づくり推済	生員の活動を通 ・税関係事業に	じて森林整備の。 おいて実施する険	みならず	森林保全に対して	の重要性の	啓発される	を行い	、森林	林整備を積	極的に進	める。
(3)	亚口	成28年原	∉の方	\$7C\ 78\ F1\ 9K\ 9E		101 C)C/IE / D/A	N NI CHIN	(=),, 0 (,	11110401	0.1941	ZH J. 6	~	C1170		
		取組目標													
8.	2次	評価結	果(推	当部長評価) 「											
		務事業の	の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト約		連携	i	統合		休止	J	廃止
以主	力	向性													
(0)	44	≘ ₩													
(2))総 評														
								_							

事務	事業 -ド	0106020502010203	事務事業名			木環境税事業		担当部担当部		林水産部
9. ⊐:	ストの	 推移						J	113	23 * 3 * 42 X X X
		(単位:千円)	平成26年	度(決	算)	平成27年	度 (当初予算)		平成28年度	(計画)
1	報	置								
	給	料								
		手当等								
	共 ※ •	済 費 詳補 償 費								
	賃	金			1,590		1	,590		1,590
	報							,		
	旅	費								
	<u>交</u> 需	際 費 用 費			0			0		0
11		用 費 耗 品 費			0			0		0
	燃									
	食	糧 費								
	_	刷製本費								
	_	熱水費								
	修賄									
	飼									
		薬材料費								
12	役	務費			0			0		0
	迪広	信運搬費 告 料								
	手									
	, 保									
	委	託 料								
		科及び賃借料 - ま 名 弗								
		請負費 材料費								
		<u>// / / 頁</u> 財産購入費								
		購入費								
		補助及び交付金			4,333		4	,452		4,452
	扶口	<u>助</u> 费								
	貞 補償補									
23	償還金	利子及び割引料								
		及び出資金								
	<u>積</u> 寄	<u>立</u> 金 附 金								
	可 公									
28	繰	出 金								
	計				5,923		6	,042		6,042
2	持国	庫支出金			705			705		70-
財源	持定財源 当 県 地 そ	支 出 金 方 債			795 0			795 0		795
財源内訳	源を	の他			0			0		
訳		般 財 源			5,128			,247		5,247
		計			5,923		6	,042		6,042
補	助率	国県			1/2			1/2		1/2
補	助	基本額			1/2			1/2		1/2
		 【補正・流用も	 		平成26年	度特定財源内	訳			
	当初]予算	6,9			区分		名称		金額
	補正	予算		0	県支出金		森林環境税関	係事業費		795
\vdash				\dashv						
				_						

合 計

795

流用・充用

予算合計

6,982

				1 /7	~ <u>~~</u> ;	C TW	<u> ア </u>		(十次20千及 天池平	未の派送り	
1. 基本	情報										
事務事	業	01060205	02010204	車	坐夕 杰太	木整備事業				担当部	農林水産部
⊐	ド	01060205	02010204	争伤争:	木口林	12世界来				担当課	林務水産課
政策:	名	02	自然	にやさしい	はちづくり	1				グループ	森林整備グループ
施策	名	01	自然	環境の保	全					電話番号	45-5111
基本事業名 02 森林の保全										内線番号	2372
予	会計	一般	会計					+ *	□ 単年度のみ		
予 算 科 目	款	06	農林	水産業費				事業 期間	■ 単年度繰返 (開始 ⁴	F度 H	11 年度~)
科	項	02	林業	費				利申	□ 期間限定複数年度		~)
目	目	05	森林	整備事業	費			根拠法令·条例等		巾舗助金寺の村	里類及び補助率に関す
評価区	分	7	標準部	P価	評価対象	1次	評価	関連計画			
2 車発	車業/	の無り	夏. 日	的 指煙	< Do	<u> </u>					

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

森林所有者の施業意欲の向上と健全な森林を育み、自然環境を保全することを目的として、除間伐に事業費の10%、作業路等の開設に事業費の32%の補助を行い、森林の適切な維持を図る事業である。 【事業実施主体】姶良東部森林組合、姶良西部森林組合、北姶良森林組合 【事業内容】作業路等開設整備・民有林施業(除間伐)

H26年度実績 作業路等開設整備 森林施業(除間伐) 2, 271m 350ha

lտ	活動指標(事務事業の活動量)		単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
Ľ	石刻旧 株(新幼子朱·八山幼宝)		+12	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア	作業路等開設延長		m	600	5,600	2,271	5,000	
1	施業実施面積		ha	490	476	503	476	
ゥ								
(2	:) 事務事業の目的							
_	対象 推、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
	民有林	森林施業計画面積	ha	14,605	9,832	21,964	11,000	(, _ , _ ,
1								
ゥ								
_	意図 ②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	森林が整備される	施業実施面積/森林施業計画面積	%	5	4	2	6	
1								
ゥ								
(3	り上位の基本事業							
_	基本事業の意図 ならにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	森林が保全される。	植林された森林面積	ha	23	30	32	30	
1								
ゥ								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

木材価格が低迷し、山林が荒廃しはじめたことから森林組合からの要請があり、平成11年度から助成を開始した。 木材価格が低迷している。 森林所有者からは、環境保護のため、森林整備へ更に支援の拡充を求める声がある。

4	車型	生物	ر ال	能移			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
•	402		.001	ETS			+12	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫3	を出	金	千円	0	0	0	0	0
	事	財源内訳	県	支	出	金	千円	0	0	0	729	729
	事業費		地	7	5	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	0)	他	千円	0	0	0	0	0
投入量			_	般	財	源	千円	6,485	7,365	6,735	8,962	8,962
量	事業費					千円	6,485	7,365	6,735	9,691	9,691	
_												

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2) 平成26年度の成果

<左記の実績(取組)による成果を記載>

①除間伐 ②森林作業道 350.44ha 2,271m 民有林の適切な維持管理が図られた。

哥	7-6		01060	20502010204	事 務 事業名	集林整值	#事業		担担	<u>当</u>		林水産 務水産		
6.	振り	返り <	SEE>	•						1	理日	_	-13371VIX	WK.
	_				事業の音図に約	まびついています			こより森林施業	が進る			れ、その絹	結果、森林
	•				子木の心西に	10.20.00.83	75	塚境か1	呆全される。					
A				いている	_									
A目的妥当性				かに結びついてい	\გ 									
妥当				いていない	1. 184- > 4-1. 0	n-+1. n		木壮. #	業基本法第6	タル「	₩±./\-	北国休は 甘	·+·m-\	z 0 - lah
性	2	·この ·税金	事業をな を投入し	ぜ市が行わなけ て達成する目的	れはならないの ですか?	りですか?		森林及	、素基本伝第6 び林業に関し、 本の区域の自	国との	適切な	役割分担を	踏まえて	、その地方
			妥当で	: ある			1	定し、実	施する責務を ていることから	有する	こと規定	されており、	森林の保	施泉を泉 民全は市の
			見直す	がある				文司にし	/ CV 10 CC/110)人1友	9 2000	ア女コ(める	'0	
	3	成果が	向上す	る余地(可能性)	はありませんか	١?			次や木材価格 歯切な森林整備					
		•	向トす		ある				就推進員活動等 (本述					
				る余地はある程										
				る余地はほとん										
								昨年度は	ま年末に向け	て一時	的に木	材価格が高値	直で推移	したが、1
B 有	(4)	廃止・1	木止の影	/響はありません	ッか? 			月以降	木材価格が落 費の負担増とた	ち込む	など安定	定しておらず	、補助金	がないと
B有効性			影響カ	ずある					積が減少する					
ı			影響カ	「ほとんどない										
	⑤			対象・意図) 又は けんか? (市以外の		啓発等)を持つ他の ものを含む。)	の事務	類似語	事業がある場 事務事業名等					
		-	類似σ	事業はない										
			類似σ)事業はあるが、	統合又は連携	できない								
			類似σ	事業があり、統	合又は連携で	きる								
	6	-事務事	業の手段	役(やり方)を工夫で 付先に働きかけて	することで、事業費	遣を削減できません。 ずできませんか?	か?	木材価は	各が低迷してい 犬況であり、これ	る現れ	在は補助 事業費	カ金がないと を削減する	施業経費のは困難	うがまかな 羊である
		18121		きない	、中の見言と門際	% CC & E 70 /3 · .		7C-& 1	()[(0))(=4		\ T /\ F	(2111)%/0	•>16ЩА	1 (0) 00
С		_	削減で											
C効率性					することで、人件者	貴(延べ業務時間)を	-削減	業務内	容は補助金の	支払い	の事務	であり、これ!	以上の業	務時間削
性	7	できませ	んか?	むや委託により人作			減は難し	ン い 。						
		•	削減で	きない										
			削減で	きる										
D	8			容が一部の受益 負担の公平性が					きは森林組合を 美であり公平で		て山林所	有者を対象	として補	助を交付
)公平性		<i>⇔1</i> _, ;		公正である	唯体でれている	9 73 :		7 2 7 7	K (10) Z C	W) W0				
性				一必要がある										
_	4 %		H	DI ANI> /如台	March 1									
/.	八次	許四桁	来 <	PLAN>(組箱	(决定)	【参考】前年	手度の改革	改善の方	向性≪		継続		>	
		務事業(継続 	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	i	統合	休止		廃止
以目	野の	方向性		0										
				本事業により	森林所有者の加 上の課題となっ	恒業意欲が向上し っていた。平成26	、森林が年度から	を業が進 っは、国	をしている。一定 の森林経営計	方で、 画制原	森林経営	営計画の策算 により、林班	とが進ん 計画から	でいないこ 区域計画
		成27年	度の改			こめ、より一層の森								
		の内容	課題)											
				公共造林事業	美等(国庫)にお	いて実施する除門	間伐等に	対して	、市においても	積極	的な支援	受を行う。		
(0)														
		成28年月 仅組目標												
				<u> </u>										
8. :	2次	評価結	果(担	当部長評価)										
(1)	車 3	務事業の	おおり	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携		統合	休止		廃止
		向性												
					<u> </u>					<u> </u>				
(2)	2)総 評													

事務	事務事業 0106020502010204		事 務 事業名		森		担当		林水産部	
9. =	ストの	推移						,	***	23 · 3 · 3 <u>- 12 · 12 · 1</u>
		(単位:千円)	亚成26名	∓度 (決	.質)	平成27年度	(当如系質)		平成28年度	(計画)
	±ρ		十八,201	+及(次	异/	十成27年及			十八八八十八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八	(計画)
2	<u>報</u> 給	Me 4米	+							
3										
4	共	<u>、 </u>								
5		子補 償 費								
7	賃	金								
8	報	償 費								
9	<u>旅</u> 交	<u>費</u> 際 費								
10 11	_ <u>文</u> 需	際 費 用 費			0			0		0
''		耗品費			0					
	燃									
	食									
		刷製本費								
	光									
	修賄									
	飼									
		薬材料費								
12	役	務 費			0			0		0
		信運搬費								
	広									
	手保		1							
13		険料 託料	1							
14		<u> </u>								
15		請 負 費								
16		材 料 費								
17		財産購入費								
18		占購 入 費								
19		補助及び交付金			6,735		9	,691		9,691
20 21	<u>扶</u> 貸	助費付金	1							
22		<u>业</u> i填及び賠償金								
23		利子及び割引料								
24	投資	及び出資金								
25	積	立 金								
26	寄	附 金								
27 28	<u>公</u> 繰	課 費 出 金	1							
28	計	山 亚			6,735		9	,691		9,691
		庫支出金			0,133		<i>J</i>	0		0,001
₽ ↓	定県	支出金	2		0			729		729
源	財地	方債			0			0		
財源内訳	,		1		0			0		
, i	_	般 財源 計			6,735			,962		8,962
		国			6,735		9	,691		9,691
補	甫助率	県								
補	助	基本額								
平成	26年月	₹補正·流用	 状況		平成26年	度特定財源内訳				
	当初]予算		,581		区分		名称		金額
	補正	予算		0						
				-						
	流田	・充用								
	1/16/13	70/13			1	I .			ı	

合 計

9,581

予算合計

1. 基本	情報													
事務事	業	0106020	502010207	主	坐夕 木	断バイ	「オマス安定調」	辛			担当部	農林	水産部	
	ド	0106020	502010201	争伤争	来有一个	貝/Ⅵ	オマク女 圧削	主义1反争未			担当課	林務ス	水産課	
政策	名	02	自然	にやさしい	いまちづく	ŋ					グループ	林務ス	水産グル	レープ
施策	名	01	自然	環境の保	全						電話番号	0995-	45-511	1
基本事	業名	02	森林	の保全							内線番号	2371		
予	会計	一般	会計					+ **	□ 単年度	のみ				
算	款	06	農林	水産業費	,			事業期間	□ 単年度	繰返 (開始年	F度 H			
予 算 科 目	項	02	林業	費				₩11FJ	■ 期間限	定複数年度(H26	~	H30)
目	目	05	森林	整備事業	費			根拠法令·条例等						
評価区	☑分		標準部	平価	評価対	象	1次評価	関連計画						
0 南跡	古类	ク値	W. A	66. 化把	∠ D-									

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

東日本大震災・福島第一原子力発電所事故を契機に、再生可能エネルギーへの期待が高まる中、豊富な森林資源に由来する木質バイオマス資源の活用も注目されている。木質バイオマス発電は、チップ化された林地残材等を使用することから森林の整備が進み、森林の持つ公益的・多面的機能の向上や鳥獣被害防止対策として中山間地域の周辺環境の整備が図られる。そこで、用燃材同時生産による林業生産仕組みの変更と安定した燃料供給体制の確立を行い、供給側(山元)の経費の負担軽減と所得の向上を図るため、森林組合、素材生産者等の供給者が木質バイオマス発電所の燃料用に搬出する間伐材及び一般材に対して補助を行う。補助の対象は年間に最低限必要な60,000トンとする。間伐材:年間利用量(トン)×2,000円~1,000円 一般材:年間利用量(トン)×1,000円~ 500円

1	活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	木質バイオマス発電所燃料		トン			43,223	60,000	60,000
1								
ゥ								
(2	?) 事務事業の目的							
_	対象 推、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	林地残材(未利用材)	鹿児島県の林地残材賦存量	$m^{\!\scriptscriptstyle 3}$	429,000	458,000	487,000	516,000	545,000
1								
ゥ								
	意図 ②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア	木質バイオマス発電所で燃料として使 用する	木質バイオマス発電所燃料	トン	0	0	43,223	60,000	60,000
1								
ゥ								
(3)上位の基本事業							
6	基本事業の意図 らにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	森林が保全される	植林された森林面積	ha	23	30	32	30	30
1								
ゥ								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

木材価格の低迷により森林整備が進まないことが懸念されているが、今まで未利用だった森林 資源が燃料として活用されることにより、森林の 持つ公益性・多面性の向上だけでなく、雇用創 出に伴う地域活性化などの効果が期待されてい る。

4	Teler di	-	ant.	佳移			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
4.	777	表現	W1	正何			单 位	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫3	を出	睁	千円			0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円			0	0	0
	事業費	財源内訳	地	7	5	債	千円			0	0	0
	費	訳	そ	0)	他	千円			0	0	0
投入量			_	般	財	源	千円			84,105	102,000	102,000
量		哥	業	費			千円	0	0	84,105	102,000	102,000

5. 平成	[26年]	医の実績	及び	成果
-------	-------	------	----	----

<取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果 (1)平成26年度の実績(取組)

<左記の実績(取組)による成果を記載>

間伐材等 40,871.37トン 補助金額:81,742,740円 一般木質 2,361.91トン 補助金額: 2,361,910円

森林の整備が図られた。

哥	務る	事業 -ド	01060	20502010207	事務事業名	木質バイオ	マス安	定調達	支援事業	担担	<u>当</u>		林水産 務水産	
6 :			SEE>		- 子木山					ᄪ	理由		伤小生	沐
0.	_				事業の音図に総	古びついています			により森林施業	きが促え		-	進み、その	治果、森
	•	_		いている	- >/C +> /C C	10 10 00 00 00 0		外 界児	が保全される。					
A				いている 	\ Z									
目的			1-772	いていない	<u>o</u>									
A目的妥当性	<u> </u>			ぜ市が行わなけ	ればならないの	つですか?		森林・杮	*業基本法第プ	「条に	地方公	共団体は、基	基本理念は	このっとり
性	(2)	•税金	を投入し	て達成する目的	ですか?			方公共	なび林業に関し 団体の区域の	自然的	経済的	社会的諸条例	牛に応じ	た施策を
			妥当で					策定し、 は市の	及び実施する 役割であること	責務を から妥	:有する 当である	」と規定され [、] S。	ており、森	林の保全
			見迫す	必要がある				亚成26	年度は本事業	の初年	声であり	1 東業宝施	主休の認	知不足
	3	成果が	「向上す	る余地(可能性)	はありませんか	٧.		等により	ーダは不事来)目標よりも少な 事業実施主体	よい成り	果であっ	たが、今後に	は発電施	没の本格
			向上す	る余地はかなり	ある			1241297	于	**),,,	(-87)	10000000000000000000000000000000000000	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	254000
			向上す	る余地はある程	≧度ある									
			向上す	る余地はほとん	どない			I de alle	name Davidante			I		-market in a
В	4	廃止・	休止の景	/響はありません	か?			廃止した	は平成30年度 に場合、除間付	の未ま	を施や材	地残材の増	加により	
B有効性		-	影響が	ぶある				全が進	まず、森林の丼	すつ公3	孟性・多	血性が損な れ	つれる。	
性			影響が	ぼとんどない										
	⑤			対象・意図) 又は んか?(市以外の		客発等)を持つ他(の事務		事業がある場 事務事業名等					
		→ 		事業はない		7007211187								
			類似の	事業はあるが、	統合又は連携	できない								
			類似の)事業があり、統	合又は連携で	 きる								
	6	-事務事	業の手具	设(やり方)を工夫で付先に働きかけて	することで、事業費	を削減できません	か?	木材価	格が低迷して‡ ためにも補助	おり、未	利用材	を活用するた	_めの施業	美経費を
		*補助団	ジャン・ダ 削減で		、中の貝担を削減	以でさませんか?		エル・・・ ン	/こめ(こむ冊り):	並領の	(政領)(よ)	RECV'。		
С			削減で											
C効率性					することで、人件費	と (延べ業務時間)を			容は補助金の	支払い	の事務	であり、これり	以上の業績	務時間削
性	7	できませ	んか?	むや委託により人作				減は難	LV.					
			削減で	きない										
			削減で	きる										
D	8			容が一部の受益 担の公平性が					は燃料となる木 こめ、公平であ		股入量と	一定の単価	を根拠に	補助金を
公平性			公平•	公正である		<u> </u>								
性			見直す	· 必要がある										
7.	1次	評価結	果 <	PLAN>(組制	快定)				***					
				継続			年度の改革			Ι,	+ ^	休止	<u></u>	廃止
		务事業の 方向性		11 11 2	やり方改善	コスト拡充	コスト	循小	<u>連携</u>	ñ	充合	Pr.II.		Ж .
				例 数料調達に係る	ス支援を行うこと	 により、未利用を	オの利注	田を図り) 杰林敕備を		· X			
					同時に生産する	3林業生産体系						行い、素材な	生産者の;	経費の負
革引	善	t27年原 の内容		12/20/11/19	-1.11221100									
(取	り組	むべき	課題)											
					7 士極まなさー1	により 本共幸は	#+ #4.14.	*- 1-1	0H - 11 + 14	. 47	45 M 46 45	n 上 1 & 白 2		al dala Arte 1
				して中山間地域	成の周辺環境の	:により、森林整備 整備を図る。 D確立を行い、素							外恢音的.	正刈束乙
		龙28年月		\$/C, \$/LO/C,	የየለተተ ኮረካካ የተቀነበን	2推立5川4 (火	(小 工)王,	D V //EE 3		-//III	>1~1 - ∠	. M. O		
P 13	±•#>	双組目標	₹											
8.	2次	評価結	果(排	当部長評価										
				継続	1411-4-1-4			ار جو	\ + 1#		+ ^	休止		廃止
		§事業の 句性	の改革	ጥ፫ ካንር	やり方改善	コスト拡充	コスト	循小	連携	ñ	充合	NAT		ルガエ
(2)	総	評												

事務事コート	010602050201020	事務事業名	木	質バイオ・	マス安定調達支	援事業	担当担当		林水産部 務水産課
	トの推移	7 775 2					1==	1/1/2	7.7.生味
	(単位:千円	平成26年度	E (注:	質)	平成27年	生 (当初予算)		平成28年度	(計画)
1 報		1 19,20 - 13		71 /	1 19,21 -	X (310) #/		1 70年及	
2 紹									
	战員手当等								
4 共									
5 災	纟害 補 償 費								
7 賃									
8 報									
9 旅									
10 交 11 需				0					0
11 需	開 費消 耗 品 費			0			0		0
	燃料費								
	食糧費								
	印刷製本費								
	光熱水費								
	修 繕 料								
	賄 材 料 費								
	飼料費								
40 (0	医薬材料費								
12 役				0			0		0
	通信運搬費 広告 料								
	手 数 料								
	保険料								
13 委									
	用料及び賃借料								
15 I	事請負費								
16 原									
	公有財産購入費								
	品購入費			01.10=		100			100.000
	担金補助及び交付金 大 助 費			84,105		102	2,000		102,000
20 扶 21 貸									
	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・								
	還金利子及び割引料								
	資及び出資金								
25 積	黄 立 金								
26 寄									
27 公									
28 縟				04.10=			000		100.00
計		<u> </u>		84,105		102	2,000		102,000
特	国庫支出金県支出金			0			0		
財源内	地方			0			0		
財源内訳 定財源 一	そ の ft			0			0		
訳	- 般 財 源			84,105		102	2,000		102,000
	計			84,105			2,000		102,000
補助	国								
	助基本額								
	年度補正•流用		_	平成26年	度特定財源内	訳			
	当初予算	102,00			区分		名称		金額
1	補正予算		0						
			\dashv						
			\dashv						
			\exists						
			_						

合 計

流用・充用 予算合計

102,000

1. 基本	情報									
事務事	業	01060202	92010401 事		z みどn	の少年団育成事業	\$		担当部	農林水産部
<u>П</u>	ド	01000201	7	1万平木1	1 0 X C 9	ツラ 千回 自成事者	<		担当課	林務水産課
政策:	名	02	自然にや	やさしいま	ちづくり				グループ	林務水産グループ
施策:	名	01	自然環境	竟の保全					電話番号	45-5111
基本事	業名	04	環境学習	習の推進					内線番号	2371
予	会計	一般	会計				± **	□ 単年度のみ		
算	款	06	農林水產	産業費			事業 期間	■ 単年度繰返 (開始年	F度 S	44 年度~)
予算科目	項	02	林業費				79][F]	□ 期間限定複数年度(~)
Ħ	目	02	林業振興	興費			根拠法令·条例等	霧島市補助金等の種類及	び補助率に関	引する要綱
評価区	分	,	標準評価	i i	価対象	1次評価	関連計画			

<Do> 2. 事務事業の概要・目的・指標

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

(1) 予務予末の概念(具体的なやり方、手順、詳細を記述) 次代を担う少年少女が「緑を愛し」「緑を守り」「緑を育っていくことを目的として活動している。市からの助成等により、みどりの少年団の育成と健全な発展を図っている。 霧島市には市内4つの小学校にみどりの少年団が存在する。 竹子緑の少年団(32名) 竹子小学校 安良緑の少年団(44名) 安良小学校 霧島山緑の少年団(12名) 三体小学校 霧島山緑の少年団(16名) 霧島小学校 雰島小緑の少年団(16名) 霧島小学校 少年団の主な活動としては、みどりの感謝祭や地区交流会などの森林体験学習のほか、地区植樹祭への参加や街頭募金活動を行っている。

1	活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	みどりの感謝祭開催		回	1	1	1	1	1
1	活動発表大会及び交流集会		□	1	1	1	1	1
ゥ								
(2	?) 事務事業の目的		'					
_	対象 推、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	みどりの少年団(4団体)	みどりの少年団員	人	140	117	104	100	100
1								
ゥ								
_	意図 ②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア	活動を通じて森林の持つ役割を市民 に伝え理解を得る	緑化活動へ参加した団員延べ参加数	人	1,753	1,626	1,657	1,500	1,500
1								
ゥ								
(3	3)上位の基本事業							
_	基本事業の意図 らにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	環境に関する関心と理解を深める	過去3年間に環境学習に参加したことがある 市民の割合	%	13	13	13	25	25
1								
ゥ								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

次代を担う青少年を大自然の中で緑を愛し、守 り育てる心と健康で明るい心をもった人間を育て ることを目的として開始され緑の少年団活動に 取り組んでいる。

1	nter d	* 曲	n t	推移			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
4.	777	R IR	,V) 1	进物			中世	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫は	を出	金	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	財源内訳	地	Į.	<u> </u>	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	0)	他	千円	0	0	0	0	0
投入量			_	般	財	源	千円	201	198	201	265	265
量		耳	業	費			千円	201	198	201	265	265

5. 平成26年度の実績及び成果

<取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果 (1)平成26年度の実績(取組)

みどりの少年団補助金(23,000円×4少年団) みどりの少年団バス借上料(35,359円)募金活動

少年団員数104名に対して、感謝祭・交流会・研修等の緑化活動に参加 した延べ参加数は、1,657人と活動に生かされている。

Ę	事務	事業 -ド	01060	20202010401	事務事業名	みどり	の少年	団育原	龙事業	担担	当当	部課	農林和林務和	
6.	振り	返り <	SEE>							-	理	由		
	1	この事	務事業の	の目的は、基本	事業の意図に終	吉びついています	か?	みどりo に関す	の少年団が緑作る関心と理解を	と活動・	するこ 李林	とは、)の保全	欠代を担う少 に結び付く	年少女の環境
	_	_	結びつ	いている				(C)(X)	-DISTRICTED HE	L 17507	ANT TI	*> VK _T	-11-MIO 11 Vo	
A				に結びついてし	 \る									
的				いていない										
A目的妥当性	<u></u>	·この事	事業をな	ぜ市が行わなけ	ればならないの	Dですか?			担う少年少女に	こ対して	て、自:	然環境	の学習に取	0組むことは妥
性	2	•税金	を投入し	て達成する目的	ですか?			当であ	る。					
			妥当で											
			見迫す	必要がある				緑の小	年団を有する/	小山学	松粉。	い曲加	オカげ 緑川	2活動へ参加し
	3	成果が	向上する	る余地(可能性)	はありませんか)\?			延べ参加数が					11 B) 19/11 C
			向上す	る余地はかなり	ある									
			向上す	る余地はある程	≧度ある									
		•	向上す	る余地はほとん	どない									
В	4	廃止∙値	木止の景	/響はありません	か?			児童生 なか、社	.徒数が減少し、 浦助金を廃止し	、緑のた場合	少年区]の運行	営状態が難し ぶまれる。	い状況にある
B 有 効		•	影響が	ぶある										
性			影響が	ほとんどない										
	⑤	類似の事業は	目的(対	対象・意図) 又は んか?(市以外の	形態(イベントや)	啓発等)を持つ他の	の事務	類似	事業がある場 事務事業名等					
		ず 未16		事業はない	の主体が天地する	00025000		他に森	林保全を目的	とした、	少年	少女の	対象団体は	なく、他の団体
				事業はあるが、	統合又は連携	できない		との統^	合は難しい。					
			類似の	事業があり、統	合又は連携で	 きる								
	6	-事務事	業の手具	设(やり方)を工夫で	することで、事業費	きを削減できません 載できませんか?	か?		昨年度の内容 費としての体験		₩ ~ †	アノヘナ・セ	まいし ブルス・	とよ数せまめ
	_	●網別金		きない	、中の負担を削減	載できませんか?			はできない。	子百=	守り了了	177でN	用切している	この教的負守
C			削減で											
C 効率					することで、人件者	貴(延べ業務時間)を	-削減	緑の少	年団の活動は	、補助	事業。	こって名	予学校の自主	的な活動と運
性	7	できませ	んか?	なや委託により人作				営がな	されており、削	除の余	地は	ない。		
			削減で	きない										
			削減で	きる										
D	8	事務事	業の内	容が一部の受益 担の公平性が	と 者に偏っていま	ませんか?		各みど	りの少年団に同	引様の	補助を	行って	ており、公平で	である。
D公平性				公正である		,,,,,								
性			見直す	必要がある										
7.	1次	評価結	果 <	PLAN>(組績	快定)	* n 41**					dist	de de		
		1 1-1-1	<u> </u>	継続		【参考】前4						続	休止	廃止
		务事業の 方向性		11 11 2	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	i	統合		-)完正
				日本生体を	ま小し 数本の夕	 様化に伴い緑の	小左口	1+. 	いこは治療な	i de la la	h / .l. i	*+*n	- +* rts 4 +**)	バ毛いっ劫 こよい
				緑の少年団への			少十四	を有しる	以小中子仅加	199V 1-	L (\11	子仪の	がX 中41X/、	百野ルロボルル
		成27年月 の内容	度の改											
(取	り組	むべき	課題)											
				旧本生体业。	は小し松ナック		小左門	· · · · ·	N N	· /2 · · ·	h / ' '	25 to	-+x-t- 4++\	江動 戸軸 ヽ ユ.
				児童生徒数のは緑の少年団への		様化に伴い緑の る必要がある。	少牛団	を有した	よい小甲字校が	7多() □	₽ (小;	字校35	o校甲4校)、	店動に熱心な
(3)	平原	龙28年	度の方											
P] <u> </u>	王・邦	双組目標	Ħ											
8	<u>2 /</u> ጀ	評価結	単 (非	当部長評価										
				継続	1611-4	_=		(a)	Lorder 1.55-		/± ^		休止	廃止
		务事業の 向性	の改革	ጥር 196	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	1	統合		F1+31	,无止
(2)	(総	評												

事務コ	事業ード	0106020202010401	事 務事業名		みどりの	の少年団育成事業	<u> </u>	担当担当		木水産部
9. =	ストの	推移							·	
		(単位:千円)	平成26年	≡度 (決	(算)	平成27年度	(当初予算)		平成28年度	(計画)
1	報									
2	給	料								
3		手当等								
4 5	共 " ョ	<u>済 費</u> 『補 償 費								
7	<u>火 =</u> 賃	金 金								
8	 報									
9	旅	費								
10	交	際 費								
11	需	用 費 耗 品 費			0			0		0
	燃燃									
	食									
		刷製本費								
	光									
	修賄									
	飼									
	医	薬材料費								
12	役	務費			0			0		0
		信運搬費								
	広手									
	保									
13	委	託 料								
14		料及び賃借料			109			173		173
15		請負費								
16 17		材 料 費 財産購入費								
18		と								
19		補助及び交付金			92			92		92
20	扶	助 費								
21	貸									
22		i填及び賠償金 利子及び割引料								
24		及び出資金								
25	積	立 金								
26	寄	附 金								
27	公	課費								
28	繰計	出 金			201			265		265
		庫支出金			0			0		200
財	定県	支 出 金			0			0		
財源内訳	財地源	方 債			0			0		
訳	- そ -	庫支出金支出金のの般財源			201			0 265		265
		計			201			265		265
4-	# DH +##	国			201					200
	助率	県								
		基本額								
平成		₹補正·流用も		057	平成26年	度特定財源内訳		カチ		
]予算 - 予算		257 0		区分		名称		金額
	110.11	- 1 21								
	海田	・充用								
	ル川	JUHI			Ī	1			1	

予算合計

(巫げ00年年 史本恵業の長を1)

				<u> </u>	X2/干及	尹伤尹未恢:	区ツン一ト	· (平成26年度 美施事》	もの振返り)	
1. 基本	情報									
事務事	業	01060303	202010401	車	坐夕 わギャ	の少年団育成事業	\		担当部	農林水産部
<u>П</u>	ド	0100030	.02010101	尹 孙尹2	***	ツラ 午回 自成事を	₹		担当課	林務水産課
政策:	名	02	自然	にやさしい	まちづくり				グループ	林務水産グループ
施策	名	01	自然	環境の保	全				電話番号	45-5111
基本事	業名	04	環境	学習の推済	進				内線番号	2371
予	会計	一般	会計				+ *	□ 単年度のみ		
算	款	06	農林	水産業費			事業期間	■ 単年度繰返 (開始年	F度 H	6 年度~)
予 算 科 目	項	03	水産	業費			初申	□ 期間限定複数年度(~)
Ħ	目	02	水産	業振興費			根拠法令·条例等	霧島市補助金等の種類及	び補助率に関	引する要綱
評価区	☑分		標準評	F価	評価対象	1次評価	関連計画			
2. 事務	事業の	の概要	要・目	的•指標	<do></do>					

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

福山小学校の全校児童を対象にした自然風土を活用した特色ある教育活動で、マダイ・ヒラメの放流体験、海岸清掃等なぎさを中心とした環境教育を基本とした事業の一部を補助する。

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 体験放流・海岸清掃・魚料理教室		団体	1	1	1	1	1
1							
<mark>ウ</mark>							
(2) 事務事業の目的							
② 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
アなぎさの少年団員	福山小学校児童数	人	25	24	24	25	25
1							
<mark></mark>							
④ 意図(②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度
ア 団員に自然や漁業に関心を持たせる	放流活動。清掃活動に参加した児童	人	25	24	24	25	25
1							
<mark></mark> ქ							
(3) 上位の基本事業							
⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度
ア 環境に関する関心と理解を深める。	過去3年間に環境学習に参加したことのある 市民の割合	%	13	13	15	25	25
1							
<mark>ウ</mark>							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

なぎさを中心とした環境教育を基本にした諸活動を実施するために福山小学校で平成6年より開始した。5年前に比べると児童数が減少している。自然風土を生かした教育が得られることは子供達にとっても意義のあることなので、小学校関係者より事業を続けてほしいとの要望あり。

4.	事美	类費	の‡	隹移			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
								(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫は	と出	金	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	財源内訳	地	Į.	5	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	0)	他	千円	0	0	0	0	0
投入量			_	般	財	源	千円	30	30	30	30	30
量		哥	業	費			千円	30	30	30	30	30
_												

5. 平成26年度の実績及び成果

<取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果 (1)平成26年度の実績(取組)

26年度の実施活動

○ヒラメの放流 3,300匹5月21日○海岸清掃(海岸、国道周辺ほか) 7月20日○漁業についての学習7月、2月

海岸清掃をすることやヒラメの放流体験等をすることで、錦江湾の生物 を知ることや錦江湾の環境保全に対する理解が深まった。

Į.	事務事コー		01060	30202010401	事 務 事業名	なぎさ	の少年	団育原	 基業	担担	当当	部課		水産部 水産課
6.	振り込	返り <	(SEE>	•							理	由		
	1	この事	務事業の	の目的は、基本	事業の意図に終	吉びついています	か?		業を通して錦江 する関心と理角					
		•	結びつ	いている										
A			間接的		いる									
的妥			結びつ	いていない										
A目的妥当性	2	·この事 · 秘全を	業をな	ぜ市が行わなけ て達成する目的	ければならないの	りですか?		小学生 、環境	の頃から「なぎ問題や自分達の	さ」に の手で	関する身近が	多様な	な体験活動を 守っていかな	実施することで ければならな
		17€ <u>31</u> € (妥当で		, , , , ,			いとい	意識を持って	もらう重	が機づ	けを行	「えるため妥`	当である。
			見直す	 ·必要がある										
	(3)	成果が	向上す	る余地(可能性)	はありませんか	١?			的以上の成果					を数も減る傾向
			向トす	る余地はかなり	Jある				参加児童数の				~~~~/L!	医気の吸の関門
				る余地はある程										
			向上す	る余地はほとん	どない									
B	4)	廃止・億	木止の景	/響はありません	しか?				然に触れ合う層その体験活					が廃止となると
B有効性			影響が					1240	育での一个級人口:	99JV 7 (138	ET C.	~ <i>)</i>	-1C/4/0°	
性				 										
		類似の	目的(対	対象・意図)又は		啓発等)を持つ他	の事務		事業がある場					
		事業は		<mark>んか?(市以外の</mark> 事業はない	の主体が実施する	ものを含む。)		合の	事務事業名等					
		_		 	統合又は連携	できない								
				事業があり、統										
	<u>6</u>	・事務事				- ・ 貴を削減できません 或できませんか?	か?	児童数	が減少するなれ	かでこえ	れ以上	:の市	の負担削減に	は難しい。
		・補助金		きない	、市の負担を削減	或できませんか?								
C			削減で											
C効率性	_	事務事	業の手具		することで、人件費	貴(延べ業務時間)	を削減		動がほとんどて					る訳ではなく
性	7	できませ ・職員以	んか? (外の対応	なや委託により人作	牛費を削減できま	せんか?		予算報	行事務が主な	もので	あり削	减余5	地はない。	
			削減で	きない										
			削減で	きる										
Ď				容が一部の受益 担の公平性が					!区は福山小学 公平・公正であ					
公平性			公平•	公正である										
性			見直す	必要がある										
7.	1次訂	評価結	果 <i< th=""><th>PLAN>(組織</th><th>赴決定)</th><th>[参考]前:</th><th>年度の改</th><th>革改善の</th><th>方向性≪</th><th></th><th>継</th><th>続</th><th></th><th>></th></i<>	PLAN>(組織	赴決定)	[参考]前:	年度の改	革改善の	方向性≪		継	続		>
(1)	事 務	事業の	かみ革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	·縮小	連携		統合		休止	廃止
		方向性	<i>-</i>	0										
				養殖漁業や栽	L 培漁業を学ぶた	L ごけでなく多様な	体験活	動をする	L ことで更になき	ざを中	心とし	た特	色ある活動を	継続する。
		27年月	度の改											
		か内容	課題)											
				錦江湾沿いる	よる小学校の会体がある。	全校生徒を対象した。	こした特	き色ある 対すスエ	教育活動であり)、マダ め継結	イの方	対流体	験や海岸清持みたい	帚等体感するこ
(3)	平成	28年月	Eの方	C (MILLIG)	工物でかること	(別日上1号*ン外の	水土で	V1) .O.	E/14/2 1/4 & 2/1C	~ <i>></i> / <u> </u> <u> </u>	LH J (C)	-IX	·/-1CV 0	
向性	生• 取	組目標	E .											
	- 1	on bare del	m_44	No depth Company										
8.	乙次	評価結	果 (扯	当部長評価)									<i>U</i> - 1	et 1
	事務	事業の	D改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	·縮小	連携	i	統合		休止 ————	廃止
(2)	総	評												

事務事業コード	0106030202010401	事 務事業名		なぎさの)少年団育成事業	_	担当部担当課		林水産部 務水産課
9. コストの	推移								
	(単位:千円)	平成26年	丰度 (決	(算)	平成27年度	(当初予算)		平成28年度	(計画)
1 報	栖								
2 給	料								
3 職員	手 当 等 済 費								
7 賃	金								
8 報	償 費								
9 旅 10 交	<u>費</u> 際 費								
11 需	<u></u> 用費			0			0		0
	耗品費								
燃									
食町	: 糧 費] 刷製本費						-		
	· 熱 水 費								
修	繕 料								
_	材料費								
飼医] 料 費_ 蓬						-		
12 役	務費			0	1		0		0
通	信運搬費								
広									
手保							-		
13 委	<u>、 </u>								
14 使用料	料及び賃借料								
	請負費								
	材 料 費 財産購入費						_		
	<u> </u>								
	補助及び交付金			30			30		30
20 扶	助費								
	付 金 捕填及び賠償金								
	利子及び割引料								
	及び出資金								
25 積	立 金								
26 寄 27 公	附 <u>金</u> 課 費						_		
28 繰	出金								
計				30			30		30
特	庫支出金			0			0		
財財財物	庫支出金 支 出 金 方 債 の 他			0			0		
財源内訳 一	の他			0			0		
<u></u> 一	般 財源			30			30		30
	計			30			30		30
補助率	国県								
補助	基本額								
	€補正・流用 ∜			平成26年	度特定財源内訴	!	_		
当初	J予算		30		区分		名称		金額
補工	E予算		0						
			\dashv						
;* E	· 太田								
	• 充用 [合計		30			合 計			0

1. 基本	情報										
事務事	業	0106020	202010402	主	坐夕 鱼上	まつり開催	車業			担当部	農林水産部
	ド	0100030.	202010402	尹孙尹	木口川口	よ フリ州作	ず未			担当課	林務水産課
政策:	名	02	自然	にやさしい	いまちづくり	ŋ				グループ	林務水産グループ
施策	名	01	自然	環境の保	:全					電話番号	45-5111
基本事	業名	04	環境	学習の推	進					内線番号	2371
予	会計	一般	会計					± ₩	□ 単年度のみ		
算	款	06	農林	水産業費	,			事業 期間	■ 単年度繰返 (開	始年度 H	1 年度~)
予算科目	項	03	水産	業費				初申	□ 期間限定複数年		~)
目	目	02	水産	業振興費				根拠法令·条例等	務局巾水座業事業網及び補助率に関する	助金父付安綱、霧 亜綱	・島巾佣助金寺の種類
評価区	₹分		標準許	平価	評価対象	象 17	次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

イベントを開催し、市の貴重な天然資源のひとつであり豊かな自然の象徴である鮎を広く市内外にPRするとともに、河川の環境保全・資源保護啓発の推進を図る事業である。 集人地区の日当山温泉公園で年に1回、6月1日の鮎解禁日後の日曜日に開催。関係団体(地域、漁協や商工会、旅館、観光協会など)によって 組織される鮎まつり実行委員会が主催する。 鮎の塩焼き・鮎飯の販売・活き鮎販売・魚のつかみ取り等各コーナーを設置し実施する。 19年度から鮎の売上代金(鮎の塩焼き・鮎飯の販売・活き鮎販売)を徴収している。(平成18年度までは無料)なお、平成25年度については、雨天と突風のおそれがありイベントは、中止した。

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
- 1 HB /HJ W/		1	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
アイベント開催数		回	1	0	1	1	1
1 鮎まつりの参加者数		人	3,000	0	5,000	3,000	3,000
ウ 設置されるコーナーの数		箇所	4	0	4	2	1
(2) 事務事業の目的							
② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 市民及び市外からの来客者	来場者数	人	10,000	0	5,000	3,000	3,000
1							
<mark></mark> ქ							
④ 意図(②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア 天降川が鮎の生息する自然豊かな川 であることを知ってもらう。	鮎のつかみ取りの参加者	人	150	0	180	200	0
1							
<mark></mark> ბ							
(3) 上位の基本事業			,			'	
⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア 環境に関する関心と理解を深める	過去3年間に環境学習に参加したことのある 市民の割合	%	13	13	15	25	29
1							
<mark>ф</mark>							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

平成元年、日当山天降川漁業協同組合よりまつを通して天降川の鮎を県内外にPRしいたいとの要望により始まる。 来客数も年々増加し、鮎のPRや河川の環境保全・資源保護啓発が図られてきたが、この事業が行政主体になっている。 実行委員会のあり方を再考する時期にきている。

※24年度は、花火大会と合同で開催(8月に)。 暑い時期だったため鮎のインパクトは弱く、不評

4.	事多	类費	のŧ	佳移			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
								(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫3	を出	金	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	財源内訳	地	7	5	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	0)	他	千円	0	0	0	0	0
投 入量			_	般	財	源	千円	1,000	370	870	500	500
量		哥	業	費			千円	1,000	370	870	500	500
-												

5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組)

(2)平成26年度の成果

26年度は、梅雨時期のなか、晴天に恵まれ来客者も多く、霧島市の鮎 天降川の鮎や環境保全についてPRが図られた。のPRと河川の環境保全の啓発など図られている。

	事務		01060	30202010402	事務事業名	鮎吉	まつり間	開催事	業	担扣	当当	部課		水産部 水産課
6.	振り	返り <	SEE>		7 515 E					12=		由	11112	八庄林
					事業の意図に終	古びついています	か?	天降川からのこ	が鮎の生息す	る自然	豊か	な川て	であることを、「	市民及び市外 と理解を深める
	_		結びつ	いている					り、結びついて			· 2R-5E1		で活作されのる
A		_		に結びついてい	 \る									
的	_			いていない										
A目的妥当性	2	・この事	事業をな	ぜ市が行わなけ	ればならないの	のですか?)が環境問題や
1 1				て達成する目的	ですか?				の川を守っていてもらう動機づ					戦を多くの市民 *ある。
			妥当で	である - - 必要がある										
								つかみ	取りは、小学生	:(1年	生~(3年生)	であり、川で	体験する機会も
	(3)	成果が	何上す	る余地(可能性)	はありませんだ)\?		ないたと	か参加者には、	人気が	ある	が、来	場者の目的が	ジ決まっている
				る余地はかなり										
				る余地はある程										
	_	_	向上す	る余地はほとん	どない				と担入 帝自士	= A III)- . A.F.	みSS細 L.	ナス白鉄曲	かな川であること
물	4	廃止∙値	木止の影	/響はありません	か?				外の人々に知る					14/11 CWOTS
B有効性			影響が	ある										
111			影響が	ぼとんどない										
	⑤			対象・意図) 又は んか?(市以外の		啓発等)を持つ他の ものを含む。)	り事務	類似合の	事業がある場 事務事業名等					
				事業はない										
			類似の	事業はあるが、	統合又は連携	できない								
			類似の	事業があり、統	合又は連携で	 きる								
	6	·事務事	業の手段	设(やり方)を工夫で付先に働きかけて	することで、事業費	貴を削減できません; 載できませんか?	か?	開催方	法を工夫するこ めに26年度に記	ことで〜 調査研	イベン F修(I	小の事 カ之浦	業費の削減(へ研修)を行	の余地はある。
			削減で		、中の異点と門標	% CE & E 7013 · .		C *>/C*	ク(C20)文(C)	yng <u>Hi</u> ny	(1	1,01111	17 (SI)	<i>)</i> •
c			削減で											
C 効 率			業の手段		することで、人件	貴(延べ業務時間)を								されば、それに
性	(7)	できませ ・職員じ	·んか? l外の対応	なや委託により人作	牛費を削減できま	せんか?			る人件費は削え も含めて改善。		る。 ²	7後3年	- 程度の期間	をかけて事務
			削減で	きない										
			削減で	きる										
D	8	事務事また、	業の内 受益者負	容が一部の受益 担の公平性が	者に偏っている 確保されていま	ませんか? :すか?			民を問わず県I :平である。	内外の	多力	こしたい	と思うすべて	の人が対象で
D公平性		-	公平・公	公正である										
性			見直す	必要がある										
7.	1次	評価結	果 <f< th=""><th>PLAN>(組箱</th><th>进决定)</th><th>Fabric Take</th><th>r de out-t</th><th>t that out</th><th></th><th>结. 丛</th><th>u±:</th><th>小单</th><th>スト縮小</th><th>»</th></f<>	PLAN>(組箱	进决定)	Fabric Take	r de out-t	t that out		结. 丛	u±:	小单	スト縮小	»
, ,				継続	1511-5-5-	【参考】前年				1		汉晋 -	休止	廃止
1.		§事業の 方向性	り改革		やり方改善	コスト拡充	コスト	稲小	連携		統合		PI-ALL	7,00.112
				これまでと違う	盟保方法で宝	 践できるように27 ⁴	王度に	主行委員	3 全で調本研究	 こてi	作めえ	5		
(0)	\ -	<u> </u>	± 0.75	CAVA CCE	が開ビカムで入	EX (C 08)(-11)	1 200	~11 & F	ZA CIMENIA		,	νο		
革	火善 (t27年月 の内容												
(取	り組	むべき	課題)											
				これせべい歩き	関席七十二中	践できるように28年	宇宙:	川キ徳キ	宝行禾昌△~	調木 ケ	II ACI	ア准ロ	ス 東数日1	タ答にへいて*
				具体的に相談・	検討して計画的	成 Cさるように201 的に進める。	十戌もり	11 合形に合:	天17安貝云(则且4	リ九し	C LEEK	の。事物用作	多目についても
(3)	平月	뷫28年月 ₹組目標	度の方											
IPJ 1	土 - 4)	(和日日特	ř											
8.	2次	評価結	果 (非	当部長評価)										
				継続	W11-1			6 台 . I.	\±#		4+ ^		休止	廃止
	事務	务事業の 向性	り改革	41± 420	やり方改善	コスト拡充	コスト	心心	連携		統合		11:44	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
(2))総	評												

事務事業コード	0106030202010402	事 務事業名		鮎	まつり開催事業		担当部 担当部		林水産部 務水産課
9. コストの	推移								
	(単位:千円)	平成26年	丰度 ()	決算)	平成27年月	度 (当初予算)		平成28年度	(計画)
1 報	М								
2 給	料エルな								
3 職員	手 当 等 済 費								
	補償費				+				
7 賃	金								
8 報	償 費								
9 旅	費								
10 交	際 費						0		0
11 需	用 費 耗 品 費				0		0		0
燃燃	料費								
食	糧 費								
	刷製本費								
	熱水費								
修	緒 料 樹材 料 費				-				
飼	料費				1				
	薬材料費								
12 役	務 費			(0		0		0
	信運搬費								
広	告 料								
手保	数 料 険 料						_		
13 委	託料								
	及び賃借料								
	請負費								
16 原 村									
	財産購入費				-				
	購入費 ^{輔助及び交付金}			870			500		500
20 扶	助費			010	'		300		300
	付 金								
22 補償補:	填及び賠償金								
	可子及び割引料								
24 投資Z 25 積	及び出資金 立 金				-				
26 寄	<u>立 並</u> 附 金								
27 公	課費								
28 繰	出 金								
計				870			500		500
特国	庫支出金			(0		
特定財源内	支 出 金 方 債				0		0		
財源内訳を対象を	の他				0		0		
- 舟	段 財 源			870)		500		500
	計			870)		500		500
補助率	国								
補助	県 基本額								
	坐 平 頭 補正•流用∜	÷::		立事の	<mark></mark>	#P			
	帯止・派用ル 予算	\ <i>/</i> /b	870	一八人(203	区分		名称		金額
補正	予算		0		,_				
			-						
			\dashv						
流用	・充用								
	合計		870			合 計			0

					• •	-					
1. 基本	情報										
事務事	業	01060302	102010101	主	学 夕 海	一类次	近源繁殖施設整備	は田東坐		担当部	農林水産部
	1,	01000302	:03010101	争伤争	未有。	未具	[你系但他 政 罡 佣	佃 奶 尹 未		担当課	林務水産課
政策:	名	03	活力な	ある産業の	のまちづく	くり				グループ	林務水産グループ
施策	名	01	農•林	、・水産業	の振興					電話番号	45-5111
基本事	業名	01	農林流	魚業経営	体への支	支援				内線番号	2371
予	会計	一般	会計					+ *	□ 単年度のみ		
算	款	06	農林	水産業費				事業 期間	■ 単年度繰返 (開始 ^生	F度 H	17 年度~)
予 算 科 目	項	03	水産	業費				初申	□ 期間限定複数年度	(~)
Ш	目	02	水産	業振興費	,			根拠法令·条例等	霧島市補助金等の種類及	なび補助率に関	引する要綱
評価区	分	,	標準評	2価	評価対	象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

福山町漁協がアオリイカ、コウイカ等の産卵場所の少ない福山地区の沖合いにイカ柴を投入、また錦江漁協が浜之市沖に人口イカ産卵床を設置し、アオリイカ、コウイカの産卵魚礁を形成し、イカの増産育成に努め漁業の生産安定を図る。 補助金交付先:福山町漁協、錦江漁協

_								
Œ) 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
_				(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア	補助金交付団体数		団体	2	2	2	2	2
1	投入回数(年度内)		口	2	2	2	2	2
ゥ	イカ柴投入数		回	90	90	90	90	90
(2	2) 事務事業の目的							
_) 対象 誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	海面漁業者	海面漁業者数	人	269	269	269	269	269
1								
ゥ								
_) 意図 ②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア	漁業資源が確保される	湾奥における漁獲高	円	465	465	465	465	465
1								
ゥ								
(3	3) 上位の基本事業							
_) 基本事業の意図 さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア	効率的な生産を行う基盤が整う	放流した稚魚の数	万尾	48	50	50	41	41
1								
ゥ								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等

福山港沖はイカ等の産卵場所が少ないためイカの産卵魚礁を形成するためにイカ柴を投入し、イカの増産育成に努めたいとの地元漁協からの要望により平成17年から開始した。浜之市沖も34年度より設置事業を開始した。水質の低下、水産資源の枯渇や燃油等の高騰により漁業を取り巻く状況は厳しくなっている。

4.	事業	世 曹	の‡	推移			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
								(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫す	を出	金	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	財源内訳	地	ブ	5	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	0)	他	千円	0	0	0	0	0
投入量			_	般	財	源	千円	270	270	270	270	270
量		事	業	費			千円	270	270	270	270	270

5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果

2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

①錦江漁協 人口イカ産卵床設置 30基 小浜海岸沖 ②福山漁協 イカ柴投入 60個 福山沖 ①②アオリイカやコウイカの産卵用魚礁が形成され、イカの産卵育成と漁業の安定的な生産に貢献した。

픸		务事業 Ⅰード	01060	30203010101	事 務 事業名	漁業資源	緊殖施	設整備	補助事業		当 当 課		水産部 水産課
6.	振	り返り・	<see></see>	>						1	理由	111120	7八生 1六
		_			事業の音図に約	きびついています	かっ				て漁業者	音の経営安定だ	が図られるため、
					ず未 の 心 凸 に 小	BO. 20. Co. & 9	73 · :	政策体	系に結びつい	ている。	•		
A	<u> </u>			いている				-					
目的妥当性	L			りに結びついてい	^る								
要	L			いていない				2 1. delo.	5 H1 3 3 W 1 - 1	1.10.3/r V#		* \\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	4.5.5.4 El 7.1.1
性	2	·この ·税金	事業をな を投入し	ぜ市が行わなけて達成する目的	ればならないの ですか?	りですか?			の投入事業に。 るために妥当て		一局を上 り	で温美者の経営	対安定を図ること
	Г	•	妥当で	ぎある									
	T		見直す	 がある									
	(3	3) 成果 t	が向上す	る余地(可能性)	はありませんか	v?		漁獲高	については、オ	水質改	歩や天候	等いろいろな多	条件が複雑に影 、果向上余地は
								ない。	5 (V 12/C0), 1	いまの	ここの事ま	E EL BARYTTONIA	(木門上水地は
	┝			る余地はかなり									
	-			る余地はある程									
	H		回上す	る余地はほとん	とない			変肉の	資源の維持培	差が難	1 /tan	また海猫直が	は小士ス
물	4	4) 廃止・	休止の影	ド響はありません	か?			(号)(7)	貝伽沙雅竹垣	1907 / 7 天世	してなり、	よんが受回が	吸シリカ。
B有効性			影響が	 、ある									
1生			影響が	ヾほとんどない									
	E	類似の)目的(対	対象・意図)又は	形態(イベントや原	啓発等)を持つ他	の事務	類似	事業がある場 事務事業名等				
	H	事未18)事業はない	の王体が关心する	10024C.)		007	于初于木山寸				
	-		******)事業はあるが、)事業はあるが、	統会又け浦堆	できない							
	┝)事業があり、統									
H	Œ						か?	事業費	の殆んどは必!	要経費	であり、肖	減は難しい。	
	<u>(</u>	補助	金など、交	付先に働きかけて	、市の負担を削減	費を削減できません 或できませんか?							
	L		削減で	きない 									
C 効率	L		削減で	きる									
率性	G	7)できませ	せんか?			費(延べ業務時間)	を削減	人件費 以上の	としては、予算 削減は難しい。	執行事	「務と投入	.立会いのみで	あるので, これ
-	L			さや委託により人作	井費を削減できま	せんか?							
	L			きない									
⊢	L	<u> </u>	削減で		- * - F	tu / b o		运 光 孝	は全ての漁業	サ でな	スたみ流	正でなる	
D	(8			容が一部の受益 負担の公平性が				又無日	は主くの個素	日(め	幻/こ Ø/旭.	E (8)30	
公平			公平・	公正である									
性			見直す	必要がある									
7.	12	欠評価 紀	果く	PLAN>(組結	決定)	70.000					dist dist		
				継続				革改善のプ			継続	休止	≫
		事務事業の の方向性			やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	ŕ	流合 一		廃止
~ -				0									
				事業の継続									
		² 成27年 善の内容											
		組むべき											
				事業の継続									
(0)			÷ ~ +										
		· 成28年 取組目											
8.	2	欠評価紀	果(担	当部長評価)									
(4)	\ #	□ 数 击 *	クッチャ	継続	やり方改善	コスト拡充	771	·縮小	連携	4	流合	休止	廃止
		事務事業 方向性	の以中		トラカ以音	コストカムブじ	1/1	세다.1,	足防	ī	у ь П		
	_												
(2)) 総	8 評											

事務コー	事業ード	0106030203010101	事 務 事業名		漁業資源	繁殖	施設整備補助	事業		旦当部 旦当課		林水産部
9. ⊐	ストの	推移										
		(単位:千円)	平成26年	F度	(決算)		平成27年度	(当初予算))	平	成28年度	(計画)
1	報											
2	給	料										
3		手当等										
4	共 " =	<u>済 費</u> 『補 償 費				_						
5 7	賃	金				+						
8	 報	 				+						
9	旅	費										
10	交	際 費										
11	需	用費				0			0			0
	燃燃	耗品費 料費										
	食											
	ΕΠ	刷製本費										
		熱水費										
	修					+						
	朗飼	材 料 費 料 費				+						
		薬材料費										
12	役	務 費				0			0			0
	通	信運搬費										
	広											
	手											
13	 委	: 険料 託料				+						
14		<u>゚゚゚ </u>										
15		事請負費										
16		材料費										
17		財産購入費										
18		品購入費							0.50			0.50
19 20	_{負担金} 扶	輔助及び交付金 助 費			2	70			270			270
21		付 金				+						
22		 i填及び賠償金										
23	償還金	利子及び割引料										
24		及び出資金										
25	積	立 金										
26 27	<u>寄</u> 公	附 金 課 費				+						
28	繰	<u></u> 出 金				+						
	計	<u> </u>			2	70			270			270
		庫支出金				0			0			
財	定県	支出金				0			0			
財源内訳	財 地源 2	庫支出金 支出金 方債 の他				0			0			
訳	,	の 他 般 財 源			0	0 70			0 270			970
-		版 的 源 計				70			270			270 270
		国							210			210
	助率	県										
補	助	基本額										
平成		€補正•流用₺			平成2		特定財源内訳					
	当衫	可予算		270		区	分		名称			金額
	補工	予算		0	-							
				\dashv	<u> </u>							
					<u> </u>							
				-	<u> </u>							
		・充用										
		合計		270			. 1	合 計				0

1. 基本	情報													
事務事	業	0106020	502010101	主	坐夕 2	水林東	E 備地域活動支援	医車架				担当部	農林水	(産部
	ド	0100020	03010101	尹孙尹	**1	床小下五	三川 地域行動 又位	プロガス はず来 <u>担当課</u> 林務水産課						
政策:	名	03	活力	ある産業の	のまちつ	づくり						グループ	森林整	を備グループ
施策	名	01	農•ホ	木・水産業	の振興							電話番号	45-511	11
基本事	業名	01	農林	漁業経営	体への	支援						内線番号	2372	
予	会計	一般	会計					+ **	i 🗆	単年度のみ	L			
算	款	06	農林	水産業費				事業 期間	■ È	单年度繰返	(開始	F度]	H 14 4	年度~)
予算科目	項	02	林業	費				2011p1		期間限定複			~)
目	目	05	森林	整備事業	費			根拠法令·条例等	務局口	総外整備	地域店男 支援なん	リ文仮父竹金 ナ全な付更編	:父勺妛衤 	1、
評価区	<u></u> 分		標準評	平価	評価を	対象	1次評価	関連計画						·

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

木材価格の長期にわたる低迷やコストの増大等による森林所有者の経営意欲の低下、また林業従事者の減少・高齢化により林業生産活動が停滞しており、森林施業が的確に実施されにくい状況となっている。 そのため、森林経営計画に基づく協定を締結した山林、または今後、森林経営計画に組み込む山林などで、下記の3つの地域活動を行った場合に、それぞれhaあたり定額の交付金を交付し、山林の現況調査や作業路等の補修を行い、森林施業の推進を図る。

①施業集約化の促進 ②作業路網の改良活動

30,000円/ha 10,000円/ha、6,000円/ha

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 支援交付金交付団体		団体	4	4	4	4	
1							
o							
(2) 事務事業の目的							
② 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 森林整備協定締結者(団体)	協定締結数	協定	25	11	18	11	
イ 森林施業計画対象区域内の森林	支援事業対象森林面積	ha	12,325	5,402	9,033	5,402	
o							
④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア間伐等森林整備が進む	森林施業計画面積	ha	14,605	9,832	21,964	11,000	
1							
<mark>†</mark>							
(3) 上位の基本事業							
⑥ 基本事業の意図(さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度
ア 体質が強化される	経営体が施業を実施した面積	ha	490	476	457	476	
1							
ე							

3. 事務事業の環境変化·市民意見等

平成14年度より森林施業の推進を図るため、国がこの事業を開始した。14年度から18年度までは支援事業対象面積に対し10,000円/ha交付していたが、平成19年度より事業の内容により単価を分けて交付するようになった。さらに平成23年度から森林経営計画制度が導入されたため、現在は森林経営計画へ移行している。これに伴い、本事業においても国により対象活動の大幅な見直しが行われている。特に要望・意見等は寄せられていない。

А	4. 事業費の推移					単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
4.	777	R IR	TCO.	上19			半位	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫3	と出	金	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県支出金			金	千円	36,112	15,800	11,311	15,852	15,852
	于 近		債	千円	0	0	0	0	0			
	費	訳	そ	の他		他	千円	0	0	0	0	0
投入量			_	般	財	源	千円	12,038	5,130	3,563	5,147	5,147
量		哥	業	費			千円	48,150	20,930	14,874	20,999	20,999

5. 平成26年度の実績及び成果

<取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果 (1)平成26年度の実績(取組)

<左記の実績(取組)による成果を記載ご

①施業集約化の促進 ②作業路網の改良 267.0ha 8,010,000円 793.24ha 6,238,000円 事業により森林整備への関心が高まり、間伐や造林の促進が図られた。

릨		事業 ード	01060	20503010101	事 務 事業名	森林整体	林整備地域活動支援事業 担当 農林水産部 担当 株務水産課									
6.	_		SEE>	>	7-70-1					15		<u>* </u> 由	1የነመን	八生味		
	_				事業の意図に約	詰びついています	か?	小 車 类)	こより森林施業	おおす			が図らわ	その 年 里 奴		
			結7 パー	いている					本質が強化され		ソップ、布	木小笠川	177-12194 V	、飞奶和木油		
A				がでいる かに結びついてい な												
的				いていない												
A目的妥当性				ぜ市が行わなけ	ければならないの	つですか?										
性	(2)		を投入し	て達成する目的				国の事業	業であり、公共	関与に	は妥当っ	である。				
			妥当で													
			見直す	一必要がある												
	3	成果が	向上す	る余地(可能性)	はありませんか	٧.		本事業を	を実施すること 、森林経営計	により	、森林	整備の重	要性を所	有者に理解し		
			向上す	る余地はかなり	りある		1	施業の集 余地があ	集約化を進め、	施業	の団地	化を行う	ことにより	成果の向上		
			向上す	る余地はある程	建度ある			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	. J W							
			向上す	る余地はほとん	どない											
В	4	廃止•	休止の影	杉響はありません	しか?			現在木材	オ価格が低迷	してお	り、廃」	とすれば	森林所有	者の負担が増		
B有効性		_	影響カ	· ある												
性			影響か	 ヾほとんどない												
	(5)	類似の	目的(対	対象・意図)又は	形態(イベントや	啓発等)を持つ他(の事務	類似	事業がある場							
	•	尹木は		とのか?(市以外の	の主体が実施する	ものを含む。)		合の書	▶ 於事 兼名寺							
)事業はない 	公会りけ 連携	でキかい			実施要領に基連携は難しい		事業を行	行ってお	り、類似事	事業もないため		
				事業はめるが、)事業があり、統				,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	227109120							
	<u></u>						th?									
	6	•補助金	など、交	付先に働きかけて	、市の負担を削減	を削減できません ずできませんか?		国の制度困難では		合が	決められ	いており、	事業費を	削減するのは		
			削減で	きない												
C効率性			削減で													
平 性	7	できませ	んか?			費(延べ業務時間)を サイかる	を削減	交付金の	の支払いに伴	う事務	が大半	であり業	務時間削	減は難しい。		
		・戦員と		^{花や委託により人∲} できない	十貝を削減できま	ביטאי :		1								
			削減で													
	<u></u>	主		マ なが一部の受益	者に偏っている	ませんか?										
D 公	8	また、	受益者負	負担の公平性が	確保されていま	すか?		この事業は森林組合等を通じて山林所有者への補助(施業前の利 林現況調査や作業路網の改良等)を行う事業であり公平である。								
公平性				公正である												
			見迫す	一必要がある												
7.	1次	評価結	果 <	PLAN>(組織	(決定)	【参考】前:	年度の改革	改善の方	向性≪		継糸	f.		»		
(1)	事	務事業の	の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト約	宿小	連携		統合	-	休止	廃止		
改善	€の	方向性		0												
				国の制度改正	L Eに伴い、実施を	L L 基準が変更されて	ている。親	たな実	施基準に基づ	き適正	Eな事業	美執行に	努める。			
(2)	平」	成27年月	きの改													
革司	女善	の内容														
(42	7 111	10 .	II (2)													
				森林の有する	多面的機能が	十分に発揮される	るよう、森	林施業	計画の作成を	通じた	計画的	かつ適	切な森林	整備の推進を		
				図るため、森林	経営計画作成	促進、施業集約化	化の促進	、作業置	各網の改良を行	亍う。						
(3) 向性	平 	成28年月 取組目標	度の方													
8.	2次	評価結	果 <u>(</u> 担	3当部長評価)												
				継続	やり方改善	コスト拡充	コスト約	宏小	連携		統合	-	休止	廃止		
		務事業の 向性	ル以中		トラカ以音		コヘトボ	JE 11,	年1万		יויינ 🗖					
										<u> </u>						
(2)	2)総 評															

事務事業コード	0106020503010101	事 務 事業名	森林整備	地域活動支援事業	担当		木水産部
		争耒名			担当	課 林	8水産課
9. コスト	の推移						
	(単位:千円)	平成26年	F度(決算)	平成27年度 (当初予	(算)	平成28年度	(計画)
1 報	西州						
2 給	料						
	員 手 当 等						
4 共	済費						
	害補償費		25.4		150		150
7 賃	金		254		176		176
8 報	償 費						
9 旅	費						
10 交 11 需	際 費 用 費		372		243		243
	消耗品費		252		147		147
. –	燃料費		120		96		96
. ⊢	食糧費		120		30		30
	印刷製本費						
	光熱水費						
. ⊢	修繕料						
. ⊢	賄 材 料 費						
I –	飼料費						
Ī	医薬材料費						
12 役	務 費		0		0		0
j	通信運搬費						
Į į	広告料						
. ⊢	手 数 料						
	保 険 料						
13 委	託 料						
	料及び賃借料						
	事請負費						
16 原	材料費						
	与財産購入費 日 時 3 #						
	品購入費		14.040		90.500		90 500
19 _{負担} 20 扶	金補助及び交付金 助 費		14,248		20,580		20,580
20							
	付 金 諸補填及び賠償金						
	金利子及び割引料						
	資及び出資金						
25 積	立 金						
26 寄	附 金						
27 公	課費						
28 繰	出金						
計			14,874		20,999		20,999
	国庫支出金		0		0		

補助基本額 平成26年度補正·流用状況

県支出金

方

の

般 財源

玉

県

債

他

特定財源

補助率

1 174-1 1 154 110-1	****
当初予算	31,919
補正予算	-17,044
補正第7号	-17,044
流用・充用	
予算合計	14,875

平成26年度特定財源内訳

11,311

3,563

14,874

7.5/10, 10/10

0

0

1 1%20 T 1X 11 1X 11 1X 11 1X 11 1X 11 1X 1X 1X									
区分	名称	金額							
県支出金	森林整備地域活動支援交付金	10,686							
県支出金	森林整備地域活動支援推進事業費	625							
	合 計	11,311							

15,852

5,147

20,999

7.5/10, 10/10

0

0

15,852

5,147

20,999

7.5/10, 10/10

1. 基本	情報										
事務事	業	01060202	102010101 3	主教主	坐夕 1 1/2	15-14	生産組織育成事	巨类	·	担当部	農林水産部
그ㅡ	,,	01060202	03010101	サ伤争を	F1	1/4/) 1	土)生租服 月八号	P未		担当課	林務水産課
政策	名	03	活力あ	る産業の	うまちづく		グループ	林務水産グループ			
施策	名	01	農•林•	水産業の	の振興					電話番号	45-5111
基本事業	業名	01	農林漁	業経営	本への支	援				内線番号	2371
予	会計	一般	会計					± **	□ 単年度のみ		
予 算 科 目	款	06	農林水	産業費				事業 期間	■ 単年度繰返 (開始年	F度 S	48 年度~)
科	項	02	林業費	•				79][F]	□ 期間限定複数年度((~)
目	目	02	林業振	興費				根拠法令·条例等	霧島市補助金等の種類及	び補助率に関	胃する要綱
評価区	分	7	標準評価	西	評価対象	象	1次評価	関連計画			

<Do> 2. 事務事業の概要・目的・指標

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

近年、生産者の減少や高齢化により、乾、生しいたけともに生産量は減少傾向にあり、霧島市のしいたけ産業の振興を図るため、しいたけ原木の安定供給と乾しいたけ系統共販体制を確立する。また、しいたけの安定供給による良質・安定な食品等に対する市民の期待に応えながら、会員相互の連絡調整と技術の向上を図るために助成をする。

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア しいたけ生産振興会補助団体数(本部	•支部)	団体	4	4	4	4	4
1							
<mark>ゥ</mark>							
(2) 事務事業の目的							
② 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
アしいたけ生産振興会員	しいたけ振興会員数	人	25	23	23	23	23
1							
ゥ							
④ 意図(②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
アしいたけ生産量が増大する	乾しいたけ生産量	Kg	29,125	27,293	29,012	30,000	30,000
イ しいたけ生産量が増大する	生しいたけ生産量	Kg	119,961	119,695	137,086	120,000	120,000
<mark>ゥ</mark>							
(3) 上位の基本事業							
⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 経営体質が強化される	経営体が施業を実施した面積	ha	490	500	500	500	500
1							
<mark>ゥ</mark>							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

昭和48年に生産者の技術向上、生産性向上、 経営の安定を目的として開始した。生産者の高 齢化、安価な外国産の輸入、生産様式等の変 化に伴う需要の減少など、しいたけ生産を取り 巻く環境は厳しい状況にある。そのなか、霧島 市のしいたけ生産者は、県の『かごしま農林水 産物認証制度』を受けるなどし、安心・安全な県 産特用林産物の供給体制づくりに努めている。

4.	事美	美費	の‡	隹移			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
								(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫す	と出	金	千円	0	0	0	0	0
	事	財県支出金		金	千円	0	0	0	0	0		
	事業費	財源内訳	地	ブ	5	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	0)	他	千円	0	0	0	0	0
投 入量			_	般	財	源	千円	60	60	60	57	57
量		事	業	費			千円	60	60	60	57	57
-												

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2) 平成26年度の成果

- 霧島市しいたけ振興会補助金(60,000円)本部 ・本部事業として意見交換会等を実施(4月11人参加) ・各支部事業として、ふるさと祭りの参加、お歳暮用しいたけ販売、品評 会等各種事業を実施

霧島市しいたけ振興会の各種事業を通じて、生産技術の向上や生産量の増大、品質向上のための情報交換が図られた。

Ę		事業ード	01060	20203010101	事務事業名	しいたに	ナ生産組	組織育用	龙事業	担扣	当当	部課		火産部
6	_	/返り <	'SEE'		尹未石					担	理	由	个	k産課
0.	_				東業の音図に象	古びついています	t & 0		け振興会員への		や活動	かを支		
	\cup				事業の息図に	古のプいていまり	ית	を図るこ	とは、しいたけ	生産総	且織の)経営(体強化に結び	が付く。
Α				いている										
目的				に結びついてい	\ გ									
目的妥当性		.= 🗖		いていない <mark>ぜ市が行わなけ</mark>	h 1 # + > C + > 1 \ \	りですかっ		しいたに	け生産組織の育	ぎ成けた	 	勿の振	銅を図るのに	つかがり至当
性	2	· 税金	を投入し	て達成する目的	ですか?	<i>D</i> C 9 <i>D</i> · :		である。	/ <u>ユン/王/東</u> 山州(マント	JANIA!	rivæ.i	7J V 7 JJK	× € ⊠ 3 • 7 (c	- 3,2%,783
			妥当で	ある										
			見直す	必要がある				2	1 TC (C) V 7 12 10		h.44.) =	TIT LA	보고 기 기 수	111 m d 1) = 47
	3	成果が	向上する	る余地(可能性)	はありませんか	٥١/?		めてきた	「振興会を通じ こが、しいたけん よ期待できなレ	西格の				性の向上に努 こより、生産数
			向上す	る余地はかなり	ある			の同工	よ別付 (うない	' o				
			向上す	る余地はある程	度ある									
		•	向上す	る余地はほとん	どない									
В	4	廃止•位	木止の影	/響はありません	か?				を廃止した場合 組織の衰退に			現地村	検討会等の沿	舌動の機会が
B有効性		-	影響が	ある										
性			影響が	ほとんどない				1						
	(5)					啓発等)を持つ他	の事務		事業がある場事務事業名等					
		事未は		<mark>んか?(市以外の</mark> 事業はない	の土1年か夫他96	ものを含む。)			単 務事業有可 興会のみ					
				事業はあるが、	統合又は連携	できない								
				事業があり、統										
	6	・事務事	業の手段	设(やり方)を工夫で	することで、事業費	きを削減できません 載できませんか?	か?	しいたり	価格の低迷と	、生産	者の	高齢化	ムが進行し、扱	長興会への会
	0	・ 補助金			、市の負担を削減	或できませんか?		質にけ 退につ		難な状	沈にる	めり、併	明金観の削	除は組織の衰
С			削減で											
C効率性					ナることで、人件者	青(延べ業務時間)	を削減	予算執	行が主な業務	であり、	事務	局も委	を任されず職員	員の負担も少
性	7) できませ	んか?	なや委託により人作			C111#94	ないた	り削減余地はた	ZV /°				
		•	削減で	きない										
			削減で	きる										
D	8			容が一部の受益 担の公平性が				しいたり 動するも	産業の振興の	つため、 Pである	事業	者とし	て生産者組織	能に加入し、活
公平性				公正である										
性			見直す	必要がある										
7.	1次	な 評価結	果 < F	PLAN>(組績	快定)	F 0 4 5 4					de	d de		
				継続				革改善の方		I ,		続	休止	廃止
		務事業 <i>0</i>)方向性	の改革		やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	ř	流合		<u> </u>	光工
				・声場価格の低		百未1 いたけ季	五十十岁	3.4 分签	事業しへの生産	5 孝国2	知太区	71万(由	き出いまし	
>	_	D		・椎茸振興会を	通じて「かごし	原木しいたけ需 ま特用林産物総	合対策	事業」の記	新来」へのエル 歯用要望を受け	大安定	的な	生産基	ま盤の確立を	図る。
革	女善	成27年月の内容												
(取	り糸	且むべき	課題)											
				####	の古典ルぶ先) でわり 年担/	\	17 4./07	*					
				*惟身派與云貝	(の)向野化が進	んでおり、新規会	ス貝のル	八を促む	≛9√0。					
(3)	平.	成28年月 取組目標	度の方											
IPJ 1.	±.,	双祖日特	ř											
				<u> </u>										
8.	2次	マ評価結	果 (担	当部長評価)										
				継続	やり方改善	コスト拡充	771	·縮小	連携		充合		休止	廃止
		務事業 <i>0</i> i向性	リ以中		ドリカ以苦	コヘトが人工	171	NUE 11,	建拐	î	טע דו			
(2)	総	評												

事務事コート	章業 ド	0106020203010101	事 務事業名		しいたけ	生産組織育成事	業		当部当課	農林水産部 林務水産課
9. コス	トの	推移								
		(単位:千円)	平成264	年度 (決	(算)	平成27年度	(当初予算))	平成2	8年度(計画)
1 幸	·····································	酬								
2 糸		料								
		手 当 等								
4 #		済 費 措 偿 弗								
5 ジ 7 貨		補償費金								
8 \$										
9 が	祣	費								
10 3		際費								
11 常		用 費 耗 品 費			0			0		0
	燃燃	料費								
	食	糧 費								
		刷製本費								
	光修	熱水費繕料								
		材料費						-+		
	飼	料費								
	_	薬材料費								
12 名		務費			0			0		0
	虚 広	信運搬費 告 料								
	手	数 料								
	保	険 料								
13 💈		託 料								
		及び賃借料 請 負 費								
16 原										
		 才産購入費								
18 俳	莆 品	購入費								
		助及び交付金			60			57		57
20 技		<u>助</u> 费								
—										
		子及び割引料								
		び出資金								
25 積		<u>立</u> 金 附 金								
26 宮 27 公		課費								
28 彩		出金								
ā	†				60			57		57
特	国	庫支出金			0			0		
財財	国県地子	支 出 金 方 債			0			0		
財源内訳	そ	の他			0			0		
訳		设 財 源			60			57		57
		計			60			57		57
補助	力率	国 県								
補	助	基本額								
		補正•流用₺	大 況		平成26年	度特定財源内訓	5			
	当初	予算		60		区分		名称		金額
	補正	予算		0						
				-						+
济	充用·	充用								

予算合計

1. 基本	情報												
事務事	業	01060201	02010101	主	坐 夕 ‡	计类段	面設維持管理事業			担当部	農林水産部		
Ī	1,	01000201	03010101	争仂尹	*10 14	小未加	B.以雁竹日 生 尹未			担当課	林務水産課		
政策:	名	03	活力な	ある産業の	のまちつ	づくり				グループ	林務水産グループ		
施策:	名	01	農•林	•水産業	の振興					電話番号	45-5111		
基本事	業名	01	農林池	魚業経営	体への	支援				内線番号	2371		
予	会計	一般	会計					± **	□ 単年度のみ				
算	款	06	農林力	水産業費	•			事業 期間	■ 単年度繰返 (開始年	F度 H	18 年度~)		
予 算 科 目	項	02	林業費	貴				79][F]	□ 期間限定複数年度(~				
Ħ	目	01	林業総	総務費				根拠法令·条例等	地方自治法第244条の2	(指定管理)			
評価区	分	,	標準評価 評価対象 1次評価					関連計画					

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

市民に森林を利用したレクリエーションの場を提供し市民の健康増進を図るため、維持管理を行う。 指定管理施設・・・黒石岳森林公園、丸岡公園バンガロー施設 直営施設・・・川原加工貯蔵施設、多目的研修集会所(川原、塚脇、清水)、松ヶ野地区林業集会施設、溝辺竹子集会センター、林構事業機械保管倉庫(鐘突)、福山食の交流館

直営施設は、適宜施設の修繕を行い施設の維持管理を行う。

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 林業施設維持管理費(委託料)		千円	8,326	6,200	6,602	6,315	6,305
イ " (修繕料)		千円	111	506	1,095	600	600
ウ " (保険料)		千円	162	155	141	141	141
(2) 事務事業の目的							
② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
市民	人口	人	127,475	127,283	126,842	129,360	130,000
1							
ゥ							
④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア 森林を利用したレクリエーションの場を 享受し、健康増進が図られる	利用者アンケートで満足・やや満足と答えた 割合	%	-	10	50	20	20
1							
ゥ							
(3) 上位の基本事業							
⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度
ア体質が強化される	経営体が施業を実施した面積	ha	490	500	500	500	500
1							
<mark>ゥ</mark>							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

林業施設については市の所有であり、施設に関わる維持管理(光熱水費、修繕料及び保険料)を市で行う。施設の維持管理については特に変化はない。

4.	事美	类費	の‡	隹移			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
								(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫す	と出	金	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	財源内訳	地	ブ	5	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	0)	他	千円	0	0	0	0	0
投入量			_	般	財	源	千円	8,655	7,326	8,747	7,904	7,613
量		哥	業	費			千円	8,655	7,326	8,747	7,904	7,613

5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組)

(2)平成26年度の成果

林業施設の維持管理(光熱水費67千円、修繕料506千円、保険料155千円、委託料6,200千円)

一部の施設を指定管理委託することで、経費の抑制、サービスの向上が 図られ、また、林業施設の維持管理を行うことで、林産物加工の促進に つながった。

Į.	<u>事務事業</u> 0106020103010101 事務 事業名 林業が					記殺維持	持管理	事業	担扣	当当	部課		水産部 水産課	
6.	振り	返り <	SEE>		7 714 11					1=	理	由	ባጥነጋን	八庄杯
					事業の意図に終	きびついています:	か? [†]	林業施記	ひの維持管理 とに繋がってい	をする	ことだ	、林産	物加工の促	進、または経
				いている	7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7		ŕ	S 0.25虫1	口に茶かつて	いるの	で息₽	≦(⊂邢戸(プ ^ト コくといえる	υ ₀
A				いている に結びついてい	. Z									
目的				いていない	'ବ									
A目的妥当性	_			ぜ市が行わなけ	わばたらないの	りですか?	Ţ	収益とせ	ービス向上か	5見.込&	める旅	設は、	指定管理者	での管理とし、
性	2	•税金	を投入し	て達成する目的	ですか?	, , , , ,			所有の施設とし					
			妥当で	ある										
L			見直す	必要がある				C.I. D.J IV. 1	NE HILL		LL- ¬n		# 2 22 2a	
	3	成果が	向上す	る余地(可能性)	はありませんか	٧?	オ	が困難な	よ点もあるが、	接客や	7利便	り老わ [,] [性など	化などハード 施設運営の	面では、向上 ソフトの面で改
			向上す	る余地はかなり	ある		Ŧ	雪を 八ヶ	よる余地がある)住皮。	める。			
			向上す	る余地はある程	度ある									
			向上す	る余地はほとん	どない									
В	4	廃止・作	木止の景	/響はありません	か?		方と	施設に レが予想	手が入らなくな される。	ること	で、老	朽化か	『進み、管理』	が難しくなるこ
B 有 効		_	影響が	<u></u> ぶある										
性			影響が	ほとんどない										
	(5)	類似の	目的(対	象・意図)又は	形態(イベントや	整発等)を持つ他の	D事務	類似	事業がある場					
				んか?(市以外の - 市場 ()	の主体が実施する	ものを含む。)		合の事	務事業名等					
				事業はない	な人りは事業	テキナル、								
				事業はあるが、										
H	_			事業があり、統			h 2	野に 必見	専最小限の経	書で管	が理を	行って	おりこれ以	上の経費削減
	6	·補助金	など、交	付先に働きかけて	、市の負担を削減	を削減できませんが 域できませんか?	Ĭ.		こ支障がでるこ				, -,	
			削減で	きない										
C 効			削減で	きる					+ /// - 111 - 2 - 3	~ 7 //	- +1. /	-t- 24- 15		2. D. L Wil\A
率性	7	できませ	んか?	设(やり方)を工夫で なや委託により人作		費(延べ業務時間)を		他設維持の余地に		の寸昇	執行	事務が	・主であり、こ	れ以上の削減
		・戦員と	削減で		+貝を削減 (さま)	50%;								
			削減で											
	8			容が一部の受益	者に偏っている	ませんか?								整えるためで
D公平性	0	また、	受益者負	担の公平性が	確保されていま	すか?	1	あり、不会	公平は生じな 担についても2	い。また公平・2	た、施公正で	設利用	者から使用! いえる。	料を徴収し、受
平性				公正である										
_			兄但9	がある 										
7.	1次	評価結	果 <i< th=""><th>PLAN>(組稿</th><th>決定)</th><th>【参考】前年</th><th>度の改革</th><th>改善の方</th><th>向性≪</th><th></th><th>報</th><th>続</th><th></th><th>></th></i<>	PLAN>(組稿	決定)	【参考】前年	度の改革	改善の方	向性≪		報	続		>
(1)	事剂	务事業の	の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト約	宿小	連携	;	統合		休止	廃止
改割	善の?	方向性		0										
				利用者数の増加	加に向けた取り;	組み及び施設の終	维持管理	のため	、指定管理者	と連携	まする			
		戊27年 月	度の改											
		の内容 むべき	課題)											
				施設の老朽化力	が進んでおり、値	を繕等により市民	が安全に	和用で	きる環境を整	える。				
(5)	. — –	<u> </u>												
(3) 向情) 半 月 生•耶	成28年月 双組目標	隻の万											
8.	2次	評価結	果(挂	当部長評価)										
		务事業 <i>0</i>	の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト約	宿小	連携	1	統合		休止	廃止
		向性												
					1	<u>. </u>				1				'
(2))総	評												

	条事業 一ド	0106020103010101	事 務事業名		林業施	設維持管理事業		担当部担当部		林水産部
9. =	コストの	推移								
		(単位:千円)	平成264	年度 (決	(算)	平成27年度	(当初予算)		平成28年度	(計画)
1	報	州								
2	給	料								
3		手当等								
4	共	済費								
5	災害									
7 8	<u>賃</u> 報	<u>金</u> 償 費								
9	 旅	<u></u>								
10	交	際費								
11	需	用 費			1,155			871		667
		耗品費						8		
	燃食									
		刷製本費								
		熱水費			61			63		67
	修				1,094			800		600
	賄									
	飼	料 費 薬材料費								
12		祭 M 科 貸 務 費			140			148		141
'-	_	信運搬費			110			110		111
	広									
	手									
L_	保				140			148		141
13		託 料 引及び賃借料			6,602		6	,585		6,305
14		***								
16		 								
17		財産購入費								
18	備品	片購入費			850			300		500
19		補助及び交付金								
20	<u>扶</u> 貸	助 費 付 金								
22		<u>・ ユ</u> i填及び賠償金								
23		利子及び割引料								
24	投資	及び出資金								
25	積	立 金								
26	- 寄	附金								
27 28	<u>公</u> 繰	課 費 出 金								
-	計	<u> </u>			8,747		7	,904		7,613
		庫支出金			0			0		·
財	定県	支出金			0			0		
財源内訳	特定財源国 県 地 そ				0			0		
訳		の 他 般 財 源			8,747		7	,904		7,613
		計			8,747			,904		7,613
4	# 01 55	国			-,			,		.,,
	#助率	県								
	助									
平成		₹補正·流用\				度特定財源内訳				
	当初]予算 三予算	8	,766 0		区分		名称		金額
	7用 业	- 」		U		+				
			1							

合 計

流用・充用 予算合計

8,766

1. 基本	情報										
事務事	業	01060202	002010102	主	幸々	自針対	y害防除•捕獲対	坐車 業		担当部	農林水産部
	ド	01000202	03010102	事 ⁄办事:	木口	はは	(古的标"抽发剂	水ず未		担当課	林務水産課
政策	名	03	活力	ある産業の	のまちつ	づくり				グループ	林務水産グループ
施策	名	01	農•ホ	木・水産業	の振興	Ĺ				電話番号	45-5111
基本事	業名	01	農林	漁業経営	体への	支援				内線番号	2362
予	会計	一般	会計					+ ₩	□ 単年度のみ		
算	款	06	農林	水産業費				事業 期間	■ 単年度繰返 (開始 ⁴	年度	S44 年度~)
予算科目	項	02	林業	費				拗川山	□ 期間限定複数年度	(~)
目	目	02	林業	振興費				根拠法令·条例等	馬駅の保護及の付無の退 等の種類及び補助率に関	固止化に関する 月十ス更綱	法 保、務島 巾 棚 助 金
評価区	☑分		標準部	平価	評価:	対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

近年、野生鳥獣による農作物の被害が恒常的に発生しているので、被害等の状況を的確に把握するとともにその被害防止策を図る。 霧島市が捕獲従事者として依頼している捕獲隊に有害鳥獣の捕獲を指示し、農作物へ被害を及ぼす有害鳥獣捕獲を速やかに行い、被害の軽減に努めている。(捕獲報償金を支払う) 霧島市が有害鳥獣捕獲報償費の対象としている鳥獣は、イノシシ、ニホンジカ、タヌキ、アナグマ、ノウサギ、カラス及びニホンザルである。 県が協議会を作り、基金を積み立てを行いそこから、捕獲者への必要経費の上乗せや、防護柵の強化等の補助を行っている。国の上乗単価については、市の報償費にイノシシ・ニホンジカ・ニホンザルの成獣は8,000円幼獣は1,000円、アナグマ・タヌキは1,000円、カラス・ヒヨドリは200円である。 である。

1	活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	有害鳥獣の捕獲指示		件	118	128	130	130	130
1								
ゥ								
(2)事務事業の目的							
_	対象 惟、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	農林水産物	被害件数	件	235	250	243	230	220
1								
ゥ								
	意図 ②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度
ア	有害鳥獣による被害を防止する	捕獲見込み頭(羽)数	頭(羽)	2,091	2,862	2,712	2,000	2,000
1								
ゥ								
(3)上位の基本事業							
_	基本事業の意図 らにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	経営体質が強化される	施業により生産された材積量	ha	39,416	38,454	65,884	48,000	50,500
1								
ゥ								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

鳥獣による農林水産物への被害を軽減するた 鳥歌による農林水産物への飲吾を壁喰するため昭和44年から実施が始まった。 鳥獣による 農林水産業等に係る被害の防止のための特別 措置に関する法律が平成20年に施行された。 鳥獣被害防止緊急捕獲対策事業も実施され、 鳥獣被害に対する防除・捕獲対策が強化され、 農・林業者からの電気柵整備等の申請も増加傾向にある 向にある。

4	. 事業費の推移		単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度				
	-T'>		,001	ETS			丰区	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫3	支出	睁	千円	0	0	0	0	16,610
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	財源内訳	地	7	5	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	0	D	他	千円	0	7,476	14,920	16,610	0
投入量			_	般	財	源	千円	12,777	17,610	13,115	12,024	11,996
量		哥	業	費			千円	12,777	25,086	28,035	28,634	28,606

5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果

<左記の実績(取組)による成果を記載

有害鳥獣駆除報償金の交付(イノシシほか2,712 頭(羽)、27,612千円) 捕獲隊への運営費補助(5団体、550千円)

捕獲隊員の減少を防止するため、新規加入の促進、わな猟免許取得 促進により、わな免許取得者が増えた。 特にシカ・アナグマの被害が増加しているが、罠によるシカの捕獲実績が 増えている。シカの実績としては、1,011頭 アナグマ546頭の実績が上が っている。

Ę	事務		01060	20203010102	事 務 事業名	鳥獣被割	言防除•	捕獲対	 策事業				木水産部 外水産課
6.	振り	返り <	SEE>			,					理(<u></u>	
	1	この事	務事業の	の目的は、基本	事業の意図に終	吉びついています	か?		産物への有害被害を食い止る			害の防除及び	浦獲活動で農林
		_	結びつ	いている							-		
A]に結びついてい	 \る								
的				いていない									
A目的妥当性	2	·この 됨	事業をな	ぜ市が行わなけ	ればならないの	Dですか?							であり、市が免許
性	(Z)	•税金	を投入し	て達成する目的	ですか?			所持者	に依頼し捕獲済	舌動を行	行ってい	ハただいている	o
		_	妥当で										
			見直す	必要がある				井 白 ※	の答明が行るす	アブ 曲	ナナーレゴ	5.15~の地字前	経滅につながる。
	3	成果が	「向上する	る余地(可能性)	はありませんか	١, ٢		生心致	○V官 理を11.7章	* C、辰	孙小八	生物への被音幣	三人(に、フィボル)の。
			向上す	る余地はかなり	ある								
			向上す	る余地はある程	度ある								
			向上す	る余地はほとん	どない								
B	4	廃止∙伯	休止の影	/響はありません	か?			本事業かたりの	を廃止・休止し)影響がある。	た場合	、農林	水産業被害は	莫大なものになり
B有効性		_	影響が						70 10 00 00				
性		_		 「ほとんどない									
	<u> </u>				形態(イベントや)	啓発等)を持つ他	の事務	類似	事業がある場				
	5	事業は	ありませ	んか?(市以外の	の主体が実施する	ものを含む。)			事務事業名等				
				事業はない				他の争	情等は無い。				
				事業はあるが、									
				事業があり、統				4-2-XE-4	女性にも マ) Δ Δt	n =	1.4 1 <i>= 1</i> + <i>T</i> + <i>T</i> + III .1	(英格の法目化が
	6	·事務事 ·補助金	業の手段など、交流	设(やり方)を工夫で付先に働きかけて	することで、事業費、市の負担を削減	費を削減できません 域できませんか?	か?	どの経	夫旭にめたつく 費がかかり、その 減は捕獲隊の	の一部	を報償	費で賄っている	:薬類や道具代な るため、捕獲報償
			削減で	きない				貫の削	例は拥没隊の	かノノ、 「	可思//*/	付り4いよい。	
C 効			削減で	きる									
率性	(7)	事務事できませ		设(やり方)を工夫で	することで、人件費	貴(延べ業務時間)を	を削減		昨年度の内容 単位での事務(香、捕	獲指示等)の	統一化を図り、効
11		-職員以	人外の対応	なや委託により人作	牛費を削減できま	せんか?		率的な	事務事業を行) ₀			取扱要領により
			削減で	きない				市長と	なっているため	、協議	会等で	は出来ない。	
			削減で					t bank ta		I. —f xIII			-/
Ď	8	事務事また、	業の内 受益者負	容が一部の受益 担の公平性が	を者に偏っている 確保されていま	ませんか? すか?			と信頼のもと、 もと行っている。		を行っ`	ており証拠物の	確認も国や県の
D公平性			公平・	公正である									
性			見直す	必要がある									
7.	1次	評価結	果 <	PLAN>(組制	快定)						AND AL		.,
				継続				革改善のフ			継布	休止	≫ 廃止
		务事業の 方向性			やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	糸	充合	が正	第 工
				0	31745	15 - = = x	her-em a. /	H-1 1					
				捕獲與数につい	いて、計画的に	指示頭数を行い	官埋を作	徹底して	()< °				
		成27年月 の内容											
		むべき											
				国や県の事業	等を活用し、国	・県・市一体となり	有害鳥	獣の防	除及び捕獲に国	取り組む	.s.		
(3)) 平 后	龙28年 原	きの方										
向作	生• 取	組目標	票										
8.	2次	評価結	果(担	当部長評価)									
		多事業(の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	糸	充合	休止	廃止
改割	き方(向性											
						-				-			
(2)	(総	評											

事務事業	0106020203010102	事務	自能体宝吃险, 拔獲劫笑事業	担当部	農林水産部
コード	0106020203010102	事業名	局歌被告防除•拥獲对束事業 	担当課	林務水産課

9. =	コストの推移			
	(単位:千円	平成26年度(決算)	平成27年度 (当初予算)	平成28年度(計画)
1	報酬			
2	給 料			
3	職員手当等			
4	共 済 費			
5	災害補償費			
7	賃 金	05.154	07.001	07.001
8	報費	27,154	27,621	27,621
9	旅 費 交 際 費	0	28	
11	一	93	125	125
1'''	消耗品費	88	100	100
	燃料費		100	100
	食糧費			
	印刷製本費			
	光熱水費			
	修繕料	0	20	20
	賄 材 料 費			
	飼 料 費	5	5	5
	医薬材料費			
12	役 務 費	60	80	80
	通信運搬費	60	80	80
	広 告 料			
	手 数 料			
10	保険料	205	0.05	005
13	委託 料	225	225	225
14	使用料及び賃借料 工事請負費	5	5	5
16	原材料費			
17	公有財産購入費			
18	備品購入費			
19	負担金補助及び交付金	498	550	550
20	扶 助 費			
21	貸 付 金			
22	補償補填及び賠償金			
23	償還金利子及び割引料			
24	投資及び出資金			
25	積 立 金			
26	寄 附 金			
27	公 課 費			
28	繰 出 金	90.005	90.004	90.000
	計 _{tt} 国庫支出金	28,035	28,634	28,606 16,610
	特定財物の大学を表現しています。		0	10,010
財	定 宗 又 田 弘 財 地 方 債		0	
財源内訳	源を分析		16,610	
訳	一般財源	13,115	12,024	11,996
	計	28,035	28,634	28,606
	I I		-,	定額
*	浦助率 県			
補				

平成26年度補正•流用状況

当初予算	28,304
補正予算	0
流用・充用	
予算合計	28,304

平成26年度特定財源内訳

区分	名称	金額
その他	雑入(鳥獣被害防止総合交付金)	14,920
	合 計	14,920

1. 基本	情報														
事務事	業	01066002000010102 事務事業名 海面環境保全事業										農林水産部			
Ī	コード 「「「「「「」」」」「「「」」」「「」」「「」」「「」」「「」」「「」」「「								担当課	林務水産課					
政策:	名	03	活力	ある産業の	のまちつ	づくり					グループ	林務水産グループ			
施策	名	01	農•材	・・水産業	の振興						電話番号	45-5111			
基本事	業名	01	農林	魚業経営	体への	支援					内線番号	2371			
予	一般	会計						+ *	□ 単年度のみ						
算	款	06	農林	水産業費					事業 期間	■ 単年度繰返 (開始年度 S 59 年度~)					
予算科目	項	03	水産	業費					利申	□ 期間限定複数年度(~)			
目	目	02	水産	業振興費					根拠法令·条例等	霧島市補助金等の種類及	び補助率に関	する要綱			
評価区	分	7	標準部	P価	評価対	対象	1次評価		関連計画						

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

桜島の火山活動に伴い堆積した軽石が梅雨,台風等の大雨の際に大量に海面に流失し,又河川からの流木等が海面に浮遊し福山港に漂着し 漁船の航行を阻害するので、毎年海の日の前後に、重機等を使って除去する処理事業に係る費用の一部を助成する。事業主体:福山町漁協

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア海面環境保全事業		□	(夫祖)	(夫領)	(美額)	(兄込)	(兄込)
1 漁船数			60	60	60	60	60
ウ							
(2) 事務事業の目的							
② 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア海面漁業者	清掃作業の参加者	人	20	20	20	20	20
1							
o							
④ 意図(②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア 漁船被害の軽減	放流した稚魚の数	万匹	48	50	50	60	60
1							
o							
(3) 上位の基本事業							
⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度
ア 効率的な生産を行う基盤が整う	放流した稚魚の数	万尾	48	50	50	41	41
1							
<mark>ウ</mark>							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等

県の桜島軽石等除去事業で実施されていたが、打ち切り予算となった。しかしながら、漁業関係者の強い要望により単独補助とした。 台風時期等の浮遊物除去により被害解消及び海岸周辺がきれいになった(漁業関係者、周辺住民)。

4	4. 事業費の推移						単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
							+12	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫3	支出	睁	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費別源内訳		7	5	債	千円	0	0	0	0	0	
	費	間 その		他	千円	0	0	0	0	0		
投入量	월 -		_	般	財	源	千円	136	136	136	136	136
量		哥	業	費			千円	136	136	136	136	136
_												

5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果

2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

福山漁協 軽石、ゴミ等の除去 7月20日~7月21日

この事業をすることで漁場環境を保全し、刺し網、定置網、一本釣り等の漁業経営の安定化につながった。

事務事業 01060		01060	30203010102	010102 事 務 海 海面環境				遺保全事業 担当部 農林水産部 担当課 林務水産課							
6.	振り返り <	(SEE>								理	由				
	① この事	務事業の	の目的は、基本	事業の意図に終	古びついています	か?	安全な私ことで政	船舶の航海の で策体系に結び	確保を	推進している。	、漁業者の	安定経営	を支援する		
A			いている												
員		間接的	に結びついてい	\る 											
A目的妥当性			いていない	1 186 2 6 1 1		海米の	に 田 ひょ 2 四 広	<i>I</i> D A -	σ Ha h	√ ロ 7. ナ. 士・松	シーファルル	ユ <i>イニニマト</i> ースシ			
桂	● ·税金	を投入し	<mark>ぜ市が行わなけて達成する目的</mark> t+ 3	ればならないの ですか?	つですか?		関与する	振興及び環境 ることは妥当で	保全へである。	~の取り	組みど文援	E9 6026	ま、行政か		
		妥当で													
		見迫す	必要がある				古の子	宮ォ 揺妬できた	al. \ > し	しせいぶ	ナス無色め	小胚化汩	15t トスた		
	③ 成果が		る余地(可能性)		,		市の予算も増額できないことと放流する稚魚や水質状況にもよるため事業目的以上の成果向上余地はない。								
			る余地はかなり												
			る余地はある程												
	-	回上す	る余地はほとん	とない			か 会われ	社ぶるぶかりつ	セナンノナ	3.7					
B	④ 廃止・位	木止の影	/響はありません	か?			女主なが	航海が確保で	タホノパ	につ。					
B有効性		影響が	ある												
11		影響が	ぼとんどない												
	⑤ 類似の事業は	目的(対	対象・意図) 又は つんか?(市以外の	形態(イベントや原 の主体が実施する	啓発等)を持つ他(ものを含む。)	の事務	類似 ³ 合の ³	事業がある場 事務事業名等							
	•	類似の	事業はない												
		類似の	事業はあるが、	統合又は連携	できない										
		類似の	事業があり、統	合又は連携でき	≛ る										
	6 ·事務事	業の手段など、交	役(やり方)を工夫で付先に働きかけて	することで、事業費、市の負担を削減	貴を削減できません 域できませんか?	か?	事業費の	のほとんどは必	公要経 🤄	費であり)、削減は難	削い。			
	•	削減で	きない												
C 効率		削減で	きる												
率性	(7) できませ	んか?	设(やり方)を工夫で なや委託により人作		費(延べ業務時間)を せんか?	予算執行等の事務の				ることか	*ら削減余均	也はない。			
	•	削減で	きない												
		削減で	きる												
D.			容が一部の受益 負担の公平性が				安全な船舶の航海の確保を推進し,周辺漁業者全てが受益者であることから公平・公正である。								
公平性		公平•	公正である												
119		見直す	必要がある												
7.	1次評価結	果 <f< th=""><th>PLAN>(組稿</th><th>決定)</th><th>【参考】前:</th><th>年度の改革</th><th>革改善の方</th><th>向性≪</th><th></th><th>継糸</th><th>i.</th><th>>></th><th></th></f<>	PLAN>(組稿	決定)	【参考】前:	年度の改革	革改善の方	向性≪		継糸	i.	>>			
(1	事務事業の	革公C	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小		á	統合	休」	Ŀ	廃止		
	善の方向性		0												
			この事業を継続	 きすること											
(0)	ᅲ	= 0.74													
革	平成27年度 改善の内容 り組むべき														
			引き続き事業を	継続する。											
(3)	平成28年度	度の方													
向作	生•取組目標	-													
8.	2次評価結	果(担	当部長評価)												
	事務事業の	D改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	ń	統合	休」	E	廃止		
改計	善方向性														
				•	<u> </u>						<u>'</u>	<u> </u>			
(2)	総評														

事務事業 0106030203010102			事 務事業名	事務事業名 海面環境保全事業								林水産部
9. コス	くトの	推移										
		(単位:千円)	平成26	年度((決算)		平成27年度	(当初予算)		平	成28年度	(計画)
	報	М										
	給	料エルケ										
	<u>職 貝</u> 共	手 当 等 済 費										
		補償費										
	賃	金										
	報 旅	<u>賞</u> 費										
	<u>派</u> 交											
11 🛉	需	用 費				0			0			0
		耗品費										
	燃食	<u>料費</u> 糧費										
	印	刷製本費										
	_	熱水費										
	修賄											
	飼	料費										
		薬材料費										
12 1	役 ^国	務 費 信運搬費				0			0			0
	进 広	告 料										
	手	数料										
	保	険 料										
	委曲戦	託 料 及び賃借料										
		請負費										
16 J	原材	才 料 費										
		財産購入費										
		購入費 動及び交付金				136			136			136
	大二三 扶	助費				100			100			100
		付 金										
		填及び賠償金 リ子及び割引料										
		及び出資金										
	積	立 金										
	寄	附金										
	公 <u></u> 繰	課 費 出 金										
	計	<u>ы</u> <u>ж</u>				136			136			136
		庫支出金				0			0			
財産	見り	庫 支 出 金 支 出 金 方 債 の 他				0			0			
財源内訳	見る	の他				0			0			
訳 _		设 財 源				136			136			136
		計				136			136			136
補具	助率	国県										
補	助	基本額										
平成26		補正∙流用丬	大況		平月	戊26年	度特定財源内訴	!				
	当初	予算		136			区分		名称			金額
	補止	予算		0								
											+	
;	流用	• 充用										
		合計		136				合 計				0

	1. 基本	情報										
Г	事務事	業	0106020	203010103	主	坐夕 海:	类次	源放流支援事業	(種芸扮演	車茶/	担当部	農林水産部
ı	그ㅡ	*	01000302	.03010103	#15#;	木口信息	未貝	你从他又1友尹未	(1里田 //又/川-	#未)	担当課	林務水産課
Г	政策	名	03	活力を	る産業の	のまちづく	くり				グループ	林務水産グループ
I	施策	名	01	農•林•	•水産業	の振興					電話番号	45-5111
I	基本事	業名	01	農林漁	1. 業経営	体への支	援				内線番号	2371
Г		会計	一般	会計					± **	□ 単年度のみ		
ı	算	款	06	農林水	く 産業費				事業期間	■ 単年度繰返 (開始 ⁴	F度 H	18 年度~)
ı	予算科目	項	03	水産業					79][1]	□ 期間限定複数年度	(~)
ı	目	目	02	水産業	美振興費				根拠法令·条例等	霧島市水産業事業補助金	定交付要綱	
ſ	評価区	分		標準評	価	評価対	象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <D₀>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

種苗(カサゴ10,000匹は、隼人町浜之市沖、稚鮎150Kgは、天降川水系の中津川・金山川・万膳川)の放流を毎年4月に行うことにより、資源の維持増殖に努めるとともに漁獲の向上を図り、地区漁民の生産を高め生活の安定を図る。

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 補助金交付団体数		団体	2	2	2	2	2
イ 放流回数		口	2	2	2	2	2
o							
(2) 事務事業の目的							
② 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア海面漁業者	海面漁業者数	人	158	158	158	158	158
イ 内水面漁業者	内水面漁業者数		27	27	27	27	27
o							
(② 意図(②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア 漁業者の経営安定	霧島市漁獲高	t	465	465	465	465	465
1							
o							
(3) 上位の基本事業							
⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度
ア 効率的な生産を行う基盤が整う	放流した稚魚の数	万尾	48	50	50	41	41
1							
<mark>ゥ</mark>							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

年々資源が枯渇していく湾奥の水資源の維持 や増大を図るため平成18年から実施。 漁業持 の高齢化や漁業資源の減少など水産業を取り 巻く環境は年々厳しくなってきている。 水産資 源の枯渇を防ぐためにも放流事業等を今後も続 けてほしい(錦江漁業協同組合)。

Л	nder et	生曲	ω±	隹移			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
+.	चरत	K A	, v) 1	止19			丰四	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫は	を出	睁	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	財源内訳	地	Į.	<u> </u>	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	0)	他	千円	0	0	0	0	0
投入量			_	般	財	源	千円	658	658	658	658	658
量		耳	業	費			千円	658	658	658	658	658

5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果

錦江漁協 カサゴの種苗(10,000尾)放流 市の補助 273,000円 天降川漁協 稚鮎150㎏の放流 市の補助 385,000円

放流することで、漁業者の経営安定が図られている。また、天降川の資源 の維持、培養に努め河川浄化の意識高揚につながった。

4		務事 コー		01060	30203010103	事務事業名	漁業資源放流	范支援等	事業(種	重苗放流事業	担担	<u>当</u> 部 当 課		水 <u>産</u> 部 水産課
6				<see></see>		7-76-1					1 <u>E</u>	理由	•	小连环
<u>.</u>	T.	_				車業の音図に終	詰びついています	-tv 2	稚魚の	放流を行うこと	によっ		・ 「の経営安定が	図られ、結果政
		IJ	この事	が争未り	の日的は、基本	事業の息凶に	らい しいていより	יאי :	策体系	に結びつく。				
	L			結びつ	いている									
鼠				間接的	に結びついてに	\ る								
目的妥当性	L			結びつ	いていない									
性	C	2	·この ¹ ·税金	事業をな を投入し	ぜ市が行わなけ て達成する目的	tればならないの ですか?	のですか?		種苗の当であ)漁業	者の経営	安定を図ること	ができるため妥
	r		_	妥当で	<u></u> ある									
	H			 見直す	 ⁻ 必要がある									
	C	<u>බ</u>	は用も	(白しま	る余地(可能性)	(t = 1) ± + 1 . 1							改善や桜島の雪	質火の影響等)
	-	<u>)</u>), t		が整え	ば成果向上余	地はあ	る。		
	L				る余地はかなり									
	L			向上す	る余地はある程	≧度ある 								
	L			向上す	る余地はほとん	どない			1					
В	(4	廃止・	休止の景	/響はありません	か?				放流を中止す 漁獲高が減少		こより,湾口	内の資源の維持	培養が難しくな
B有効性	r		•	影響が	 「ある									
性	H			影響が	 「ほとんどない									
	(1						啓発等)を持つ他(の事務	類似	事業がある場				
	-	J			んか? (市以外の	の主体が実施する	るものを含む。)		合の	事務事業名等				
	_				事業はない									
	_			類似の	事業はあるが、	統合又は連携	できない							
	L				事業があり、統				-t- 244-2th	mi#1) 1811)	, and lest	#	Wil \L 1 1 462 \	
	(6	·事務事 ·補助会	事業の手段	役(やり方)を工夫で 付先に働きかけて	することで、事業費 、市の負担を削減	費を削減できません 或できませんか?	か?	争美質	のほとんどは火	公安 経	質であり、	、削減は難しい。	
	Γ			削減で	きない									
Ç	Γ			削減で	: :きる									
C効率:					殳(やり方)を工夫で	することで、人件費	費(延べ業務時間)を	を削減		は予算執行事	務と放	流の立会	会いのみであり、	削減余地がな
性	1			せんか? 以外の対 応	芯や委託により人作	井費を削減できま	せんか?		い。					
	Γ			削減で	きない									
				削減で	きる									
D	(8				容が一部の受益 負担の公平性が					錦江湾の漁場 である。	に放況	だされ,受	益者は全ての漁	業者であるた
	L		また、		<u>担の公平性から</u> 公正である	唯体されていま	3 70 7		の月週111	. (a) _a				
公平性	H													
<u> </u>	_													
7.	1	次評	P価紀	果 <	PLAN>(組制	決定)	【参考】前:	年度の改	革改善の	方向性≪		継続		>
(1)	事務	事業の	の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	·縮小	連携		統合	休止	廃止
改	善(のた	7向性		0									
					27年度もこの事	L 「業を継続するご	 _とで漁業者の経	営安定	を図る。					
(2) ਹ	ᅜᆏ	27年1	度の改										
革	次	善σ.)内容											
(印)	くり	祖(ンへさ	課題)										
					人公よっの古米	ナ州体上フェー	~海************************************		[27] A					
					今後もこの事業	とを継続すること	:で漁業者の経営	女正を	凶る。					
				度の方										
向位	性・	・取組目標												
8.	2	次計	F価結	果(推	当部長評価)									
				の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携		統合	休止	廃止
改善	善	方向	性											
						I				I			1	I
(2) 彩	総 言	评											

事務	事務事業 0106030203010103		事 務 事業名	漁業	資源放流习	 支援事業(種苗放	流事業)	担当担当		木水産部 務水産課
9. =	コストの	推移								
		(単位:千円)	平成26年	度 (決	(算)	平成27年度	(当初予算)		平成28年度	(計画)
1	報	栖								
2	給	料								
3		手当等								
<u>4</u> 5	共	<u>済 費</u> 系補 償 費								
7		金 金								
8	報	償 費								
9	旅	費								
10 11	<u>交</u> 需	<u>際 費</u> 用 費			0			0		0
''		 耗品費			U			- 0		
	燃									
	食									
		刷製本費								
	修	熱 水 費 善 繕 料								
	賄									
	飼	料 費								
		薬材料費								
12	役逼	務 費 信運搬費			0			0		0
	広									
	手	数料								
	保									
13	委	託 料 引及び賃借料								
14 15		************************************								
16		材料費								
17		財産購入費								
18		購入費			650			050		
19 20	貝担金 扶	^{補助及び交付金} 助 費			658			658		658
21										
22	補償補	填及び賠償金								
23		利子及び割引料								
24 25	積	及び出資金 立 金								
26	寄	 附 金								
27	公	課費								
28	繰	出 金			0.50			CEO		050
	計 国	庫支出金			658 0			658 0		658
B→	特児	支出金			0			0		
財源内訳	特定財源 国側地 そ	方 債			0			0		
別訳	<i>"</i> " そ	の他			0			0		
		般 計			658 658			658 658		658 658
4	+ o	国			000			000		
	甫助率	県								
		基本額								
平成		₹補正・流用も		650		度特定財源内訴		夕私		-
]予算 - 予算		658 0		区分		名称		金額
				_						
				\dashv						
				\dashv						
	流用	・充用								

658

予算合計

合 計

_																				
ľ	1. 基本	情報																		
	事務事	業	01060203	503010103	主	坐 夕	力础让	・木材産業	べくり車	(类					担	当部	農村	木水産部		
	그ㅡ	*	0100020	03010103	尹仂尹:	木口	ノナリ虫V	'小彻压未	フヘソ事	未					担	当課	林	务水産課		
	政策	名	03	活力な	ある産業の	のまちつ	づくり								グリ	レープ				
Г	施策	名	01	農•林	•水産業	の振興	Ļ								電記	話番号				
	基本事	業名	01	農林流	魚業経営	体への	支援								内約	泉番号	-			
Г	予	会計	一般	会計						± ₩		単年度	のみ							
ı	算	款	06	農林石	水産業費					事業 期間		単年度	繰返	(開始年	度					
ı	予算科目	項	02	林業領	費					初申		期間限	定複数	女年度(H25	~	H26)	
	目	目	05	森林塾	整備事業	費				根拠法令·条例等	霧島	市補助金	を等の	種類及	.び補	助率に	.関する	5要綱		
	評価区	分		簡易評	価	評価:	対象	1次評	価	関連計画										

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

鹿児島県の森林資源が充実していきている中、間伐等の森林整備や林業生産活動に伴い生産される県産材の利用を促進することが重要な課題となっている。しかしながら、県産材の利用を促進していくためには、木材加工流通施設等の整備により低コストで安定的に供給できる体制を構築し、外材等に対抗する競争力の強化を図る必要がある。このため、鹿児島県森林整備推進等基金により、間伐材等の県産材の利用を促進し、林業・木材産業の活性化に資するため、木材加工施設・流通機械等の整備を行う。

	1	活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ĺ	ア	力図強い木材産業づくり事業補助金	千円	0	24,250	1,030,884	0	0
I	1							
I	ゥ							

③ 対象指標

(2) 事務事業の目的 ② 対象

	(誰、何を対象にしているのか)	(左記②対象の大きさを表す指標)	+12	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
7	ア 県内の木材関連業者等	木材関連業者等の団体数	団体	0	1	2	0	0
-	ſ							
-	ל							
(意図(②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年 度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
7	P 県産材の利用促進	間伐材等の加工量等の目標数値 の達成	%	-	-	-	100	100

ゥ

1

ト位の其大車業

ı	(3) 上世の本本事末							
	⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年 度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
	ア経営体質が強化される	経営体が施業を実施した面積	ha	490	500	500	500	500
I	1							
I	<mark>ㅎ</mark>							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

木材加工施設・流通機械等の整備を行うことに よって、間伐材等の県産材の利用を促進し、林 業・木材産業の活性化に資すると同時に、新た な雇用の場の提供にも繋がっている。

1	車 4	生曲	ω±	# 22			畄位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
Ė	4,2	K A	, v) 1	止19			丰四	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
4 異葉管の雑移 単位										0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円			422,384	0	0
	業	源内	地	7	5	債	千円			0	0	0
	費	訳	そ	Ø)	他	千円			0	0	0
投			_	般	財	源	千円			251	0	0
量		哥	業	費			千円	0	0	422,635	0	0

5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果

<左記の実績(取組)による成果を記載>

下記の木材加工施設・流通機械等の整備を実施した。

㈱さつまファインウッド かごしま材JAS化流通加工センター新築工事

H25繰越 交付額 608,500,000円 H26 交付額 399,250,000円

前田産業株式会社 チッパー1台 H26 交付額 23,134,000円

(株さつまファインウッド かごしま材JAS化流通加工センターの新築により、加工用材を県内製材工場から調達し、県産材の利用促進がはかられ、県内外への販路拡大 が図られた。

| 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度

前田産業株式会社 チッパーの換装によりチップ生産量と生産効率が向上し、間伐等の県 産材の利用促進が図られた。

Į.	務調		01060	20503010103	事 務 事業名	力強い	木材産	業づく)事業	担担	当当	部課		水産部 水産課	
6.	振り	返り <	SEE>	•							理	由			
	1	この事	務事業の	の目的は、基本	事業の意図に終	吉びついています	ナか?								
			結びつ	いている											
A			間接的	 かに結びついてし	 vる										
的型			結びつ	いていない											
A目的妥当性	2	・この	事業をな	ぜ市が行わなけ	ければならないの	のですか?									
'=		*祝金:	を投入し	て達成する目的	J C 9 70'?										
		_		.める ⁻ 必要がある											
						. 0				-	-	-			
	3	以朱刀	(同上9	る余地(可能性) 	はめりませんだ) · ?									
				る余地はかなり											
				る余地はある程											
		•	回上す	でる余地はほとん	たない										
물	4	廃止・	休止の影	ジ響はありません 	しか? 										
B有効性		_	影響か	である											
'-				ドほとんどない					_						
	5	類似の事業は)目的(対 ありませ	対象・意図) 又は けんか?(市以外の	形態(イベントや!の主体が実施する	啓発等)を持 <mark>つ他</mark> 6ものを含む。)	の事務	類似! 合の!	事業がある場 事務事業名等						
			類似σ	事業はない											
			類似σ	事業はあるが、	統合又は連携	できない									
			類似σ	事業があり、統	合又は連携で	きる									
	6	·事務事 ·補助金	業の手段など、交	役(やり方)を工夫で付先に働きかけて	することで、事業費 、市の負担を削減	貴を削減できません 載できませんか?	か?								
		-	削減で	きない											
C 森			削減で	きる											
C効率性	(7)	事務事できませる		设(やり方)を工夫で	することで、人件費	貴(延べ業務時間)	を削減								
1111	v			なや委託により人	牛費を削減できま	せんか?									
				きない											
L		市政市	削減で	きる 	・老に信ってい	±#/ b o				_	_	_	_		
D 公	8			色担の公平性が											
D公平性		-	公平・	公正である											
<u>'</u>			見直す	がある											
7.	1次	評価結	果 <	PLAN>(組織	(決定)	【参考】前	年度の改善	革改善の方	向性≪					»	
			の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携		統合		休止	廃止	
改割	きの フ	方向性													
					•	•								·	
(2) 革己	平成	t27年月 の内容	度の改												
(取	り組	むべき	課題)												
(3)	平成	28年月	度の方												
向性	≛∙取	組目標	祟												
8.	2次	評価結	果(推	3当部長評価)											
				継続	やり方改善	コフト世本	コスト	続 小	:市##		な ヘ		休止	廃止	
(1)	事務	争業(句性	の改革	7=370	でツク以吉	コスト拡充	コスト	州日八八	<u>連携</u>		統合			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
															\dashv
(2)	総	評													

		1					1	10 vi 40	- нь	11 1. ** **
事務	事業 ード	0106020503010103	事 務 事業名		力強いオ	尽材産業づくり₹	事業 -	担当部担当課		林水産部 務水産課
9. =	ストの	D推移								
		(単位:千円)	平成26年	拝度 (決	· 笪)	平成27年	度(当初予算)		平成28年度	: (計画)
1	報	·····································	1 /2020		·9F/	17227 17	X (10) #/		1 /2/20 1 /2	. (1111)
2	 給	料								
3		員 手 当 等								
4	共	済 費								
5		害補償費								
7	賃	金			255			0		
8	報	賞 費								
9 10	旅									
11	<u>交</u> 需	<u>际</u> 用 費			246			0		0
''	_	<u> </u>			174			0		0
	炒				72			0		
	1									
	_	D 刷 製 本 費								
	_	光熱 水費								
	俏									
	Į.									
	愈	同 料 費 医薬材料費								
12		務費			0			0		0
'-	_				0			0		
	戊									
	月	手数料								
	仔									
13	_ 委	託 料								
14		料及び賃借料								
15 16		事請負費材料費								
17		170 147 頁 「財産購入費								
18		品購入費								
19		金補助及び交付金			422,134			0		
20	扶	助費								
21	貸	付 金								
22		補填及び賠償金								
23		を利子及び割引料								
24 25	投資 積	では 立 金								
26	 寄	<u> </u>								
27	公	課費								
28	 繰	出金								
	計				422,635			0		0
	特旦	国庫支出金			0			0		
財	特定財源				422,384			0		
財源内訳	財漫で				0			0		
訳	[†]	を 般 財 源	1		251			0		
		放りが			422,635			0		0
	Apr -	園			122,000					
*	輔助率	県	事業費:	10/10、事	耳務費:1/2					
補	助	基本額								
平成	26年	度補正∙流用丬	 犬況		平成26年	度特定財源内	訳		<u></u>	
	当	初予算	444,	,107		区分	-	名称		金額

当初予算	444,107
補正予算	-21,472
補正第7号	-21,472
流用・充用	20
予算合計	422,655

区分	名称	金額
県支出金	力強い木材産業づくり事業費	1,030,884
	<u> </u>	1,030,884

1. 基本情報		平原	戊27年度	Ęį	事務	多事業振	返りシー	- -	平成26年度	実施事業の)振返り)		
事務事業					-1.		1.100	,			担当部	農林水産部	В
コード	0106020203010103	事務事	業名 林第	 就労	改割	善推進活動	支援事業	É			担当課	林務水産調	
政策名	03 活力	ある産業の	のまちづくり)							グループ	森林整備ク	ブループ
施策名	/F 4	木・水産業	*****								電話番号	45-5111	
基本事業名	10. 0.00	漁業経営	体への支持	爰					. w L - L		内線番号	2372	
子 会計		水産業費					事業		単年度のみ		F 11	3 年度	-)
算 <u> 款</u> 科 項	00 長杯						期間		│単年度繰返 │期間限定初		ξ П	3 午及)
科目目		^具 振興費					根拠法令·条件	務局	市無別金寺	の 種類及U	補助学に関	りる安綱、	对団法人
評価区分	標準部		評価対象	え	17	欠評価	関連計		<u> </u>	N±9W#	- 全主於細日		
2. 事務事業(の概要・目	的-指標	<do< td=""><td>></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></do<>	>									
(1) 事務事					細を	記述)							
(社会保険制度 林業従事者の社 姶良東部森林紀 (林業退職金加 は業送恵者の社	福利厚生の 組合(9人) 1入促進事業	充実、技術 596, 20 纟補助金)									(8人) 596		学 1
林業従事者の根 就労の長期安定 姶良東部森林組	M業退職金 定化に資する 組合(9人)	共済制度(ることを目) 320, 10	の掛け金の 的とする。 0円 北			成し、当該制組合(34人)					延事者の 就		苦し、
① 活動指標	(事務事業	の活動量	·)					単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア補助金額								千円	5,574	5,696	5,860	6,528	
イ交付対象者								人	101	111	116	111	
ウ (2) 本本本	**												
(2) 事務事	果の日的		3	対象	岩輝				24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(誰、何を対象	東にしている	のか)				の大きさを表	をす指標)	単位	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア 林業従事者			林業従	事者数				人	101	111	116	111	
1													
<mark></mark>													
④ 意図(②対象をどう	うしたいのか))		成果 記④意)達成度を表	テナ指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア就労条件が	改善される		社会保障	食等加え	人対象	 定従事者		人	48	46	45	55	
イ 就労条件が	改善される		退職金制	制度加え	人対象	 東従事者		人	53	52	51	65	
<mark>ウ</mark>													
	+ + + +												
(3)上位の				# + 1	- 11	の世里比り			0.4左连	05年盛	00年度	07年帝	00年度
⑥ 基本事業 (さらにどのよう		びつくのか		— ·		の成果指 の 達成度を表		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア経営体質が	強化される		経営体力	が施業を	実施	じた面積		ha	490	476	457	476	
1													
ウ													
3. 事務事業(法改正や事業を取り				4.	事	業費の推移	3	単位	(決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
平成3年度から	林業従事者	の就労条	:件の改善			国庫	支出金	千円	0	0	0	0	C
による労働力の	/唯保を目的	として 開め	Ħ ₀		事	財県支	出金	千円	0	0	0	0	C
					事業費	源 + +	方 債	千円	0	0	0	0	C
				1	費	内でその	の他	千円	0	0	0	0	C
				投 入		一般	財源	千円	5,574	5,696	5,860	5,950	5,950
				全		事業費		千円	5,574	5,696	5,860	5,950	5,950
				<u> </u>	<u> </u>								
5. 平成26年	中 小 中 体 T	なった 一色 田											

(1) 平成26年度の実績(取組)< 取組内容を数値等により具体的に記載>(2) 平成26年度の成果< 左記の実績(取組)による成果を記載>社会保険制度加入事業
林業退職金共済制度加入促進事業45人 4,369,900円
51人 1,489,600円林業労働力の確保、就労の安定化が図られた。

릑	事務事		01060	20203010103	事務事業名	林業就労	改善推	進活動	支援事業		当 当 課		<u>水産部</u> 水産課			
6.	振り	返り <	(SEE>	•						-	理由	11 323) TO LEVI			
	1	この事	務事業の	の目的は、基本	事業の意図に終	吉びついています	ナか?	林業従	事者の就労条	性の改	・善がかさ	れれば、林業組	経営体の体質			
		_	結びつ	いている				が強化	されるため結び	バついて	こいる。	4 04 01 S (11) X (11 H-7 H-9			
A					 \る											
的				いていない												
A目的妥当生	2			ぜ市が行わなけ		Dですか?		사사사사	24.18241 1 . H	24 FL =	L a the III)	-) 1 -) 1	(白八四烷)の			
Ŧ				て達成する目的	ですか?			改善が	営が厳しい中、 必要であり、新	f規就労						
		_	妥当で					14.0001	ため妥当である) ₀						
	0			必要がある												
	(3)	成果が	向上する	る余地(可能性)	はありませんか	^ ?		継続的 会保険	に支援を行うご等加入対象従	とで、村事者数	林業従事 (の増加か	者の就労条件	が改善され、社会の対象を			
				る余地はかなり				保に繋	がる。							
				る余地はある程												
			向上す	る余地はほとん	どない											
3	4	廃止・作	木止の景	/響はありません	か?			事業体	の負担が増す	ため、ネ	土会保障	等の費用が増	加し、経営を圧			
3月35生		-	影響が	ずある				D 7 0								
I			影響が	「ほとんどない												
	⑤			対象・意図) 又は たんか?(市以外の		啓発等)を持つ他 3ものを含む。)	の事務	類似 合の	事業がある場 事務事業名等							
		-	類似の	事業はない												
			類似の	事業はあるが、	統合又は連携	できない										
			類似の	事業があり、統	合又は連携で	き る										
	6	·事務事 ·補助金	業の手具など、交	役(やり方)を工夫で付先に働きかけて	することで、事業費	を削減できません 或できませんか?	か?	国(担)	\手基金)の事	業で負	担割合1.	/3が決定して	いる。			
		110-23	削減で		V 11-11-702								- 0			
2			削減で	 きる												
C効率生	(・事務事	業の手具	设(やり方)を工夫 で	することで、人件書	貴(延べ業務時間)	を削減	油田 A	交付事務であ	スため	别/4-1-2	ス立の人がおれて				
生	7)	できませ・職員じ		なや委託により人作	牛費を削減できま	せんか?		州 切 並	父刊事務での	るにめ、	, 円1/foX 9 つ	の部分がない。				
			削減で	きない												
			削減で													
Ď	8			容が一部の受益 負担の公平性が				上位組	織補助制度で	あるたる	め、受益権	機会は公平では	ある。			
公平性			公平•	公正である												
±			見直す	必要がある												
·. ·	1次	評価結	果 <i< th=""><th>PLAN>(組織</th><th>决定)</th><th>[参考]前</th><th>年度の改</th><th>鉱改善のプ</th><th>方向性≪</th><th></th><th>継続</th><th></th><th>></th></i<>	PLAN>(組織	决定)	[参考]前	年度の改	鉱改善のプ	方向性≪		継続		>			
٦)	市必	女事 娄 /	カンサギ	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト		連携	4	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	休止	廃止			
		多事業 <i>位</i> 方向性	リ以中	0	(5)万以吉		3/1	게임기	上历	Т	л <u>п</u>					
ر د	ਜ਼ ਰ	戈27年 月	₣₼₼)就労条件の改 能力の確保、向	善を図るため支 上を図る。	援を行う	とともに	、新規就労に対	かかる耳	対組みへの	の支援を積極的	的に行い、林業			
包	女善(の内容														
収	り組	むべき	 議題)													
				林業従事者0	就労条件の改	善を図るため、	林業退職	金制度	や社会保険制	度等の	加入促進	進のため支援を	行う。			
		成28年月 7組目標														
. 1-	/^	., 2														
,	2次	評価結	果(担	当部長評価)												
1)	車器	▼車 类 /	ななり	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	4	流合	休止	廃止			
		務事業の 句性	ソ以甲		・ハ以音	-7717JAJL		4,11,	上1方	i)	76 LJ					
2)	総	評														

事務	事業 ード	0106020203010103	事 務 事業名		林業就党	改割	善推進活動支援	事業		3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3		林水産部 務水産課
9. =	ストの	推移										
		(単位:千円)	平成26年	度(注	夬質)		平成27年度	(当初予算)		亚	成28年度	(計画)
1	報	<u>、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、</u>	1 /2020	12 (1)	/\7F/		17%27172	(40) 37/			×20 1 /Z	(11 11 /
2	<u>報</u> 給					+						
3		1 手 当 等										
4	共	済 費										
5		イ イ グ サート				_						
7 8	<u>賃</u> 報	<u>金</u> 償 費				+						
9	+以 旅					\dashv						
10	交	際費										
11	需	用 費				0			0			0
	消燃	耗品費										
	食											
		刷製本費										
	光	熱水費										
	修	繕 料				_						
	鮪飼	材 料 費 料 費				+						
		<u>科 貸</u> 薬材料費				+						
12	役	務費				0			0			0
	通	信運搬費										
	広											
	手保											
13	<u> </u>					+						
14		- 15 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·										
15		請負費										
16		材料費				_						
17 18		財産購入費				+			\dashv			
19		i Aff / 貝 補助及び交付金			5,8	60		5	,950			5,950
20	扶	助費			-							·
21		付 金				4						
22		填及び賠償金 利子及び割引料				+			\rightarrow			
24		及び出資金				+						
25	積	立										
26	寄	附 金										
27	公	課費				4						
28	繰計	出 金			5,8	60		5	,950			5,950
		庫支出金			0,0	0			0			0,000
財	定県	支 出 金				0			0			
財源内訳	特定財源国 県 地 そ	方 债				0			0			
訳	,	の 他 般 財 源			5,8	60			0 ,950			5,950
	- 1	·····································			5,8	_			,950			5,950
4:	前助率	国										,
		県				Ţ						
		基本額	5 APR									
平成		【補正·流用牡 予質		398	平成20		を特定財源内部 区分		夕升			金額
	補正]予算 予算	6,	0		12	2/1		名称			亚朗
				-								
				\dashv								

流用・充用

予算合計

1. 基本	情報											
事務事	業	01060302	03010104	車	举 夕	海娄沙	 資源放流支援事	工業	(パイロット=	丰 茶/	担当部	農林水産部
<u>П</u>	,	01000002	00010101	サ1カサ	未和日	小木具	到你从人们又1反手	- *	(/ 4/4//	F木)	担当課	林務水産課
政策:	名	03	活力な	ある産業の	のまちく	づくり					グループ	林務水産グループ
施策:	名	01	農•林	•水産業	の振興	!					電話番号	45-5111
基本事	業名	01	農林流	魚業経営	体への	支援					内線番号	2371
予	会計	一般	会計						+ *	□ 単年度のみ		
算	款	06	農林	水産業費	•				事業 期間	■ 単年度繰返 (開始年	F度 H	8 年度~)
予算科目	項	03	水産	業費					利申	□ 期間限定複数年度(~)
目	目	02	水産	業振興費					根拠法令·条例等	霧島市水産業事業補助金	交付要綱	
評価区	分	7	票準評	価	評価:	対象	1次評価		関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

海面漁業者によるヒラメ3,300匹とマダイ27,623匹を隼人町及び国分地先と福山町漁協地先沖合い50mにそれぞれ4月から7月にかけて放流を行う事業の経費について,一部補助を行う。

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 補助金交付団体数		団体	2	2	2	2	2
イ 放流回数		回	4	4	4	4	4
o							
(2) 事務事業の目的							
② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア海面漁業者	海面漁業者数	人	269	269	269	269	269
1							
<mark>†</mark>							
④ 意図(②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度
ア 漁業者の経営安定	霧島市漁獲高	t	465	465	465	465	46
1							
<mark>ウ</mark>							
(3) 上位の基本事業			<u>'</u>			'	
⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度
ア 効率的な生産を行う基盤が整う	放流した稚魚の数	万尾	48	50	50	41	4:
1							
th.							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

年々資源が枯渇していく湾奥の水産資源の維持や増大を図るため、平成8年度より開始された。湾奥に位置する漁場のため水質の悪化、漁業者の高齢化、漁業資源の減少等、漁業者を取り参く環境が悪化しているため、放流事業は継続してほしい(地元漁協)。

4	100 4	計画	ωt	# 1 22			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
ŧ	· 事業費の推移 国庫支出会						中世	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫ま	と出	睁	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	財源内訳	地	ブ	5	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	0)	他	千円	0	0	0	0	0
投 入量			_	般	財	源	千円	194	194	194	194	194
量		哥	業	費			千円	194	194	194	194	194

5. 平成26年度の実績及び成果

<取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果 (1)平成26年度の実績(取組)

ヒラメ3,300匹とマダイ27,623匹を隼人町及び国分地先と福山町漁 放流することで、漁業者の経営安定が図られた。協地先沖合い50mに放流した。

듹	事務	事業 −ド	01060	30203010104	事 務 事業名	漁業資源放流	ī支援)	事業(バ	イロット事業	担当部担当課		水産部 水産課
6.	振り	返り <	(SEE>	•						理由		
	1	この事	務事業の	の目的は、基本	事業の意図に終	古びついています	か?		放流することに う基盤が整うの			がり効率的な生
			結びつ	いている								
自			間接的	に結びついてに	いる							
的妥			結びつ	いていない								
A目的妥当性	2	·この事 ·税金る	業をなた投入し	ぜ市が行わない て達成する目的	ければならないの りですか?	のですか?			放流事業により する湾奥の活情			ができ、霧島市である。
		•	妥当で	ある								
			見直す	 がある								
	3	成果が	向上す	る余地(可能性)) はありませんか	۵۸.		事業目	的以上の成果	向上余地はない	,,	
			向上す	る余地はかなり	Jある							
			向上す		星度ある							
			向上す		しどない							
	<u>(A)</u>	廢止•位	木止の暑	ジ響はありません	(.h)?				放流を中止する		内の資源の維持	寺培養が難しく
B有効性	<u>•</u>							なり、ま	た漁獲高が減	少する。		
効性			影響が									
		おかりの		ばとんどない	ひ能 / ノギン 」 ゆ	きゃく ナセヘル	の声数	₩ 5 /N	事業がも7個	1		
	5			る。息凶)又はたんか?(市以外		啓発等)を持つ他の ものを含む。)	の事務	類似合の	事業がある場 事務事業名等			
			類似の	事業はない								
			類似の	事業はあるが、	統合又は連携	できない						
				事業があり、紡						_		
	6	·事務事 ·補助金	業の手段など、交	役(やり方)を工夫 付先に働きかけて	することで、事業費、 市の負担を削減	費を削減できません 載できませんか?	か?	【参考: 事業費	昨年度の内容 のすべてが放え	】 流時の用船代等	いであり、削減に	は難しい。
			削減で	きない								
C効率			削減で	きる								
率性	7	できませ	んか?			費(延べ業務時間)る	を削減	人件費 い。	は予算執行事	務と放流の立会	 合いのみであり,	削减余地がな
.—		・職員以		さや委託により人	件費を削減できま	せんか?						
			削減で									
Ď	8			容が一部の受益 負担の公平性が				放流さ	を支給するのに れるため,受益			は公共の漁場に 音等広く市民と
公平性			公平•	公正である				なる。				
性			見直す	必要がある								
7.	1次	評価結	果 <	PLAN>(組制	(決定)	【参考】前:	年度の改	首改善の	F向性≪	継続		>
(4)	± 2	左丰业 。	n 7L #	継続	カリナル美						休止	廃止
		务事業の 方向性	り改革	0	やり方改善	コスト拡充	17.	縮小	連携	統合		35_
					 業を継続する	 	世安定	が図られ	1ろ			
		成27年月	度の改	21 - 12 0 - 2 7 3	- X 2 MENUL 7 S			м. Регоди	0.20			
(取	り組	の内容 lむべき	課題)									
				28年度もこの事	耳業を継続するご	ことで漁業者の経	営安定	が図られ	いる。			
(3)	平月	成28年月	度の方									
向性	生・耳	以組目標	Ē									
8	2次	評価結	里 (担	当部長評価)								
				継続		コフト世本	771	続小	連携	統合	休止	廃止
		务事業の 向性	ソ以手	•	やり方改善	コスト拡充	171	縮小	建捞	机百	.,	
										1	<u> </u>	
(2)	総	評										

事務コ	事業 ード	0106030203010104	事務事業名	漁業	資源放流	支援事業(パイロ	コット事業)		当部		水産部 水産課
9. =	コストの	推移									
		(単位:千円)	平成26年	度(決	(算)	平成27年月	支 (当初予算))	平成2	8年度((計画)
1	報										
2	給										
3		1 手 当 等									
4	共	済費									
5 7	<u>災</u> 責	補 償 費金						-+			
8	<u>导</u> 報							+			
9	旅	費									
10	交	際費									
11	需	用費			0			0			0
	/A 燃	耗品費料費									
	食							$^{+}$			
		刷製本費									
	_	熱水費									
	修賄	# 料 樹材 料 費						-+			
	飼	<u>M 科 質</u> 料 費									
		薬材料費						\dashv			
12	役	務 費			0			0			0
		信運搬費									
	広手							-			
	保							-+			
13	委	託 料									
14		4及び賃借料									
15		請負費									
16		材 料 費 財産購入費						-			
18		ッ <u>産 無八員</u> ・購入費									
19		補助及び交付金			194			194			194
20	扶	助費									
21		付 金						_			
22		填及び賠償金 利子及び割引料						-+			
24		及び出資金									
25	積	立 金									
26	寄	附 金									
27 28	<u>公</u> 繰	課 費 出 金						-			
20	計	ш 亚			194			194			194
		庫支出金			0			0			
財	定県	支 出 金			0			0			
財源内訳	財源を	庫支出金支出金方債の他			0			0			
訳		<u>の</u> 般財源			194			194			194
	,	計			194			194			194
ż	甫助率	国									
		県									
		基本額	420		W choo h	- 由杜古弘海土	\$ 0				
半成		補正∙流用 ∜ 〕予算		194	平成26年	医特定財源内 区分	武	名称			金額
	補正			0				□ 10°			프 리옷
				_	-					+-	
				-						+-	
										4	
					-					+	

流用・充用

予算合計

194

1. 基本	情報									
事務事	業	01060202	02010104	- 	カンデリ	まの特用林産物絲	(本学性人)	长	担当部	農林水産部
Ī	ド	01000202	03010104	がサネな	134CC	より竹用が生物層	SINNT	卡	担当課	林務水産課
政策:	名	03	活力ある	る産業のま	うづくり				グループ	林務水産グループ
施策:	名	01	農•林•	水産業の振	興				電話番号	45-5111
基本事	業名	01	農林漁	業経営体〜	の支援				内線番号	2371
子	会計	一般	会計				**	□ 単年度のみ		
算	款	06	農林水	産業費			事業 期間	■ 単年度繰返 (開始年	F度 H	25 年度~)
予 算 科 目	項	02	林業費				初申	□ 期間限定複数年度((~)
Ħ	目	02	林業振り	興費			根拠法令·条例等	霧島市補助金等の種類及	なび補助率に関	引する要綱
1 評価区	分	,	煙淮評佣	fi 重亚·	正 対象	1次評価	関連計画			

<Do> 2. 事務事業の概要・目的・指標

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島市は、しいたけ、センリョウ、たけのこなど、県内でも有数の特用林産物の生産地であり、特産品として山村地域の活性化や「観光霧島」の発展に貢献している。 しかしながら、現在、特用林産物の生産を取り巻く環境は、生産者の高齢化、安価な外国産の輸入、生産様式等の変化に伴う需要の減少など厳しい状況にある。 今後、生産量の維持・向上を図るためには、生産基盤の整備により、生産体制の効率化を推進する必要がある。

1	活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア	生産基盤等整備事業		千円	(5 0)9()	1,150	731	243	500
1								
ゥ								
(2	2) 事務事業の目的							
_	・ 対象 誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年 度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	しいたけ振興会	会員数	人	25	25	23	23	23
1	センリョウ振興会	会員数	人	22	19	18	18	18
ゥ	たけのこ部会	会員数	人	25	26	22	22	22
_) 意図 ②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア	しいたけ生産量が増大する	乾しいたけ生産量	Kg	29,125	27,293	29,012	30,000	30,000
1	センリョウ生産量が増大する	センリョウ生産量	Kg	46,708	47,876	60,911	50,000	50,000
ゥ	たけのこ生産量が増大する	たけのこ生産量	Kg	34,144	30,749	23,386	30,000	30,000
(3	3)上位の基本事業							
_	基本事業の意図 さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	経営体質が強化される	経営体が施業を実施した面積	ha	490	500	500	500	500
1								
ゥ								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

生産者の高齢化、安価な外国産の輸入、生産様式等の変化に伴う需要の減少など、特用林産物の生産を取り巻く環境は厳しい状況にある。その中、霧島市の生産者は、県の『かごしま農林水産物認証制度』を受けるなどし、安心・安全な県産特用林産物の供給体制づくりに努めている。

4.	事	类費	の	隹移			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
								(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫3	と 出	金	千円			0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円			442	161	335
	事業費	財源内訳	地	7	5	債	千円			0	0	0
	費	訳	そ	0)	他	千円			0	0	0
投入量			_	般	財	源	千円			220	80	165
量		哥	業	費			千円	0	0	662	241	500

5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果

事業主体:霧島市椎茸振興会

事業主体:霧島市椎茸振興会 事業内容:運搬機器 1台=637,200円 連搬機器 1台=471,960円 真空パック機 1台=220,320円 事業費合計 =1,329,480円 歳入(県補助額= 442,000円) (市補助額= 220,000円) (その他= 667,480円) 歳出 補助合計=1,329,480円

・運搬車や真空パック器により生産の効率化、生産量の維持が図られた

Ę	事務	事業 -ド	01060	20203010104	事務事業名	かごしまの特	持用林彦	を物総 合	分 対策事業	担担		部 課	農林2	k産部 k産課
6.	振り	返り <	SEE>		7 515 E					1=	理	由	111137	八生味
	_				事業の意図に終	古びついています	ナか?	生産組織を	職への支援に よって、生産量	より経営	営体の 上・向	基盤を国	図り、また、	生産基盤等の
			結びつ	いている				びつい	ている。	₹^>\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	, I-1-	LC_L/ E		-101EVE(CND
A]に結びついてい	 \る									
的				いていない										
A目的妥当性	2	・この	事業をな	ぜ市が行わなけ	ればならないの	のですか?			産物の振興は	、山村	地域の)活性化	や観光霧	島の発展につ
性			_ ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	て達成する目的	ですか?			なかり妾	当である。					
			妥当で	'める '必要がある										
	<u> </u>				<i>(++1)++/+</i>									補助事業を受
	3)			る余地(可能性)		N ?		けること	が可能になり、	生産性	生の向	上につた	ょがる。	
				る余地はかなり										
				る余地はある程										
	_	_		る余地はほとん				補助金	を廃止した場合	今 価格	各が低	迷してい	ス中 生産	を活動の維持・
B 有	4	廃止・1	休止の影	ど響はありません	<i></i> か?				困難になる。	- 1 mill	пи ю	.X=0 (1	V 1 (12/2	E1D 393 -> //E1 1
B有効性			影響が	ある										
1.			***	ほとんどない										
	⑤			†象・意図)又は んか?(市以外の		啓発等)を持つ他 ものを含む。)	の事務	類似 ³ 合の ³	事業がある場 事務事業名等					
			類似の	事業はない										
			類似の	事業はあるが、	統合又は連携	できない								
			類似の	事業があり、統	合又は連携で	きる								
	6	·事務事 ·補助金	■業の手段 会など、交	设(やり方)を工夫で付先に働きかけて	することで、事業費、市の負担を削減	費を削減できません 或できませんか?	いか?		を廃止した場合 困難になる。	合、価格	各が低	迷してい	る中、生産	を活動の維持・
		-	削減で	きない										
C 効			削減で	きる										
率性	(7)	・事務事できませ	業の手段	设(やり方)を工夫で	することで、人件費	貴(延べ業務時間)	を削減		の申請や交付 削減はできな		どを東	必要最小	限の職員	で業務を行っ
II		•職員以	人外の対応	なや委託により人体	井費を削減できま	せんか?								
			削減で											
		車数車	削減で	きる <mark>容が一部の受益</mark>	・子に行っている	±++ (-h-2		機器の関	構入にけ 受え	公 考台:	担1/9	があり	すた 機男	の共同利用規
D 公	8			担の公平性が					産組織内で設				5.7C(1)3.7HI	*>>>\\ \dagger\ \dy\ \dy\
公平性			公平・	公正である										
			見直す	·必要がある 										
7.	1次	評価結	果 <	PLAN>(組制	快定)	【参考】前	年度の改革	本改善の方	向性≪					»
(1)	事刻	多事業の	の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	 連携	á	統合		休止	廃止
改善	善 の	方向性		0										
				・必要かつ有効	な生産基盤等	の整備を実施し	、安定的	な生産基	甚盤の確立を[図る。				
		龙27年 原												
		の内容 むべき												
				•特用林産物生	産組織を通じ	て、「かごしま特月	用林産物	総合対策	策事業」の制度	度の周知	印をは	かる。		
(0)	\ TI =	₿ 00Æ5	± 0 +											
向性	生•耶	成28年原 双組目標	受の力											
8.	2次	評価結	果(担	当部長評価)										
<u>(1)</u>	事系	多事業(の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	á	統合		休止	廃止
改割	善方Ⅰ	向性												
										-		•		
,		==												
(2)	(総	評												

事務	多事業 一ド	010602020301010	事務事業名	b	いごしまの特	用林産物総合	対策事業			農林水産部 林務水産課	\exists
9. =	コストの	推移							·		
		(単位:千円)	平成26年	度(》	 夬算)	平成27年	度 (当初予算))	平成28年	度(計画)	Ī
1	報										_
2	給	料									╛
3		手 当 等									
4	共	済費									_
5 7		子補 償 費 金									\dashv
8	<u>具</u> 報	<u></u> 償 費									\dashv
9	<u>旅</u>	費									\dashv
10	交	際費									
11	需	用費			0			0			0
	消燃	耗品費 料費									\dashv
	食										\dashv
		刷製本費									=
	光										
	修										
	賄										_
	飼医	料 葉材料費									\dashv
12		務費			0			0			0
		信運搬費									
	広										
	手										_
12	保	険料 託料									\dashv
13	委 	<u></u> 正 科 以 賃 借 料									\dashv
15		請負費									\neg
16		材料費									
17		財産購入費									_
18		購入費			CCO			0.41			-00
19 20	技 技	対 費			662			241			500
21		付 金									\dashv
22		填及び賠償金									
23		利子及び割引料									
24		及び出資金									_
25 26	<u>積</u> 寄	<u>立</u> 金 附 金									\dashv
27	公	課費									\dashv
28	繰	出 金									
	計				662			241		5	500
	特国	庫支出金			0			0			
財源	特定財源	支 出 金 方 債			442			161		3	335
財源内訳	源を				0			0			\dashv
訳		般 財源			220			80		1	165
		計			662			241		5	500
*	補助率	国			1 /0			1 /0		-	/0
補		基本額			1/3			1/3		1	1/3
		<u>坐 平 照</u> 【補正・流用:	比 湿		平成26年		電視				
1 1-55]予算	V \ (1/4)	0	1 199,204	区分	· iii N	名称		金額	
	補正	予算		732	県支出金		かごしまの特用材		合対策事業費		142
		E第3号		732							\Box
				_	-				-		\dashv
				-							\dashv
				\dashv							\dashv
			1	- 1	1		1				- 1

コかり	U
補正予算	732
補正第3号	732
流用・充用	
予算合計	732

区分	名称	金額
県支出金	かごしまの特用林産物総合対策事業費	442
	合 計	442

1. 基本	情報										
事務事	業	0106020	202010201	主	学 夕 ね	北)首年	幹維持管理事業			担当部	農林水産部
	ド	0100020	003010201	争协争	**1	小坦玉	F推打日任尹未			担当課	林務水産課
政策:	名	03	活力	ある産業の	のまちづ	づくり				グループ	森林整備グループ
施策	名	01	農•材	木・水産業 オンティング	の振興					電話番号	45-5111
基本事	基本事業名 02 生産基盤の整備							内線番号	2361		
予	会計	一般	会計					+ *	□ 単年度のみ		
算	款	06	農林	水産業費				事業期間	■ 単年度繰返 (開始 ⁴	年度	S 23 年度~)
予 算 科 目	項	02	林業?	費				初申	□ 期間限定複数年度	(~)
H	目 目 03 林道事業費					根拠法令·条例等	林道管理条例				
評価区	評価区分 標準評価 評価対象 1次評価			1次評価	関連計画						

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

市が管理している林道・作業道・作業路の維持補修工事、除草、保守点検など、林道機能の維持や通行の安全を図ることにより、森林整備の推進や木材搬出経費の削減を図る。 森林施業の管理などで林道を利用する際にパトロールを兼ねて林道の現状を確認し、維持管理上、危険と判断した箇所について補修工事や除草を実施。

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 林道等の修繕箇所数		箇所	23	23	19	30	30
イ 林道藪払い委託延長		m	102,245	120,606	116,220	146,000	14,600
ウ 林道保守点検		路線	89	89	93	92	95
(2) 事務事業の目的							
② 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 霧島市が管理する林道等	市が管理する林道の路線数	路線	89	89	93	92	9:
イ 霧島市が管理する林道等	市が管理する林道延長	m	178,199	178,199	183,057	181,023	181,02
<mark></mark> ф							
④ 意図(②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア 適切に管理される	林道利用に関する苦情	件	32	37	35	25	2
1							
<mark>ウ</mark>							
(3) 上位の基本事業							
⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア 効率的な林業生産基盤が整う	林業生産基盤(林道)の整備率	m/ha	5.4	5.4	5.5	5.5	5.
1							
<mark>ウ</mark>							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

林道は森林管理を図る上で重要な社会基盤であり、市(及び県)が昭和23年頃から整備を進め、その維持管理を行う事業として本事業が開始された。 林道の舗装がされるようになり、施業に利用する人だけでなく、集落間の移動に利用する人が増えたため、生活路線としての意味合いが出てきたい、の、生活路線としての意味合いが出てきため、一般利用者から交通安全対策等の強化の要望が増えてきている。

4.	事業	世 書	の‡	隹移			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
								(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫は	と出	金	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	5,460	0	0	0	0
	事業費	財源内訳	地	7	5	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	0)	他	千円	0	0	0	0	0
投入量			_	般	財	源	千円	18,637	19,925	19,733	15,653	15,653
量		事	業	費			千円	24,097	19,925	19,733	15,653	15,653

5. 平成26年度の実績及び成果

<取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果 (1)平成26年度の実績(取組)

林道等の修繕箇所数 19箇所 林道藪払い委託 116,220m 保守点検を行った路線数 93路線 林道の適切な管理ができ、利用者の安全が守られた。

틕	事務・	事業 -ド	01060	20303010201	事 務 事業名	林追	等維 持	寺管理事	業			水産部 水産課
6.	振り	返り <	(SEE>	•						_	<u> </u>	
	1	この事	務事業の	の目的は、基本	事業の意図に終	吉びついていま す	ナか?	林道の機		全確保が図ら	耳、除草、保守点 れ、それにより系	検を行うことで、 森林整備の推進
			結びつ	いている				M-M1041	2/このか0	7V . CV . D ₀		
			間接的	向に結びついてに	いる							
的妥			結びつ	いていない								
A目的妥当性	2	·この事 ·税金	事業をな を投入し	ぜ市が行わなけて達成する目的	ればならないの ですか?	のですか?		林道の維	持管理は市	の役割である	ため妥当である	2
			妥当で	きある								
			見直す	⁻ 必要がある				1				
	3	成果が	向上す	る余地(可能性)	はありませんか), 5		林道の機。	能及び安全	の維持が目的	」であるため、必	要不可欠である
			向上す	る余地はかなり	Jある			1				
			向上す	 る余地はある程	 程度ある			1				
			向上す	 う余地はほとん	 どない			1				
	4)	廃止・(木止の景	5響はありません	ルか?			森林整備	前の停滞、山間	引集落の衰退	につながる。	
B有効性	_		影響か					1				
性				 「ほとんどない				-				
	(5)	類似の	目的(対	対象・意図) 又は		啓発等)を持つ他	の事務	類似事	業がある場			
	3)			しんか?(市以外(の主体が実施する	ものを含む。)		合の事 類似事業	務事業名等			
				事業はない		-1.1.		規以爭才	e/4.U			
				事業はあるが、				-				
_		± 7/2 ±		事業があり、統			4,0	林道をな	:付税対象レナ	る古道に認っ	セオスかど 硅割	協設管理課と
	6	・補助金	まの手具など、交	付先に働きかけて	することで、事業質、市の負担を削減	費を削減できません 或できませんか?	אמע.?	連携し、	事業費の削減	なを図っており	定するなど、建設 これ以上の削減	はできない。
			削減で	きない								
C効率			削減で	きる								
率	7	できませ	んか?			費(延べ業務時間)	を削減	簡易な維費削減に	『持管理につり 『適正な林道』	ハては職員で の維持管理上	対応しているが :、困難である。	、これ以上の経
		•職員以		さや委託により人作 きない	午賞を削減できま	せんか?						
			削減で					1				
D	8			容が一部の受益 負担の公平性が						、作業従事者 ため公平・公		用者であり、林道
公平			公平・	公正である								
性			見直す	- 必要がある								
7.	1次	評価結	果 <	PLAN>(組制	战决定)	[金表]前	年度の改	革改善の方に	5# ≪	継級		»
(4)	± 2	σ±₩	n 74 ##	継続	やり方改善	コスト拡充	1	~縮小	連携	統合	休止	廃止
		务事業 <i>位</i> 方向性	り改革	0	つり万以書	コスト拡充	171	一种的小	建烷	机口	=	7.5
					 ールを強化し、I	 藪払い・支障木の	 D除去・	排水性能	の確保などを	<u> </u> 適正に行い、	 通行に支障の無	【 いよう取り組む
(2)	\ \17 =	龙27年 月	± ∧⊐h	0		~			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
革司	女善(の内容										
(JX	り組	むべき										
				市が管理する	林道•作業道•	作業路等を適正	にパトロ	ュールし、(を 経筒	期に依頼し	計画的か除草体	主業を行い 利
						、森林整備の推					11 111 2 3 3 13 1 1 1	I ACCITION OF THE
		成28年月 双組目標										
1. 3 1.	1/	м — 12	•									
8.	2次	評価結	果(推	当部長評価)								
(1)	事系	多事業の	おおの	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	~縮小	連携	統合	休止	廃止
		向性	- 4.									
					I	I				1		1
(2)	総	評										

事務事業コード	0106020303010201	事務事業名		林道等	維持管理事業	<u> </u>	担当部担当部		林水産部
9. コストの)推移						J	113	2377 VIII W
	(単位:千円)	平成26年	度(決	算)	平成27年	度 (当初予算)		平成28年度	(計画)
1 報	州画								
2 給	料								
	員 手 当 等								
4 共 5 災 行	済 費 害補償費								
7 賃	金								
8 報	賞 費								
9 旅	費								
10 交	際費								
11 需	用費			6,748		4	,791		4,791
/F	月 耗 品 費 然 料 費			142 681			86 705		86 705
£				001			703		100
_	1別製本費								
커	允 熱 水 費								
催				5,925		4	,000		4,000
Ħ									
愈	同 料 費 医薬材料費								
 12 役	務費			0			0		C
	通信運搬費								
戊	告 料								
手									
(5)				0.050			0.00		0.000
13 委 14 使用	託 料 料及び賃借料			9,270 2,976			,362		8,362 2,000
	事請負費			2,910			,000		2,000
	材料費			739			500		500
	財産購入費								
	品購入費								
	全補助及び交付金								
20 扶 21 貸	助 費 付 金								
	補填及び賠償金								
	全利子及び割引料								
	及び出資金								
25 積	立 金								
26 寄 27 公	附 金 課 費								
27 公 28 繰	出金								
計				19,733		15	,653		15,653
5 5	国庫 支 出 金			0			0		
財源内 特定財源 	支出金			0			0		
財源内訳を対象を	か 方 債			0			0		
=	t の 他 般 財 源			19,733		15	,653		15,653
	計			19,733			,653		15,653
ᅓᅲ	雨								
補助率	県								
補助	•								
	隻補正 •流用状				度特定財源内				
	初予算	20,1		2	区分		名称		金額
(相)	正予算		0						
			\dashv						
			_						
			\dashv						
			-						

流用・充用

予算合計

15,628

		平成27年周	き 事	務事業振	返りシー	- -	平成26年度	実施事業0)振返り)		
1. 基本情報	极								担当部	農林水産音	7
事務事業コード	0106030303010201	事務事業名		事業					担当部	展	
政策名	03 活力	ある産業のまちづく)						グループ	林務水産調	
施策名	01 農・木	木・水産業の振興						- T	電話番号	0995-45-5	111
基本事業名		基盤の整備							内線番号	2371	
子 会		L. 수 씨 #			事業		単年度のみ		-	→ HП.	
予算 割 項		水産業費			期間		単年度繰返		Ę	不明	
目 目		<u>乗貨</u> 管理費			根拠法令・条例	_	期間限定複	愛子及 (~)
	標準記		東	1次評価	関連計						
	美の概要・目										
		具体的なやり方、手		お記述)							
① 活動指	漂 (事務事業	(の活動量)				単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア市が管理・	する永浜漁港、	国分漁港の維持管理費	Ł.			千円	460	460	460	460	1,000
1											
ウ											
	1 巻 ヘ 口 が										
(2) 事務 ② 対象	手来の日的	2	対象指	-to-			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	象にしている			7条 ・象の大きさを表	まおお煙)	単位	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア漁業者	300000		漁業者数		() 10/15/						
/		2/無径0	/ 供 来 有 纷			人	46	42	40	40	40
1											
ウ											
4) 意図		5	成果指	·桓			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	ごうしたいのか			図の達成度を表	長す指標)	単位	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア安全に漁	巻を使用できる	2漁港の	漁獲高			百万	29	44	35	40	40
										- 10	- 10
1											
ウ											
(3) 上位(の基本事業	<u>'</u>									
⑥基本事	業の意図	7	基本事	業の成果指	票	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(さらにどのよ	こうな成果に結	びつくのか) / (左	記⑥意图	図の達成度を表	長す指標)	中世	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア経営体質	が強化される	放流した	上稚魚の数	¢		万匹	48	50	50	41	41
1											
ウ											
			1				0.45	05 fz fz	20/5	07.F. F	20/5/5
		と・市民意見等 市民や議会などからの意見等	4. 4	事業費の推利	3	単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度	28年度
		だけでなく余暇活動		国庫	支出金	千円	(伏昇)	(仄昇)	(次昇)	(計画)	(計画)
として使用す	るプレジャース	ドートの所有者からも	\ 		出金	千円			6,190	0	0
悪港の維持官	3 生の継続を	要望されている。		事 財 県 支 州 ル ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<u> </u>	千円			0,100	0	0
				事業費 財源内訳	の他	千円			0	0	0
			投		財源	千円			8,609	450	1,000
			投 入 量 _	事業費		千円	0	0	14,799	450	1,000
5 या चौरावर्	F度の実績』	みょく 武田									

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

(2)平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

市が管理している永浜漁港と国分漁港の漁船案内灯の修繕と看板の修繕等を行った。

漁船やレジャーボートが漁港内外を安全に航行することができるようになった。また、漁港内の看板を修理することで、漁港を使用する漁業者や 遊漁船等の所有者同士のマナーやルール等の周知徹底に成果が上がった。

		事業 ード	0106030303	010201	事 務 事業名	漁	魚港管理事	業		<u>当</u> 部 当 課		木水産部
6.	振り	J返り <	SEE>		7				11=	理由		77八三叶
				は、基本語	事業の意図に約	きびついています:		を管理することで 結びついている。	、漁業	者が安々	心して漁を行え	こるので、基本事
	<u> </u>		結びついてい				*C	ψα O. ⊃v. Cv⊘°				
A	\vdash		間接的に結び									
一般	H		結びついてい									
目的妥当性		- -このii	事業をなぜ市が	行わなけ	ればならないの	Dですか?	市で	管理している漁港	きであり	、漁業者	針の所得向上に	こもつながるので
性	2	•税金	を投入して達成	する目的	ですか?		妥当	である。				
	<u> </u>		妥当である									
H	_		見直す必要が	いある			5日7 5日7	れた予算の中で、	是 任 KE	の放送	(学が行われて	**** 十担性**
	3	成果が	向上する余地	(可能性)	はありませんか	٧?		を行わない限り向				. わり、八兄保は
			向上する余地	はかなり	ある							
			向上する余地	はある程	!度ある							
			向上する余地	はほとん	どない							
В	4	廃止∙ℓ	木止の影響はあ	ありません	か?			すると漁港の修繕 で影響がある。	善ができ	なくなり	、使用できなく	くなる可能性があ
B 有 効		-	影響がある									
性			影響がほとん	どない								
	(5)					啓発等)を持つ他の	の事務	似事業がある場 の事務事業名等				
		事未16	ありませんか? 類似の事業は)土体が美施する	ものを含む。)		の事務事業有等				
	-				<u></u> 統合又は連携	できかい						
	-				州日スは建協 合又は連携でき							
Н	<u></u>						か? 市が	管理する漁港を	安全に使	吏用して	もらうための必	公要最低限の予
	6	·補助金	など、交付先に個	動きかけて	、市の負担を削減	きを削減できませんが ずできませんか?	算で	あり削減は困難。				
	_		削減できない									
C 効	L		削減できる				+	笠田-ナフ海洲-マ	k to skillsH	*)-L III ##		
率性	7) できませ	「業の手段(やりだ んか? し外の対応や委託			費(延べ業務時間)を サんか?	削減	管理する漁港で	めり目が	(化上四)期	0	
	H	・戦員と	削減できない		F 負を削減 (できま)	せんか:						
	┝		削減できる									
H	8	± 75 ±	業の内容が一	部の受益	者に偏っている	ませんか?	漁港	は市民のすべて	が利用	できるの	で、公平公正	である。
D 公	9			公平性が	確保されていま	すか?						
		また、										
D公平性		また、	公平・公正で									
平性		また、										
_	<u>_</u>	************************************	公平・公正で	ぶある	決定)	【参考】前年	F度の改革改善	の方向性≪				»
7.	1次	************************************	公平・公正でる 見直す必要か 果 <plan< th=""><th>ぶある</th><th>決定) やり方改善</th><th>【争考】前年</th><th>F度の改革改善 コスト縮小</th><th></th><th>糸</th><th>統合</th><th>休止</th><th>≫ 廃止</th></plan<>	ぶある	決定) やり方改善	【争考】前年	F度の改革改善 コスト縮小		糸	統合	休止	≫ 廃止
7. (1	1次)事	『また、』	公平·公正で 見直す必要か 果 <plan D改革</plan 	である <mark>>(組織</mark>					彩	在合	休止	
7. (1	1次)事	また、 □ □ □ ズ評価結 務事業の	公平・公正でを 見直す必要か 果 <plan D改革</plan 	、ある <mark>>(組織</mark> 迷続	やり方改善		コスト縮小	連携				
<mark>7.</mark> (1 改	1次)事 う 善の	また、 □ □ □ ズ評価結 務事業の	公平·公正でる 見直す必要か 果 <plan D改革 ^総 漁港</plan 	、ある <mark>>(組織</mark> 迷続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携				
7. (1改 (2革	1次) 事 の ア 戸 き	水評価結務事業6	公平・公正でを 見直す必要か 果 <plan D改革 ^総 漁港</plan 	、ある <mark>>(組織</mark> 迷続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携				
7. (1改 (2革	1次) 事 の ア 戸 き	また、	公平・公正でを 見直す必要か 果 <plan D改革 ^総 漁港</plan 	、ある <mark>>(組織</mark> 迷続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携				
7. (1改 (2革	1次) 事 の ア 戸 き	また、	公平・公正でを 見直す必要か 果 <plan D改革 漁港 集の改 課題)</plan 	> (組織 O ②を使用す	やり方改善 る漁業者やプロ	コスト拡充	コスト縮小	連携	こ維持令	管理する	5.	
7. (1改 (2 革(耶	1次)事務) 平原善) 平原善	また、。 「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、」 「「日本のでは、「日本のでは、」 「日本のでは、「日本のでは、」 「日本のでは、」 「日本のでは、	 公平・公正でを見直す必要かり 果 < PLAN かられる 漁港 まの改 漁港 ままり 	> (組織 O ②を使用す	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	こ維持令	管理する	5.	廃止
7. (1改 (2 革(取	1次) 事の) 改り り 平 所 善	また、	公平・公正でで見直す必要か 見直す必要か 果 <plan D改革 漁港 度の改 課題)</plan 	> (組織 O ②を使用す	やり方改善 る漁業者やプロ	コスト拡充	コスト縮小	連携	こ維持令	管理する	5.	廃止
7. (1改 (2 革(取	1次) 事の) 改り り 平 所 善	また、	公平・公正でで見直す必要か 見直す必要か 果 <plan D改革 漁港 度の改 課題)</plan 	> (組織 O ②を使用す	やり方改善 る漁業者やプロ	コスト拡充	コスト縮小	連携	こ維持令	管理する	5.	廃止
7. (1改 (2 革(取	1次) 事の) 改り り 平 所 善	また、	公平・公正でで見直す必要か 見直す必要か 果 <plan D改革 漁港 度の改 課題)</plan 	> (組織 O 漁港に	やり方改善 る漁業者やプロ	コスト拡充	コスト縮小	連携	こ維持令	管理する	5.	廃止
7. (1改	1次)善)改りり性・耳	また、	公平・公正でを見直す必要が 果 <plan の改革 漁港 まの改 課題)</plan 	> (組織 O を使用す	やり方改善 る漁業者やプロ	コスト拡充	コスト縮小	連携	こ維持令	管理する	5.	廃止
7. (1改) (2革(耶)	1次 事の)改りり性・耳 (2次)	また、	公平・公正でで見直す必要かり。	> (組織 O を使用す	やり方改善 る漁業者やプロ	コスト拡充	コスト縮小	連携	こ維持な	管理する	5.	廃止
7. (1改) (2革(耳) (3向) (1	1次 事の 平善組 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	また、	公平・公正でで見直す必要かり。	(ある) > (組織	やり方改善 る漁業者やプロ のいては、補助型 と取り組みが必	コスト拡充	コスト縮小 有者の使用に	連携	こ維持な	管理する	的な整備計画	廃止
7. (1改) (2革(耳) (3向) (1	1次 事の 平善組 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	また、	公平・公正でで見直す必要かり。	(ある) > (組織	やり方改善 る漁業者やプロ のいては、補助型 と取り組みが必	コスト拡充	コスト縮小 有者の使用に	連携	こ維持な	管理する	的な整備計画	廃止
7. (1改) (2革(耳) (3向) (1	1次 事の 平善組 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	また、	公平・公正でで見直す必要かり。	(ある) > (組織	やり方改善 る漁業者やプロ のいては、補助型 と取り組みが必	コスト拡充	コスト縮小 有者の使用に	連携	こ維持な	管理する	的な整備計画	廃止

	事業	0106030303010201	事。務		治	港管理事業		担当普		林水産部
□-	ード	0100030303010201	事業名			心目垤爭未		担当記	林	務水産課
9. ⊐	ストの	推移								
		(単位:千円)	平成26年	唐 (汝)	質)	亚成27年6	度 (当初予算)		平成28年度	: (計画)
	40		十八,204	- 及(次:	기 /	十八八二十二	文 (370) 分子/		十八八二十八	
1	報	栖								
2	給	料								
3	<u></u>	手 当 等 済 費								
5		済 費								
7	<u>火 章</u> 賃	金								
8	 報									
9	 旅	費			4					
10	 交									
11		 			579			450		1,000
''		耗品費			010			100		1,000
	燃燃									
	食									
		刷製本費								
	_	熱水費								
	修				579			450		1,000
	賄									· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	飼	料費								
	医	薬材料費								
12	役	務 費			0			0		0
	通	信運搬費								
	広	告 料								
	手	数料								
	保	: 険 料								
13	委	託 料			1,836			0		
14		料及び賃借料								
15	工事				12,380					
16		材料費								
17		財産購入費								
18	備品	品購入費								
19		補助及び交付金						0		
20	扶	助 費								
21	貸	付 金								
22		博及び賠償金								
23		利子及び割引料								
24		及び出資金								
25	積	立金								
26	寄	附金								
27	<u>公</u> 繰	課 費 出 金								
28	計	山 亚			14,799			450		1 000
		庫支出金			14,799			0		1,000
	特別				6,190			0		
財	足 地				0,190			0		
財源内訳	特定財源 単足				0			0		
訳	_	般財源			8,609			450		1,000
		計			14,799			450		1,000
		国			11,100			100		1,000
補	亅	県			1/2					
補	助	基本額			1/2					
			1420		W chook	在杜宁 县海市	1 0			
一个队		▼補正・流用 ∜ □予算		450		度特定財源内 区分	5/C	名称		金額
		<u>リア 昇</u> E 予 算		450 051	県支出金		地域振興推進			玉額 6,190
		- ア昇 E第1号		000	示人山金		地域似果推進	尹未頁		0,190
		上弟 1 万 E第5号		051						
	1円1	エオック	13,	001						

当初予算	450		
補正予算	15,051		県支
補正第1号	2,000		
補正第5号	13,051		
流用・充用	268		
予算合計	15,769		
	補正予算 補正第1号 補正第5号 補正第5号	補正予算15,051補正第1号2,000補正第5号13,051	補正予算15,051補正第1号2,000補正第5号13,051

区分	名称	金額
県支出金	地域振興推進事業費	6,190
	_	
	合 計	6,190

1. 基本	情報											
事務事	業	01060203	03010202	車	举 夕	は 消束	 修備事業			担当部	農林水産部	
П	ド			子切子	未也	IN JELE	三州 尹 木			担当課	林務水産課	
政策	名	03	活力は	ある産業	のまちつ	づくり				グループ	森林整備グループ	٥
施策	名	01	農•林	•水産業	の振興					電話番号	45-5111	
基本事	業名	02	生産基	甚盤の整	備					内線番号	2361	
予	会計	一般	会計					± **	□ 単年度のみ			
算	款	06	農林	水産業費				事業 期間	■ 単年度繰返 (開始年	F度	不明)	
予 算 科 目	項	02	林業費	ŧ				初申	□ 期間限定複数年度(~)	
目	目	03	林道	事業費				根拠法令·条例等	なし	·	•	
評価区	☑分	1	簡易評	価	評価	対象	1次評価	関連計画			·	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

森林には木材生産機能をはじめ、国土の保全、大気浄化、水源の涵養等の多面的機能があるが、その機能を発揮させるには森林整備を適正に行

株がには、イヤー工生機能となり、国上の床主、人気行じ、不振の個食等の多面的機能があるが、その機能を発揮させるには株体整備を固止に行う必要がある。 そして、森林整備を効率的に行うには、林道整備が必要となる。林道は林産物の搬出コスト低減、地域住民の生活環境改善や地域社会の進行に大きな役割を果たす。

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 林道整備		m	945	988	633	500	750
1							
<mark>ウ</mark>							
(2) 事務事業の目的							
② 対象(誰、何を対象にしているのか)	3 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 林道開設路線 林道未改良(舗装改良)路線							
1							
<mark>†</mark>							
① 意図(②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年 度 (実績)	27年度 (目標)	28年度
ア整備を推進する							
1							
'							
(3) 上位の基本事業							
⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年 度 (実績)	27年度 (目標)	28年度
ア 効率的な生産を行う基盤が整う。							
1							
4							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

地元自治会や森林所有者より、山村地域の振 興や定住環境の改善のために早期完成が望ま れている。

4.	事美	类費	のŧ	隹移			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
								(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫は	と出	金	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	8,100	8,100
	事業費	財源内訳	地	7	5	債	千円	43,800	62,500	51,800	46,400	46,400
	費	訳	そ	0)	他	千円	0	0	0	0	0
投入量			_	般	財	源	千円	2,676	4,732	4,742	4,660	4,660
量		哥	業	費			千円	46,476	67,232	56,542	59,160	59,160
_												

5. 平成26年度の実績及び成果

<取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果 (1)平成26年度の実績(取組)

国分山麓線 用地·立木補償1式 荒平線 道路改良 L=69m W=4.0 18,400千円 大屋敷線 道路改良 L=284.26m W=4.0 8,640千円 大谷第2支線 道路改良 L=280m W=4.0 26,700千円

林道整備の完成・一部完成により、森林整備の促進が図られた。

lali.	事務事業コード	0106	020303010202	事 務事業名	1	林道整	備事業		担担	当 部 当 課		水産部 水産課
6.	振り返り	<see:< th=""><th>></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>理由</th><th>3</th><th></th></see:<>	>							理由	3	
	① こ の	事務事業	の目的は、基本	事業の意図に終	詰びついています	か?						
_		結びつ	ついている									
鼠		間接的	的に結びついてし 	\る 								
A目的妥当性			ついていない									
醒	② · 元 <i>0</i> · 税s	の事業をた 金を投入し	はぜ市が行わなけ して達成する目的	ければならない(]ですか?	のですか? 							
		妥当"	である 									
		見直	す必要がある									
	③ 成果	が向上す	る余地(可能性)	はありませんだ) ['] ?							
		向上*	する余地はかなり	Jある 								
		向上*	する余地はある程	屋度ある								
		向上	する余地はほとん	どない	_							
물	4 廃止	・休止の	影響はありません	しか?								
B有効性		影響	がある									
T			がほとんどない	- 104								
	⑤ 類似 事業	(の目的()	対象・意図) 又は せんか?(市以外)	形態(イベントや) の主体が実施する	啓発等)を持つ他(るものを含む。)	の事務	類似合の	事業がある場 事務事業名等				
		類似の	の事業はない									
		類似の	の事業はあるが、	統合又は連携	できない							
			の事業があり、統				/1.49÷ d>	工法法古本印	714 T	r### # #	W444 M ~ 10	All A co 4-Club. of
	⑥ 講	務事業の手 加金など、3	段(やり方)を工夫で を付先に働きかけて	することで、事業費に、市の負担を削減	費を削減できません 載できませんか?	/か?	仕様やはない。		階で事	美賀(7)	削减を凶つ (お	り、削減の余地
		削減	できない									
C効率		削減					済帯の	声致について	ナ陸呂	マサイン	ブロンス が きれき	・積算や測量等
単性	(7) できま	せんか?	段(やり方)を工夫で応や委託により人			を削減	四帯の業務	事務について! については委言	比を行	っており	、削減の余地は	はい。
			できない									
		削減	できる									
Ď]容が一部の受益 負担の公平性が									
D公平性		公平・	公正である									
性		見直	す必要がある									
7.	1次評価	結果 <	PLAN>(組織	战决定)	[参考]前:	年度の改革	革改善の方	向性≪		継続		»
(1)	事務事第	きの改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	-	統合	休止	廃止
	善の方向'		0									
			早期完成を目指	L 旨し、早期発注 とに計画の緊網	・工期短縮・経費 計画図を作成す	<u> </u> 削減に	心がける	。また、平成28	8年度	以降の路	路線計画を各森	林組合と協議を
	平成27年			7十日 回 √ 7 四 M H	可凹凸で下放り	'യം						
	攻善の内? り組むべ											
					、限の工法が適切 的・効率的に進め		されてい	るか検討を再	度おこ	こなう。ま	た、継続路線の	早期完成を実
(3)	平成28年	F度の方		(小正川で川画)	1) WHINCE	J'000						
向怕	生取組目	標										
	o vin Ett Little	姓田 - 仏	다 사 해 본 등로 (무)									
8.	2次評価	(f) 宋 (f)	旦当部長評価) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・								/+	成 ,L
	事務事第 善方向性	きの改革	継続 	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	i	統合	休止	廃止
									<u> </u>			
(2)	総評											

事務コ	8事業 ード	0106020303010202	事務事業名	林	道整備事業	担当部担当課	農林水産部 林務水産課
9. =	コストの	推移					
		(単位:千円)	平成26年度	(決算)	平成27年度 (当初予算)	平成28年度 (計画)
1	報	酬					
2	給	料					
3		手当等					
4	共	済費 豊 井 徳 弗					
5 7		子 補 償 費 金					
8	<u>具</u> 報	賞 費					
9		費					
10	交	際費					
11	需	用 費		0		0	0
		耗品費					
	燃食						
		. 程 頁] 刷製本費					
	光						
	修						
	賄						
	餇						
10		薬材料費		0			
12	役	務 費 信運搬費		0		0	0
	広						
	手						
	· 保						
13	委	託 料		2,527		1,860	4,860
14		料及び賃借料					
15		請負費		53,740	5	1,500	51,500
16		材 料 費財産購入費		0.0		1.700	1 700
17		財性期入貸品購入 費		28		1,700	1,700
19		補助及び交付金					
20	扶	助 費					
21	貸	付 金					
22		填及び賠償金		247		1,100	1,100
23		利子及び割引料					
24 25	積	及び出資金 立 金					
26	<u>rp</u> 寄	附 金					
27	公	課費					
28	繰	出 金					
	計			56,542	5	9,160	59,160
	特區	庫支出金		0		0 3,100	0.100
財	特定財源 単元			51,800		6,400	8,100 46,400
財源内訳	源を			0	4	0	70,700
訳		般 財源		4,742		1,660	4,660
		計		56,542		9,160	59,160
*	補助率	国					
		県			4	5/10	4.5/10
補		基本額					
平成		E補正•流用状			度特定財源内訳	Ø₩.	∆ #±
		刃予算 E予算	59,900 0	地方債	区分 林道整備事業	名称 法债	金額 16,500
	T用工	L I II	0	地方債	過疎対策事業		35,300

51,800

流用・充用 予算合計

17,042

1	. 基本	情報										
	事務事	業	0106020	303010203	主茲主	坐夕 林	计首敕	(備事業(県単)			担当部	農林水産部
	⊐⊢⊦	1,	0100020	303010203	尹仍尹2	**	、坦定	(加尹禾(尔平)			担当課	林務水産課
	政策	名	03	活力	ある産業の	つまちづく	くり				グループ	森林整備グループ
	施策	名	01	農•ホ	木・水産業(の振興					電話番号	45-5111
麦	基本事業	業名	02	生産	基盤の整体	備					内線番号	2361
	予	会計	一般	会計					+ **	□ 単年度のみ		
	算	款	06	農林	水産業費				事業期間	■ 単年度繰返 (開始 ^年	F度 S	40 年代~)
	予算科目	項	02	林業	費				初申	□ 期間限定複数年度	(~)
	Ħ	目	03	林道	事業費				根拠法令·条例等	特になし		
	評価区	分		簡易評	平価	評価対	象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

森林には木材生産機能をはじめ、国土の保全、大気浄化、水源の涵養等の多面的機能があるが、その機能を発揮させるには森林整備を適正に行

森林には小州土生機能ではしか、日上ンパー・ハンボルと、ハッポート う必要がある。 そして、森林整備を効率的に行うには、林道整備が必要となる。林道は林産物の搬出コスト低減、地域住民の生活環境改善や地域社会の進行に 大きな役割を果たす。

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
少 / 利 1 1 7 (平四	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア 施工延長		m	75	105	0	453	200
1							
j							
(2) 事務事業の目的							
② 対象	③ 対象指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(誰、何を対象にしているのか)	(左記②対象の大きさを表す指標)		(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア 林道の未改良(路線・流末)・未舗装路 線							
1							
o							
④ 意図	⑤ 成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(②対象をどうしたいのか)	(左記④意図の達成度を表す指標)	+12	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア 整備を推進する							
1							
o							
(3) 上位の基本事業							
⑥ 基本事業の意図	⑦ 基本事業の成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(さらにどのような成果に結びつくのか)	(左記⑥意図の達成度を表す指標)	中世	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア 効率的な生産を行うための基盤が整う。							
1							
'							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

集落住民や山林所有者より、山村地域の振興や交通アクセスの向上、主・間伐材の搬出促進を図るために、早期完成が望まれている。

7	Tele di	計画	n t	隹移			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
+	* **	R IR	,V) 1	上19			中世	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫ま	と出	睁	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	3,360	3,800	1,339	6,400	8,000
	事業費	財源内訳	地	ブ	5	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	0)	他	千円	0	0	0	0	0
投入量			_	般	財	源	千円	6,040	13,251	6,832	10,900	15,000
量		哥	業	費			千円	9,400	17,051	8,171	17,300	23,000

5. 平成26年度の実績及び成果

<取組内容を数値等により具体的に記載> (2) 平成26年度の成果 (1)平成26年度の実績(取組)

上井線 用地測量 A=2.047ha 用地·補償1式 瀬戸山線 路線測量設計 L=650m

上井線については整備は途中であるが、用地購入や立木補償を行ったことにより、道路の荒れている箇所の整備が可能となった。 瀬戸山線については工事には未着手であるが、路線測量設計を実施 したことにより、用地測量等への着手が可能となった。

Ę	事務事業 コード	010	06020303010203	事 務事業名	林道	ف整備事業	(県単)	担 当 部担 当 課		水産部 水産課
6.	振り返り	<se< th=""><th>E></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>理由</th><th></th><th></th></se<>	E>					理由		
	1 =0	の事務事	業の目的は、基本	事業の意図に終	吉びついています	ナか?				
] 結	びついている							
C効率性 D公平性 T] 間	要的に結びついてU	いる						
		」 結	びついていない							
当性	2 :	の事業	をなぜ市が行わない 入して達成する目的	ければならないの	のですか?					
			当である							
			 直す必要がある							
	③ 成	果が向」	 :する余地(可能性) はありませんか)\?					
			上する余地はかなり			_				
			上する余地はある種							
			上する余地はほとん							
			の影響はありません							
百有か	(4) PE.		の影響はありません。 響がある							
州性			音かめる 響がほとんどない							
	類	似の目的		形態(イベントや)	啓発等)を持つ他	の事務	類似事業がある場			
	事	業はあり	ませんか?(市以外	の主体が実施する	ものを含む。)		類似事業がある場合の事務事業名等			
			以の事業はない いの事業はなるが	ムヘフル 声性	できない					
			以の事業はあるが. 以の事業があり、紛							
	⑥ ·事	務事業の	手段(やり方)を工夫	することで、事業費	きを削減できません		要な箇所のみの改			階で事業費
	·補	助金など	、交付先に働きかけて	、市の負担を削減	或できませんか?		減を図っており、削			
C			咸できない まできる							
効率			属できる ○手段(やU本)をエキ	ナスニレズ しみま	患(研え業教味問):	た 割減 通	常の事務について	は職員で対応し	ていろが. 設計	君 質や測量
性	(7) でき	ませんか)手段(やり方)を工夫 ?)対応や委託により人			C HIJ/M	業務については委	託を行なっており	の、削減の余地	まない。
			咸できない							
			咸できる							
D)内容が一部の受益 者負担の公平性が							
公平	6/		平・公正である							
性			 直す必要がある							
7.	1次評価	話果	<plan>(組織</plan>	进 決定)				継続		
			纠结		ı		(善の方向性≪	1	休止	廃止
)事務事 善の方向		平	やり方改善	コスト拡充	コスト縮ん	小連携	統合	FILAL	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
			設計図面を確	 作認し、コスト縮注	 咸が可能か再検	 計する。				
革)平成27 改善の内	容	改		A TOUR TITE	E1 / ₩0				
(AX	ツ祖むて	*♂ 床瓦	41							
			両路線とも改	:良舗装工事を行	テうことで、一部5 テうことで、一部5	完成による柔	茶林整備の促進を	 図る。		
					. = · · · · · · · · · · ·			-		
(3) 向作)平成28 生·取組	年度の 目標	方							
8.	2次評価	結果	(担当部長評価)							
			Ante Anto	やり方改善	コスト拡充	コスト縮ん	小連携	統合	休止	廃止
(1)	主茲主	業の沙	☆ 継続	(30) /11:0 ==		I → I ₩H.	· AZ 175	ש טעוי 🗀		
)事務事 善方向性		革	100万以告						
			革	109万以音	-71 mays					
			革	100万以音						
改割			革	100万以曾						
改善	善方向性		革	でが万以音						

事務	事業ード	0106020303010203	事務事業名		林道	整備事業(県単	1)	担当部担当部		林水産部 務水産課
9. ⊐	ストの	推移								
		(単位:千円)	平成26年度	(決	算)	平成27年	度 (当初予算)		平成28年度	(計画)
1	報	栖								
2	給	料								
3		手当等								
4	共 " 🖪	済費								
5 7	<u>災き</u> 賃	子補 償 費 金								
8	 報	<u>-</u> 償 費								
9	 旅	費								
10	 交									
11	需	用費			0			0		0
		耗品費								
	燃									
	食									
		刷製本費								
	_	熱水費								
	修									
	賄									
	飼									
12		薬材料費 務 費			0			0		0
12					0			0		0
	広									
	手									
	保									
13	委	託 料			6,480		1	,000		2,000
14		 斗及び賃借料			0,100			,,,,,		2,000
15		請 負 費			0		16	,000		20,000
16		材 料 費								,
17	公有.	財産購入費			1,492			0		
18	備品	片購 入 費								
19		補助及び交付金								
20	扶	助 費								
21	貸	付 金								
22		填及び賠償金			199			300		1,000
23		利子及び割引料								
24 25	積	及び出資金 立 金								
26	 寄	 附 金								
27	公	課費								
28	 繰	出金								
	計				8,171		17	,300		23,000
		庫支出金			0			0		
財	特定財源				1,339		6	,400		8,000
財源内訳	財地				0		<u> </u>	0		
内訳	_				0			0		
LI/ \	_ :	般 財源			6,832			,900		15,000
		計			8,171		17	,300		23,000
補	亅助率	国県			4/10			4/10		4/10
補	助	 基 本 額			4/10		•	4/10		4/10
			220		W chook	- 由杜宁以海子	160			
平成:		₹補正·流用∜		1		度特定財源内		夕산		今 哲
	当 杉]予算 [予算	10,000 24,14		県支出金	区分	林道整備事業	名称 夢		金額 1,339
		- / 异 E第3号	24,14	_	小人山立	-	TRUEEMTR	Я		1,009
	ımı	-710.1	21,114	1						
				1						

1,339

流用・充用 予算合計 1,104

		平	戊27年度	Į	事系	务事:	業振:	区り	シー	 -	平成26	年度	実施事業の	り振返り)		
1. 基本情報														le en la		
事務事業コード	01060202	9999902 事務事	業名 林業技	振興	関係	系各利	重協議	会等	参画	事業				担当部	農林水産部	
 政策名	3	活力ある産業の	カまたべくり											<u>担当課</u> グループ	林務水産調 林務水産G	
	1	農林水産業費												ブルーフ 電話番号	0995-45-5	
基本事業名	1	農林漁業経営	** ** *											力線番号	2371	111
· 子 会計	一般							-	± ₩		単年周	きのみ かんしょう	<u>ا</u>			
算款	06	農林水産業費						ļ	事業 朝間				(開始年度	ŧ –	不明》)
予 算 款 科 目	02	林業費								_	期間	艮定複	数年度(~)
目 評価区分		林業振興費 簡易評価	評価対象		1.	次評値	Hi.		^{生令·条例等} 車計画							
		要•目的•指標			1	IV III	Щ	因以	医可凹	1						
		天 日町 110kk 既要(具体的な		* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	細た	:記述)										
【各種振興会】 •鹿児島県造 北姶良地区林								第造改	女善協	議会、原	恵児島!	具林美	美労働力確 なの色 担 会・	保支援センタ	ター、林道台	候管理、
する。	未100円	· 励硪 云、炉 区》	长印地区外牙	₹1 /X 9	平 肋	成云、) 上	外足	旦 4下 bb :	広、州 (1	O [11]	旦伽工	の負担金・	云貨を囲し	C、行性100字	東云 に 参画
											24年	· F	25年度	26年度	27年度	28年度
① 活動指標	(事務	務事業の活動量	:)							単位	(実		(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア各種振興会	数									団体	(24)	9	9	9	9	()4~_/
										四件				3		
1																
ウ																
(2) 事務事	業の	目的														
② 対象			③ ★	象技	旨標	Į				単位	24年	度	25年度	26年度	27年度	28年度
(誰、何を対象	象にして	ているのか)	/ (左言	记②	対象	の大	きさを表	す指	(標)	中世	(実	績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア																
1																
ウ																
4 意図			⑤ 成							単位	24年		25年度	26年度	27年度	28年度
(②対象をどう	うしたい	いのか)	/ (左記	24意	図の	の達成	え度を表	す指	信標)		(実	績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア																
1																
<u> </u>																
(0) 1 44 0	44 -4- 3	u.														
(3) 上位の ⑥ 基本事業			(F) #		5 di	·	田 +15-14				0.4/4	· #	05年亩	06年度	07年由	20年度
		凶 具に結びつくのか					果指権 沈度を表		(煙)	単位	24年		25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度
ア	, 4 HY Y	CICMIO D CODA	/ (/ HL	- N	K K L	· / (土)//	()X C X	,) JE	112157		(,,,)	()	(天順)	(天/)英/	(11/15)	(17/157)
,																
1																
ゥ																
3. 事務事業	の増せ	音変化 市民	計目生								24年	使	25年度	26年度	27年度	28年度
		変化、市民や議会など		4.	事	業費	の推移			単位	(決:		(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
霧島市経営健	全化推	進計画(第2次	/改定版)	Г			国庫	支 出	金	千円	(0.1)	,,,	(0 ())	0		(1117)
(平成26年12 健全財政を確立	月策定	E)において、持ため辞出削減に	続可能な ・悶ォス版		事	財	県支			千円				0	0	
組を全庁的に推	隹進す	る必要があると	され、その		丁業費		地	方	債	千円				0	0	
中で、需用費や 意識し、不要不	くつかり	勿品の膳 入や雷	信•雷話•		費	内訳	そ (カ	他	千円				0	0	
水道の浪費等を また、ランニング	を厳に ゲコスト	慎むこことで節 縮減に資する様	減に努め、 機器の導入	投			一 般	財	源	千円				1,719	1,731	1,73
等を検討し、維	持管理	里費の縮減に努	めることとさ	入量		事	業費			千円		0	0	1,719	1,731	1,73
れている。																
				1												
				1												
					<u> </u>											
5. 平成26年	度の	実績及び成果														
(1)平成26年	度の	実績(取組)	<取組内容を	数值等	争によ	り具体的	内に記載	> ((2)平	成26年	₹度の	成果	<左記	の実績(取組)	による成果を記載	哉>
【各種振興会】	11.14.0	41-4	22.10					1	負担金	会費を	を通じて	各種	振興会に参	き画できた。		

・鹿児島県造林協会負担金
・鹿児島県水源林造林協議会会費 5,000円
・鹿児島県水源林造林協議会会費 5,000円
・鹿児島県林業労働力確保支援センター管理運営費負担金 63,000円
・株道台帳管理負担金 325,500円
・北姶良地区林業振興協議会会費 325,500円
・北姶良地区林業振興協議会会費 400,000円
・姶良東部地区林業振興協議会負担金 400,000円
・鹿児島県造林協会会費 10,000円
・県沿山林道協会普通会費・特別会費 136,750円

릑	事務事業コード	01060	20299999902	事務事業名	林業振興関係	系各種協議	会等参画事業	<u>担当部</u> 担当課		水産部 水産課
6.	振り返り・	<see></see>	>					理由	1	
	① この事	務事業	の目的は、基本	事業の意図に終	古びついています	か?				
		結びつ	いている							
A			・・・・・ りに結びついてし	 \る						
的影		結びつ	いていない							
A目的妥当性	② ·この ¹	事業をな	ぜ市が行わなり	ければならないの	 のですか?	_				
1 ±	一九並		て達成する目的]ですか?		_				
		妥当で				_				
			必要がある		_					
	(3) 成果が	い同上す	る余地(可能性)) はありませんか) ['] ?	_				
		向上す	る余地はかなり	Jある 						
			る余地はある程							
		向上す	「る余地はほとん	<i>」と</i> ない	_	_				
물	4 廃止・	休止の影	ド響はありませ <i>A</i>	しか?						
B有効性		影響が	ぶる							
ı		影響が	ヾほとんどない							
			対象・意図) 又は けんか?(市以外)		啓発等)を持 <mark>つ他(</mark> Sものを含む。)	の事務 類合	似事業がある場 の事務事業名等			
		類似0	事業はない							
		類似0	事業はあるが、	統合又は連携	できない					
		類似0	事業があり、統	合又は連携で	きる					
	6 ·事務事	事業の手具	没(やり方)を工夫 付先に働きかけて	することで、事業費、 市の負担を削減	費を削減できません 載できませんか?	か? 負担 い。	金・会費を通じて	各種振興会に	参画しているた	め、削除できた
			きない							
Ç		削減で	 :きる							
効率	事務事	事業の手具	设(やり方)を工夫 ⁻	することで、人件書	貴(延べ業務時間)を		金・会費の支払い	*事務および協	議会への出席の	のみのため、ド
性	⑦ できませ・職員以	以外の対応	むや委託により人(件費を削減できま	せんか?	外 C	G141.º			
		削減で	きない							
		削減で								
Ö			容が一部の受益 負担の公平性が							
D公平性		公平・	公正である							
Έ		見直す	- 必要がある							
7.	1次評価結	果 <	PLAN>(組織	(決定)	[金書]前4	年度の改革改善	の方向性≪			>
(1)	事 数事業	のみせ	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小		統合	休止	廃止
	事務事業(きの方向性		0	(コスト州は	建 1万	יוטנ בו		
				 :通じて各種振り	 会に参画する。					
(2)	平成27年月	申の油								
革司	枚善の内容									
(4 X	り組むべき									
			台相全・全書なる	・通じて各種振り	興会に参画する。					
			ALT THE	.地して日宝成り	47(C&D).20					
(3)	平成28年月 生・取組目標	度の方								
e 9 13	도 기 시 에 다 ()	-14								
8.	2次評価結	果 (担	3当部長評価)							
			継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
改書	事務事業(善方向性	の以手		ドリカ以苦	コヘド加兀	コヘド剤小	建 烷	机石		
								1		
(2)	総評									

	事業 一ド	0106020299999902	事 務事業名	林弟	Ě振興関係	各種協議会等参	画事業	担当部担当課		木水産部 多水産課
9. =	ストの	推移								
		(単位:千円)	平成26年	度 (決	質)	平成27年度	(当初予算)		平成28年度	(計画)
1	報	酬	1 /2/207		 /	17%27-7%	(101777		1 7%20 十 1文	(пгш/
2	給	料								
3		手当等								
4	共	済 費								
5		イ イ グ サ								
7 8	<u>賃</u> 報	<u>金</u> 償 費						_		
9	 旅	費						+		
10										
11	需	用 費			0			0		0
		耗品費								
	燃食							_		
		程 貸 刷製本費								
	_	熱水費								
	修	繕 料								
		材料費								
	飼	料費								
12	 役	楽 M 科 貨 務 費			0			0		0
'-	_	信運搬費								
	広	告 料								
	手									
- 10	保工							_		
13 14	委	託 料 科及び賃借料						-		
15		請 負 費								
16		材料費								
17		財産購入費								
18		購入費								
19 20	_{負担金}	^{補助及び交付金} 助 費			1,719		1,7	731		1,731
21		付 金								
22		填及び賠償金								
23		利子及び割引料								
24		及び出資金						_		
25	<u>積</u>	立金						-		
26 27	<u>寄</u> 公	附 金 課 費						+		
28	 繰	出金								
	計				1,719		1,7	731		1,731
	軍	庫支出金			0			Δ.		
	特片	+ ^						0		
財	特定財	支出金			0			0		
財源内	特定財源 世紀 そ	支 出 金方 債								
財源内訳	特定財源 そ	庫支出金 支出金 方 債 の 他 般財源			0		1,7	0		1,731
財源内訳	特定財源 そ	般 財 源計			0 0			0 0 0		1,731 1,731
訳	特定財源 そ	般 財 源計 国			0 0 0 1,719			0 0 0 731		
礼		般 財 源計 国県			0 0 0 1,719			0 0 0 731		
神補	特定財源の一脚助助助助の	般 財 源計 国			0 0 0 1,719 1,719	存此 中 叶 中 中	1,7	0 0 0 731		
神補	特定財源 一	www.sims.com/sims.co	大 況	719	0 0 1,719 1,719	度特定財源内訳区分	1,7	0 0 0 731 731		1,731
神補	特定財源 一 助 助 母 の は 26年 当 初 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	般 財 源計 国	大 況	719	0 0 1,719 1,719	度特定財源内訳区分	1,7	0 0 0 731		
神補	特定財源 一 助 助 母 の は 26年 当 初 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	 設計 国県 基本額 E補正・流用が 	大 況		0 0 1,719 1,719		1,7	0 0 0 731 731		1,731
神補	特定財源 一 助 助 母 の は 26年 当 初 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	 設計 国県 基本額 E補正・流用が 	大 況		0 0 1,719 1,719		1,7	0 0 0 731 731		1,731
神補	特定財源 一 助 助 母 の は 26年 当 初 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	 設計 国県 基本額 E補正・流用が 	大 況		0 0 1,719 1,719		1,7	0 0 0 731 731		1,731
神補	特定財源 一 助 助 母 の は 26年 当 初 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	 設計 国県 基本額 E補正・流用が 	大 況		0 0 1,719 1,719		1,7	0 0 0 731 731		1,731
神補	特定財源 一 助 助 母 の は 26年 当 初 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	 設計 国県 基本額 E補正・流用が 	大 況		0 0 1,719 1,719		1,7	0 0 0 731 731		1,731

流用・充用

予算合計

				平)	龙2 7年	度	4	阝務	事業振	<u>返りシ</u>	<u>ー</u> ト	(平成26年度	実施事業	の振返り)		
1. 基本															担当部	曲キューヴュ	7
事務事		0106020	199999902	事務事	業名	木業糸	総務	関係	各種協議	会等参	画事	業		-	担当部 担当課	農林水産部	
政策	-	3	活力	ある産業	のまちつ	づくり									グループ	林務水産C	
施策		1		水産業費											電話番号	0995-45-5	111
基本事		1		漁業経営	体への	支援							w -		内線番号	2371	
予	会計款	一般	会計	水産業費	,					事第	ŧ		単年度の 単年度繰		座	不明)
予 算 科 目	項	00	林業							期間	1		期間限定		泛	~ ↑\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\)
目	自	01	11.71	総務費						根拠法令・	条例等		MINIXA	22120			
評価区	≤分		簡易	評価	評価	対象		10	評価	関連計	画						
2. 事務	事業	の概	要・目	的-指標	<	Do>											
		業の	概要	(具体的な	やり方、	手順、	、詳維	細を言	2述)								
【各種振 ·姶良信		域林訓	業活性	化センタ	一、全国	森林	環境	税創	設促進連盟	盟会費、	日本さ	さくらく	の会賛助会	の負担金・	会費を通じて	、各種振興	会に参画す
る。																	
1																	
											١.,		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
① 活動	力指標	(事	務事業	美の活動量	<u>t</u>)						単	鱼位	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア各振	興会数											3	3		3 3	3	
1																	
ウ																	
(2)事		業の	目的														
② 対象	P					3 対					肖	单位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(誰、何	「を対象	見にし	ている	らのか)		(左訴	E@\$	付象()大きさを剥	をす指標)		(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア																	
1																	
ゥ																	
	on .					<u> </u>	m 4	- AM					0.4左座	0.5 左 広	00左座	07.左座	00左座
(②対象)	-	il 1-1	ረውንት:	2)		⑤ 成 (左記)			達成度を剥	- 計場博	自	单位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	X-2-C ,	1010	(0)/3	-)		(/	⊕ Æ	. Д 🗸	上以及です	入 7 1日1示			(天順)	(大順)	(大順)	(日/示)	(日/水/
,																	
1																	
ゥ																	
(3) 上	位の	基本	事業														
⑥ 基本	事業	の意	図			⑦ 基	本事	事業(の成果指	票	11	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(さらにと	どのよう	な成り	果に結	びつくのカ	a) /	(左記	⑥意	図の	達成度を表	をす指標) =	= 177	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア																	
1																	
ウ																	
				化·市民			4.	事業	費の推和	3	单	单位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
				<mark>市民や議会な</mark> ・画 (第2次						支出金	× ¬	-円	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
(平成26	年12	月策是	定)に	おいて、持	続可能	te						-円			0		(
組を全庁	*的に扌	隹進す	「る必」	歳出削減! 要があると	され、そ	の		事業	源城	<u> </u>	_	-円			0		(
				ついては常 D購入や電				費	内 🖰 —	<u>の</u> 他		-円			0		(
水道の浪	と費等を	を厳に	慎む	こことで節	減に努る	め、	投			財源		-円			927	927	927
等を検討	し、維	持管	P箱/杈 理費ℓ	に資する の縮減に努	残酷の異	きとさ	入量		事業費		7	-円	()	0 927	927	927
れている	0						_										
5. 平成	26年	度の	実績	及び成果													
(1)平原		度σ	実績	(取組)	<取組	内容を数	改值等	ミにより	具体的に記載	> (2)	平成	₹26±	F度の成 男	<左	記の実績(取組)	による成果を記載	載>
【各種振	興会】	htt:	茶江下	化センタ		<u>-</u>	07.0	00円		負担	金·	会費を	を通じて各種	重振興会に	参画できた。		
全国系	朵林環	境税制	削設仍	足進連盟会	費		20,0	00円									
・日本さ	くらの	会質	助会費	Ĭ.		1	10,00)0円									

閘	事務事業 コード	01060	20199999902	事務事業名	林業総務関係	各種協議会	等参画事業	<u>担当</u> 部 担当課		水産部 水産課
6.	振り返り・	<see></see>	>					理由	1	
	① この事	務事業	の目的は、基本	事業の意図に網	きびついています	か?				
		結びつ	いている							
A			りに結びついてに	 vる						
的			いていない							
A目的妥当性	<u></u> ·この [‡]	 事業をな	ぜ市が行わなけ	 ければならないの	 のですか?					
1 '			て達成する目的]ですか?						
		妥当て								
		見迫す	⁻ 必要がある 	_	_					
	③ 成果か	が向上す	る余地(可能性)	はありませんか	١?					
		向上す	る余地はかなり	りある						
		向上す	る余地はある科	星度ある 						
		向上す	る余地はほとん	どない						
旦	④ 廃止・	休止の影	影響はありません	しか?						
B有効性		影響が	ぶある							
11		影響か	ヾほとんどない							
			対象・意図) 又は けんか?(市以外の		啓発等)を持つ他の Sものを含む。))事務 類似合の	以事業がある場 事務事業名等			
			事業はない							
		類似σ)事業はあるが、	統合又は連携	できない					
		類似の)事業があり、統	合又は連携で	 きる					
	6 事務事	事業の手具	没(やり方)を工夫	することで、事業費	費を削減できませんが 或できませんか?	か? 負担金 い。。	・会費を通じて	各種振興会に	参画しているた	め、削除できた
			きない	、川の真理で刊源	2 C C C C C 10 10 1 1	* 0 0				
С		削減で								
効率	事務事			することで、人件書	貴(延べ業務時間)を		・会費を通じて	各種振興会に	参画しているたる	め、削除できた
性	(7) できませ	せんか?	むや委託により人			ν.°				
	•	削減で	きない							
		削減で	きる							
D	1 (0) 2-30-3	- > > 1 3	容が一部の受益 負担の公平性が	ш ш і — рііі — с — с	,					
D公平性			公正である	REPRESENTATION OF	, , ,	_				
性		見直す	 ⁻ 必要がある							
7	1 次輕価結	里 <	PLAN>(組織	(神史)						
					【参考】前年	度の改革改善の	方向性≪		4	≫
	事務事業(きの方向性		継続 	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	= 0000 I-0 IX	•	0							
			負担金・会費を	:通じて各種振り	具会に参画する。					
	平成27年月 女善の内容									
	り組むべき									
			負担金・会費を	:通じて各種振り	具会に参画する。					
(3)	平成28年	度の方								
向性	生•取組目標	票								
_		- m								
8.	2次評価結	果(社	当部長評価)							
(1) 2⁄5≜	事務事業(等方向性	の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
以言	5万円住									
(0)	% =π									
(2)	総評									

	条事業 ード	0106020199999902	事 務事業名	林	業総務関係	各種協議会等参	画事業	担当担当		農林水産部 林務水産課
9. =	コストの									
		(単位:千円)	平成26年	F度 (決	(算)	平成27年度	(当初予算)		平成28年	变 (計画)
1	報	酬	1 774==		1317	1777-1722	. (= 153 3 51 7		1 774== 1 7	~ (#1-17)
2	給									
3		1 手 当 等								
4	共	済費								
5 7	<u>災</u> 責	補 償 費金								
8	<u>具</u> 報									
9	旅	費								
10	交	際費								
11	需	用費			0			0		0
	燃燃	耗品費料費								
	食									
		刷製本費								
		熱水費								
	修	# 料 樹材 料 費								
	飼							+		
		薬材料費								
12	役	務費			0			0		0
		信運搬費								
	広手									
	保									
13	委	託 料								
14		4及び賃借料								
15		請負費								
16 17		材 料 費 財産購入費								
18		,購入費								
19		補助及び交付金			927			927		927
20	扶	助 費								
21		付 金 填及び賠償金								
23		現及び 記し 並 利子及び割引料								
24		 及び出資金								
25	積	立 金								
26	- 寄	附金								
27	<u>公</u> 繰	課 費 出 金								
	計	p= 31			927			927		927
		庫支出金			0			0		
財	定 県	支出金			0			0		
財源内訳	特定財源 国県地 そ				0			0		
訳	,	般 財源			927			927		927
		計			927			927		927
衬	甫助率	国								
	助	県 基本額								
		 	P:0		亚品。	连特定財源内部	7			
十八		【補止 □ 派用 Ū] 予算	\ <i>J</i> \	927	一成20年	区分区分		名称		金額
	補正	予算		0						
				$\overline{}$						
						-				
				-		+				

流用・充用

予算合計

927

合 計

				平成27	年度	事務事業振	返りシート	· (平成26年度 実別	拖事業の振返り)	
1. 基本	情報									
事務事		01060301	99999902	事務事業名	水産業	美関係各種協議会	等参画事業	Ė	担当部	農林水産部
	_								担当課	林務水産課
政策	_	3	活力	ある産業のまち	っづくり				グループ	林務水産グループ
施策	名	1	農林	水産業費の振	興				電話番号	0995-45-5111
基本事	業名	1	農林	漁業経営体へ	の支援				内線番号	2371
予	会計	一般	会計				+ 414	□ 単年度のみ		
算	款	06	農林	水産業費			事業 期間	■ 単年度繰返(別	 	不明)
予 算 科 目	項	03	水産	業費			州间	□ 期間限定複数4	年度(~)
目	目	01	水産	業総務費			根拠法令·条例等			
評価区	☑分	1	簡易評	平価 評価	西対象	1次評価	関連計画			
2. 事務	事業(の概要	更•目	的·指標	<d₀></d₀>					
(1) 事	務事	集の根	既要(具体的なやりた	ち、手順、	詳細を記述)				
水産資	源の維	持、均	き養を	図るための稚魚	魚の放流	事業やアサリやイワ	ガキ等の繁殖	事業を調査研究する	ために各種協議会	に負担金補助をする。

① 活動指標(事務事業の活動量)		単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
			(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア 負担金支払い団体		団体	6	6	6	6	
<mark>1</mark>							
<mark>ㅎ</mark>							
(2) 事務事業の目的							
② 対象	③ 対象指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(誰、何を対象にしているのか)	(左記②対象の大きさを表す指標)	丰匠	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア海面漁業者							
1							
ל <mark>ל</mark>							
4 意図	⑤ 成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(②対象をどうしたいのか)	(左記④意図の達成度を表す指標)	丰四	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア 漁業者の経営安定							
1							
خ							
(3) 上位の基本事業							
⑥ 基本事業の意図	⑦ 基本事業の成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(さらにどのような成果に結びつくのか)	(左記⑥意図の達成度を表す指標)	丰位	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア 効率的な生産を行う基盤が整う							
1							
_							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等

地元漁協、住民より水産資源の維持のため放 流事業は継続してほしいとの要望がある。また 漁業者の経営安定のためあさり、イワガキ等の 繁殖事業継続の要望がある。

4.	事調	类费	o i	<u></u> 作移			単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度	28年度
			玉	庫す	を出	金	千円	(0(3+)	(0(3+)	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円			0	0	0
	事業費	財源内訳	地	7.	5	債	千円			0	0	0
	費	訳	そ	σ.)	他	千円			0	0	0
投入量			_	般	財	源	千円			1,019	1,019	1,019
量		事	業	費			千円	0	0	1,019	1,019	1,019
ı												

5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果

) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を

始良地区水産業改良普及推進協議会 豊かな海づくりパイロット自供負担金 全国市町村水産振興対策協議会負担金 海上保安協会負担金 水域環境美化推進協議会負担金 県漁港漁場協会負担金

300,000円 611,000円 40,000円 30,000円 20,000円 18,000円 水産資源の維持が図られまた、アサリやイワガキ等の繁殖事業の試験 結果も順調で、漁業権も取得予定で漁業者の漁業意欲や気運が上がっ ている。

I	コート		01060	30199999902	事 務事業名	水産業関係	各種協	議会等	等参画事業	担 担	当部		水産部 水産課
6.	振り	返り <	(SEE)	•							理由	l	
	1				事業の意図に終	古びついています	か?						
				いている									
鼠				りに結びついてし	vる 								
A目的妥当性				いていない	1 1- 1 184- > 4-1 - 4	n-+1: n							
桂	2	•税金	を投入し	ぜ市が行わなけて達成する目的	「れはならない。 」ですか? 	ひですか?							
			妥当で										
			見直す	び要がある	_	_			_			_	
	3	成果が	向上す	る余地(可能性)	はありませんか	١?							
			向上す	る余地はかなり)ある 								
			向上す	る余地はある程	程度ある 								
			向上す	る余地はほとん	どない								
물	4	廃止∙値	休止の景	/響はありません	か?								
B有効性			影響が	ずある									
注				「ほとんどない									
	5	類似の 事業は)目的(対 ありませ	対象・意図) 又は けんか?(市以外)	形態(イベントや) の主体が実施する	啓発等)を持つ他 6ものを含む。)	の事務	類似合の	事業がある場 事務事業名等				
			類似の	事業はない									
			類似σ	事業はあるが、	統合又は連携	できない							
			類似の	事業があり、統	合又は連携で	きる							
	6	·事務事 ·補助金	業の手段など、交	设(やり方)を工夫で付先に働きかけて	することで、事業費、 市の負担を削減	きを削減できません 域できませんか?	か?	予算は	、すべて負担会	金補助	及び交付	†金のため削減*	できない
			削減で	きない									
C 効			削減で	きる									
C効率性	7	できませ	んか?			捜(延べ業務時間)?	を削減	予算は	、すべて負担会	全補 助	及び交付	†金のため削減	できない
				さや委託により人	午賞を削減できま	せんか?							
			削減で										
D	8	事務事	業の内	容が一部の受益 負担の公平性が									
D公平性		<i>δ/2</i> , 2		公正である	HE IN CALL CO. P.	9 13* :							
性				 - 必要がある									
7	1 1/12	₩ / A / A + A +	B /	PLAN>(組織	*(本中)								
٠.	130	計川川市口	* \		以次足)	【参考】前	年度の改革	本改善の力	方向性≪			45.1	>
		多事業の 方向性		継続 	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携		統合	休止	廃止
) I-3 II		0	-//								
革引	女善(成27年月 の内容 むべき		適正は貝担金	交付事務を行う	5							
				適正な負担金	交付事務を行う)							
(3) 向性	平月生•耶	成28年月 双組目標	度の方										
8.	2次	評価結	果(排	3当部長評価)									
		多事業の		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携		統合	休止	廃止
		カチェッ 向性	ノ以半		, //, 4	11 HA76	-771	ALIE A	Æ1/5		-,70 H		
(2)	総	評								<u> </u>			1

事務コ	事業 ード	0106030199999902	事 務 事業名	:	水産業関	係名	↑種協議会等参	画事業		当部		林水産部 務水産課
9. =	ストの	推移										
		(単位:千円)	平成26年	E度()	決質)		平成27年度	(当初予算)		平日	成28年度	(計画)
1	報	<u>、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、</u>	17%20	1/2 \(\frac{1}{2}\)	/\ J F/		1 /2027 1 /3	(4)			X20 1 /Z	(1111)
2	 給											
3		手当等										
4	共	済 費										
5		解補償費										
7 8	<u>賃</u> 報	<u>金</u> 償 費										
9	+以 旅											
10	交	際費										
11	需	用 費				0			0			0
		耗品費										
	燃食											
		刷製本費										
	光	熱水費										
	修					\Box			\Box			
	鮪飼	材料費料費				\dashv			_			
		料 費 薬材料費				\dashv			\dashv			
12	役	務費				0			0			0
	通	信運搬費										
	広											
	手保								\rightarrow			
13	<u> </u> 体 委	<u>険料</u> 託料										
14		<u>10 11</u> 斗及び賃借料										
15		請負費										
16		材料費										
17 18		財産購入費				_			\rightarrow			
19		コ 四 八 貝 補助及び交付金			1.	019		1	,019			1,019
20	扶	助費							,			
21	貸	付 金										
22		填及び賠償金										
23		^{利子及び割引料} 及び出資金										
25	積	<u> </u>										
26	寄	 附 金										
27	公	課費										
28	繰計	出 金			- 1	010			010			1.010
		庫支出金			1,	019			,019			1,019
타	特児	支出金				0			0			
源	財地	車支出金 支出金 方債 の他				0			0			
財源内訳	•					0			0			
in .	_	般 計				019			,019			1,019
		国			1,	019		1	,019			1,019
	甫助率	県										
補	助	基本額										
平成		₹補正•流用₺			平成		度特定財源内語	R				
	当初]予算 予算	1,	019			区分		名称			金額
	作用 止	- 1′ 异		U								
				-								
				\dashv								
			I	- 1	1						- 1	

流用・充用

予算合計